

投票理由

選択的夫婦別姓制度の是非

賛成

殆ど女性だけが苦勞しているから
選択できるので問題はないはずだ。特に、働く女性が旧姓で仕事を続けているケースが多いことを考えると、別姓を望む理由がそこにあるのではないか？
当たり前なことだし、別姓にしない自由も認められてるしね。
別姓を強制するものではなく、同姓を希望する人はしてもよい。また現在姓を変える負担が大きくそれがほぼ女性に寄せられている不公平感もある。
自分の姓を維持したい気持ちは自然なこと。同姓か別姓かではなく、今、日本人同士で結婚する場合のみ、選択肢がないことが問題。
実質的に女性に改姓の不利益を押しつけているから。また、改姓の結果として、長い年月をかけて夫婦が上下の関係になるから。
自分の名前をほぼ強制的に変えさせられる理由が納得できない
姓が変わることによって、色々と手続きがあり とても手間がかかる。同じ姓にする事にメリットを感じない
パスポートなど困るので。
夫婦同姓は明治からで日本の伝統ではないと判断します。現代社会において同姓に拘ることに疑問を持っています。
国民ひとり一人を大切にす国になるべき。反対の方々はご自身が別姓を選択しなければ良いだけ。
強制するものではないので、個人の選択肢を増やすのは支障ないと思う。
選択できるようにすればいいと思います。
家制度に個人が縛られる事はない
同姓にすると不利益の方が多そうだから。ただ子供の姓をどうするか議論は必要だと思う。
同姓を否定しているわけではなく選択制なので。
何においても、選択の権利は人権そのものであるため。家族の前に個人。
姓を変えることによって不利益や精神的違和感を感じる人がいるのであれば、選択肢があるべき。
姓を揃えなければいけない、という理由が思い当たらない。
それぞれの姓に一族の歴史がありそれを今後も継承していくべきと思うから。
選択制なので、同姓にしたい人は同姓にすれば良い。別姓にしたい人だけが別姓にすることに、利害関係のない第三者(国)が反対する理由はない
夫婦別姓が原則の国に夫婦で在住。姓が変わる事自体非常に特殊な例外で、婚姻によるものは皆無と言ってよい程。その為それに伴う諸手続きが猥雑。国際社会との齟齬を鑑みる上で、夫婦同姓という制度を堅持する必要性は最早障壁であると思います。一方で、好んで同姓にしたいのであればそれは個人の自由の範疇でしょうからすれば良い。「選択的」なのですからどちらの自由も阻害されないわけで、この法律に反対する理由が見付かりません。
名前は、個人のアイデンティティであり、かつ、なんらかの活動する人にとってアイコンになるからです。
反対する理由が一つもない
現代は世界的に家督制度ではなく個人重視に移行していると思うから
自らのしたいように「選択」出来るのだから選ぶまでもないことかと。

選択制を否定する理由がありません。嫌なら選ばなければ良いのです。他人の自由を縛ることは許されません。
基本的人権しか思いつかない。
選択できるのに反対する理由がわからない。
同姓の強制はそもそも個人の尊厳を奪う 変更手続きの負担が大きい
氏名は個人のアイデンティティの根幹であり、国によって変更を強要されるのは人権侵害だ。憲法の基本的人権尊重の理念にも反する。
反対する理由がない。
基本的人権
娘が付き合っている彼と結婚するにしても相手の名前になるのが嫌だと言ってきたのが一番の理由。それから多様性のこの時代に夫婦同姓はそぐわないと思うようになったから
選択できるのだから夫婦別姓を保証すべき。同姓にしたいならすればよいだけ。
どちらかが姓を変更するリスクが多分にあり、選択できるならそれで良いと思うから
選択するのだから反対の理由がない
古い制度も良い物もあれば、変化させていかなければいけない制度もある。女性の立場を尊重し、個人として、男性も女性も無い、同じ立場で社会を構築し直さなければいけないと思います。好きな様にして良いんです。
反対派の議論はどれも説得力がない。反対派のように感じる人がいたとしても、なぜそう感じない人にまで、同じ考えを持つように強制する理由とはならない。
なにしろ「選択肢」があることを、保証すべきだから。間違いなく『日本国憲法』の趣旨に沿っている。
別性を望んでいる人が多いと知ったからです。反対意見にはあまりピンと来ませんでした。
「選択的」なので、同姓を名乗りたい人の権利も保証されている。なぜ、この法案を通すことに反対する人がいるのか納得できない。、
選択制だから。離婚する事の多くなった社会で、姓を変えてしまっていて、面倒な手続きや周りの目等不利益を被るのは女性が圧倒的。
選択的夫婦別姓の制度が無いことで不利益を被っている国民が存在し困っています。選択的なので夫婦同姓にしたい人は同姓を選べます。選択肢が増えるだけなので速やかに導入すべきだと思います。
「選択的」は賛成派・反対派両方の自由が担保される仕組みであり、反対派の意見に論理的なものが見当たらない。
親の再婚により姓が変わり、古い友人などとの交流が絶たれました。つまり、姓が変わることは、人生を狂わせることもある。
選択制なので個々に決めればよいことで、国が縛る事はナンセンス。
同姓であらねばならない理由がない
私は姓を変えた方なのですが、「姓」を変えることへの手続きの負担や、今まで自分がその「姓」で生きてきた歴史をどちらか一方が捨てなければならないという理不尽さです。もちろん、そうではないという考えの方もいるでしょう。そのための「選択制」つまり選択肢が増えることなので、異論が出るのが疑問です。
強制ではなく、当事者が選択できるので賛成
当然の事。
人権尊重

女性の主体性確保のために。
夫婦間で話し合い選択できるのだから問題はない。
憲法 13 条、個人の尊重に沿ったものであるから
国際社会で夫婦同姓を法律で義務付けているのは、日本だけだから。
選択肢が増えて悪い事は特に感じられない 現状不利益を被っている方が少しでも暮らしやすくなるならそれに越したことはない
夫婦別姓を選択する自由を保障するべきである。立法・行政府の自民党議員は一部カルト宗教団体の偏った宗教観を支持することによって自己の利益を保つために反対しているとしか思えない。
常識的判断として・・・
選択的だから
男女不均衡、経済停滞を招くため
市民の選択肢が増えるだけで、誰の権利も侵害しないから。
同性を強要するのはもはや閉鎖的すぎる
選択的というのがポイントで、どちらも選ぶ自由があるから。
一人と一人が結びつく、という関係性をよりハッキリ自覚することは、日本人、日本社会にとって非常に重要だと考えるから。
結婚し、姓を変えとなると口座の氏名などを変えなければいけないが、事務的手続きが煩雑である。
研究者や海外勤務など弊害が出ている。同姓がいい人は同姓を選択すればよい。
主に婚姻する女性に改姓を強いる制度となっており、両性の合意のみにより成立すべき婚姻に条件を加えて妨げている違憲の制度。
この法律が日本だけというのは驚きであり、別性はこれからの若者には必要なことだと思う。
夫婦別姓にするかどうかは各個人に選択の自由があるべきで別姓に共同体意識に大きな変化があるとは思えないためです。
当人の自己同一性(その人の最も希望する生き方が尊重されること)に関する権利が大切だと思うからです。
同姓を強制すること自体が人権侵害だから。
名前は人格並びにアイデンティティのひとつである。個々人により重きは違うが、婚姻により改姓することで社会的に不利益を受けやすく、また自己のアイデンティティが揺らぐこともある。また、多様な姓が日本にはあるが、婚姻で改姓するうち多様性が失われてしまう統計もある。ぜひ選択的夫婦別姓を法制化してほしい。
結婚による改姓によって業務上の不利益がある人が多数存在するため
当たり前だから
変えたい人は変えればいいし、変えたくない人は変えなくていい。選択肢が増えた方が合理的だと思うので。
名前を変更することに付随する手続き(銀行、クレジットカード、職場への報告、資格の名前弁護士など)が山程あり、それに疲れてしまうし、「自分の名前で生きたい」のが、婚姻制度に認められないの苦しいです。
職業上の不便が大きい。女性の社会進出を阻む要因の一つではないかと思う。家族の形が多様化している今、夫婦同姓という形が家族の一体感を生むこととイコールではないと思う。
既に実質上、本名ではない姓で活動している人はたくさんいる。また選択制であり強制ではないので別姓を認めて良い。
反対論の根拠に反対である

<p>賛成の意見⑥のように、夫婦同姓を法律で義務づけている国は日本だけであり、世界中の家族をみれば、反対の意見②～⑥はすべて否定するにたると思う。そもそも日本国内でも、国際結婚の過程では別姓のままで公的に認められており、混乱は生じていない。に関して、定着していたら変えなくてよいという理由にはならない。</p>
<p>婚姻をすることで強制的に苗字が変更する現行の制度は、基本的人権の尊重には該当しないと考えます。明治から続く家長制度そのものにも疑問を持っています。</p>
<p>人生の途中で、望まないのに姓の変更を強制されることはあらゆる意味で苦痛である。</p>
<p>現在の制度は「強制的」夫婦同姓制度であり、それぞれの姓を望む個人の意思が自由に選べていない。「選択的」夫婦別姓制度なので、同姓を望みたい人にも別姓を望みたい人にも選択の自由があるほうが良いと思うから。</p>
<p>結婚の際、相手の姓に変わることを仕方なく選択した経験から。</p>
<p>好きに選べればいいじゃん</p>
<p>女性の社会進出、キャリアを阻むから。</p>
<p>たかだか明治以降の制度で、日本の伝統文化でもない。</p>
<p>自分の周りでも職場では旧姓を使う人が増えているし、夫と妻は別人格だし、そうするのは当たり前だと思う</p>
<p>別姓にしたい人は別姓を選べる制度にするべきです。私は結婚の際に夫の姓になりましたが、自分の元の姓を失って初めて、大きな喪失感にみまわれました。今の日本では実質的には女性に改姓を求めています。妻が夫の支配下に置かれる家父長制を推進していると思います。</p>
<p>法律は可能な限り個人の自由を認めるべきであると言う原則から。こうあるべきと言う押し付けはできるだけ排除したい。</p>
<p>強制的夫婦同姓は人権侵害であり憲法に違反していると思うから。</p>
<p>夫、妻、どちらの姓を名乗っても自由であっていいと思う。</p>
<p>選択肢が、増えるのは、良いことだと思います。</p>
<p>姓を変える、変えないは個人の意向に沿うのが、人権擁護に繋がると思う。法律での規制範囲はなるべく狭くするべき。</p>
<p>この問題は家族観の問題ではなく、女性差別の分脈で捉えるべきで、差別を無くすという立場で賛成。さらに日本の伝統を言うならば、同一性など高々明治以降の話であり、西洋に劣等感を持っていた鹿鳴館時代の日本人のメンタリティーに拠ってフランスから輸入した制度に過ぎない。国連からも是正勧告が出ているのに放置している勉強不足の一部自民党員の恣意には任せられない。</p>
<p>別姓を使用する選択をすることは個人の権利であると考えます。誰にも迷惑がかからず、法改正に一銭もかからない、今すぐ制定するべきだと思います。</p>
<p>生まれてから名乗っている名前が自分のアイデンティティーだから。また、国家資格の仕事をしていて、結婚や離婚で姓が変わると仕事がしにくいから。</p>
<p>希望する人がいる以上、出来るだけ叶えるべき。</p>
<p>義父の養子なので義父の姓を名乗らなければならないが、そもそも自身はそれを望んでいなかった。しかも、性的虐待や暴力などさげすみ思春期を過ごすこととなり、そのトラウマで男性恐怖症になってしまった。自身の結婚で姓が変わったが離婚してまた義父の姓を名乗らなければならない、生涯このストレスを抱えて生きていかなければならない。母の旧姓を選択できていたら、様々なことが変わっていたと思う。</p>
<p>戸籍制度そのものを廃止すべき。戸籍制度の源流たる天皇制は、民主主義と相容れない。</p>
<p>夫婦別姓を「強制」するのではなく「選択」できる制度だから。この制度は多様性社会に合致している。</p>

夫婦同姓を強制することによる不合理性や不利益が、合理性や利益を上回ると考えるため。
個人としては居るのだから、姓も個人として、を尊重する。
選択可能であるから夫婦で話し合い、姓を決定出来るから。
婚姻するとどちらかの姓に必ず変えねばならないというのは、変更せざるを得ない側を虐げ人権を侵害するものと考えます。
選択制なので強制ではないこと。同姓を強制しているのは、世界的にごく少数であること。別姓が家族の絆を弱めるとは思えないこと。
圧倒的に男性優位の現行制度を変更すべきである
結婚して相手の家に入るという考えが納得できないので選択権が欲しい
現状、会社では結婚後別姓として勤務している人が多数であり特に問題を感じたこともない。そのことから、どちらを名乗るかはその当事者が決めればよく、役所の稼働も減らせる可能性も高いことから選択的夫婦別姓に賛成。
「家」に家族を縛らない
基本的に選択的であるから賛成ではあるが、子供の別姓によるイジメの原因にもなる事は留意が必要。大人社会のイジメが無くなる必要が合わせて必要。
選択的、つまり個人の、夫婦の選択が可能である事。強制を伴わない事
個人の意思を尊重すべきだと思うから
当たり前のように女性が苗字を変える。それがあたかも形だけであるようにみえて、家族内での主導権を失うと感じる影響が大きすぎる。仕事をするにも生きるにも名前の使い分けは大変コストが高く、それだけでたくさんの有休を使ったり、損失が大きすぎる
相手の姓になりたい人もいるでしょうが、選択制なのでなんの問題もないと思います。いかなることも選択肢が増えることは望ましいです。
選択肢夫婦別姓である以上、選択が可能。特に変化によって実害があるとは思えないから。
他人に迷惑を及ぼすことがない限り、物事は選択肢が多いほど良い。
選択的であり他者にとって迷惑がかかるような法案ではないので、この手の自由は守っていきたいため。
そもそも結婚したら同じ氏にしなければならないことがおかしい。
法律で縛るべきものではない。姓名は個人のものであり国が口を挟むべきものではなからう。
夫婦別姓を選択できないのは日本のみ。同姓にしたい人はすれば良いし、別姓にしたい人の選択権利を奪う今の状況は不公平。与党の反対意見は論理的で無く、日本会議や統一教会の意思を反映している。
不平等だから
個人は国の所有物では無い。犯罪以外は個人の自由は尊重されるべき。
基本的には現状のままで、夫婦別姓を選択したい人に対して窓口を広くすればいいと思う。
選択制です 反対する理由がありません
個人の選択を可能にするためのものであり、同性に拘る人の権利を侵害するものではないので、選択制が当たり前だと考えます。
現実としてほとんどの場合女性が姓を変え「家に入る」「嫁をもらう」という夫の家ありきで、あらゆることに女性が合わせなければならない空気を醸し出す制度に大きなストレスを感じます。
個人の自由にすべき

「家制度」は、日本国憲法下の現在の日本には相応しくないから。旧世代の不適切な価値観は一掃しなくてはならない。
姓を変えるのはたいへん面倒だから。
賛成側の意見に全て賛成できるから。反対側の意見には賛成できません。さらに、これは「選択的」と明言しているように、全ての国民に義務付ける制度ではない。嫌な人は選択肢しないという自由な余地を残している。家族の絆云々という話は異常に情緒的で、説得性に欠ける。韓国や中国では伝統的に別姓制度ですが、それが理由で家族の絆が希薄だという話は聞いたことがありません。
家族という社会の最小単位はあってもいいとは思いますが、それと個人の尊重は別だと思うからです。
現在の夫婦同姓制度は旧来の戸籍制度、ひいては家父長制と強く結びつくものであり、妻側に不利益を被らせていることが多いという差別的な実態をもち、男女平等の原則に反している。夫婦同姓によるメリットもあるかも知れないが、いずれにせよ各夫婦がそれぞれの決定に基づき選べるようになることが望ましいと考える。
選択的、という所が何より重要と考えます。
切望する人が多数いるなら選択肢を増やすべき。
姓が別でも夫婦は夫婦。
選択肢が増えるだけで誰にとっても不利益がないから
あたりまえのこと
結婚して僕の姓を残しました。妻に申し訳ないことをしたと思っています。
「家」と夫婦は全く別だと考える。夫婦は「家」の構成要素ではあるけれど、夫婦は個人のかりそめの結び付きでいずれ個人へ帰着する。「家」への恭順を強制される謂れは無い。
個人の自由だから
基本的には民法の同姓強要を廃止すべき。
選択制であって、強制ではないのでただ選択肢が増えるだけだから
現状では改姓させられる人と改姓しなくてもいい人との間に大きな不平等があり、多くの場合女性はその不利益を被ります。男女平等社会を目指しながら、こんな不平等を放置していいわけ無いです。
「選択的」であり強制ではなく、どちらも選べる法を制定する事に対して反対する理由はないと思う。家族の一体感は姓によるものではない。我が家は事情により私と子供と別姓だが、家族の一体感は無くなっていない。姓を変えたくない人に変えることを強制するのは、基本的人権に反すると思う。
個人の権利が尊重されると考えられるから。
現在は、ほぼ女性が姓を変更することが慣習となっており、旧家制度が残っているかのような思い込みが社会に残っている。そして、仕事を持つ女性の不利益も生まれている。一方で、改姓して姓を同じにしたい方の不利益も生じさせないために、「選択的」夫婦別姓が良いと思います。
選択だから
選べるようにしてほしい。
個人が必要であれば、自分の姓を選択できる余地を保障してくれる社会であってほしいので賛成です。
結婚して姓が代わったとき「嫁」という立場になった事を痛感した 私は私でいたかった
事実上、夫の姓を使うことが強制されており、個人の自由に反する。
当たり前の話しです
自分の名乗る姓を結婚した時点で選択出来る事はその後の生き方に影響がある為選択出来る機会が無いのは

おかしい
日本古すぎ
家制度からの脱却と個人の意識の尊厳は、グローバルな社会にとって有意義である。
どちらかの姓に統一しなければならない今の状況下で不利益を被っている人がいる。少子化により、婚姻の場合は 両家共に跡継ぎの問題が発生するため。
何かを強制するのではなく選択肢を保障する社会であってほしいから。
反対派の主張する内容に賛同する人は、同性を選択可能である。完全な賛成ではない(ただし子の姓をどうするか議論が尽くされていない点には注意する必要がある)。
選択制に賛成なのですが、自分自身結婚し妻の氏に戸籍名に変え仕事上は旧氏を使用し、その後新しい職場では戸籍の氏に統一して名乗るようになった矢先離婚し常に戸籍の氏と通称の氏が入れ替わる経験をしています。賛成反対を問わず一人に一つの氏が常に伴うという議論の前提自体に懐疑的です。そもそもマイナンバーが既にあるのですから出世魚のように成長の度に氏名が変わったり場に応じて変えたりしても問題はないと考えます。
賛否両論あるという状況自体が、選択的夫婦別姓の制度の必要性があることを如実に示しているから。あくまで選択的であって、これまで通り同姓にしたい人には何も影響がないから。別姓であることで子供へ良くない影響があるという具体的なデータや根拠はないから。選択的夫婦別姓は強制的親子別姓だという反対意見があるが、現状も結婚することで姓を変えた側とその親とは強制的親子別姓であるから。導入されれば、名字の問題で結婚を躊躇していた人が結婚することができ、婚姻数の増加が見込めるから。夫婦両者が姓を変えたくない場合、この制度がないと結婚できないため、姓を変えることが圧倒的に多い女性だけでなく、男性にも両性に弊害が生じるから。
「選択」なので強制ではない。反対派の主張には科学的根拠がない。
例えば離婚後、子供が母親について行った場合子供の名前も変わることが多いですが、親権が母親にある場合でも、元々母親と子供と名前が違うんだから違和感がないので子供のためにもいいと思います。
選択肢がないことのほうが異常
結婚によって、どちらかがどちらかの姓になる制度は、自分とは異なる相手の姓を選びたくない人にとっては、その人のアイデンティティを奪う人権を、個人の尊厳を無視したものです。姓を同じにすることで一体感をもつ人はいるでしょう。けれども、そうは思わない人もいます。つまり、姓の同一と家族の一体感は異なるものだという考え方もあるわけです。もし姓が同一でなければ、家族の一体感が形成されない、しにくいということであれば、諸外国はどうなのでしょう。ほとんどが男性の姓を名乗る現実をみると、この制度は家父長制、家制度の名残としか思えません。姓を同じにしたいという人に強制するわけではないのに、なぜ反対論者が選択的夫婦別姓に反対するのかといえば、この家制度を揺るがしかねないと考えるからではないのでしょうか。
どの様な姓を選択しようと個人の意思の問題である。
多数がどうあれ、不利益が旧姓の保持だけで解決するのなら、それを可とすることは一般社会になんら害をもたらさない。同様に、日本社会らしい通念に添いたい人、一体感が必要だと思う人も保証されればいい。全体に押しつけるにはあまりに多様で深刻な問題が、イエ制度・戸籍にはある。
世界の趨勢・多様性の確保・守旧勢力への NO
多様性の時代だから 結婚する人が増えるとおもわれるから
あくまでも選択的だと言う事
選択制なのだから、反対する理由が見当たらない。

仕事をしている女性のために
なぜ法律で同姓を名乗らなくてはいけないかが分からない日本会議はなにを目的にそのような主張をするのか
選択的ならいいと思う。
夫婦で別の姓を使用するというもう一つの選択肢が生まれるということなので問題ない。多様性を重要視する社会になってきており、法律を変更していくのは普通の流れだと思う。
当事者が決める権利を持つべきである
国際的な風潮であり、日本は時代に取り遅れている
反対意見は理由に乏しい。なぜ、それが反対の理由となるのか、理解できない。
個人の自律とフラットな人間関係が促進されることを期待して
戸籍、銀行、ネット上の登録情報等、様々変更しないといけない手続きが大変。日本の場合、別姓にすることによって、女性が一人の人間として人権があることが見えやすくなると思います。女が姓も変えて男の家に「嫁ぐ」ことで一個人とみなしてない気がします。今のままでは何もかも男にとって都合いいことばかりです。
人権にかかわることだから
これまでの人生で使い続けて来た苗字を変えるメリットは無い
家族の一体感の責任を女性に押し付ける事がなくなるから。
反対する理由がない。夫婦別姓にして、家族の絆が壊れるわけがないから。そもそも日本の夫婦同姓の強要や、夫の姓にしなくてはいけない風潮がおかしい。多様性の時代、いい加減日本は変わるべきだ。
選択制なので何も問題ないので
結婚した時に公的名前を夫姓にしなければならず、違和感を感じました。仕事では旧姓で呼ばれており 夫姓で呼ばれることはほぼゼロ。「選択制」なので嫌な人は同姓にすればいい事です。反対している人の思考が理解できません。
私自身も別姓を希望していますが、別姓を希望している人がいるので、選べるということが大切だと考えているため。職場では、旧姓を通称として使っていますが、海外に行く時には旧姓を使えず、先方にも説明しなくてはならないため。
自身が別姓にするかは別として、権利として選べるようになっているのは賛成です。
反対する理由が見つからない。
同姓を義務化しているのは、家制度の名残だと感じる。窮屈。
選択出来ることは当たり前のこと
選択の自由が保証されるため
国民個々人が自分で選択する事ができるということが重要であるから。つまり、強制されないこと。
同姓か別姓を選ぶか、結婚前にお互い十分話し合いを行えば、夫婦となる自覚が生まれるのではないかと思う。
選択できることにより個人のアイデンティティを尊重でき夫婦・家族のコミュニケーションが増え社会全体に差別的行動が減少するように思います。
反対する理由がない。
国家が規制するべきではありません、個人の自由だと思います。
選択的なので、従来通りで良い人にとっては何も変わらない。別姓が必要な人が選ぶことができ、今の法制度のもと、やむなく事実婚の形をとっている人たちが救われる。
今日、夫の姓に自分が変わることで婚姻届を出したが、夫婦別姓が可能になれば姓を変更したいと考えている

から。同性ができない、夫婦別姓が選択できないなど、性的マイノリティや(姓の変更をしると抑圧される)女性など、マイノリティにとって不利益のある婚姻制度は改正されるべき。
選択的で義務ではない、個人の自由が保障される制度、世界的に認める事柄である。
男女平等の基本的な人権のもと自由であるべきとずっと考えていました。
実際に婚姻により姓を変更し、女性である私にのみコスト面や社会生活面での負担がかかった。姓を変更することに対しての負担や問題点は、20年程前にはさほど可視化されていなかったが、なかったわけではない。今になって、夫に「あの時こういう手続きや出費があったのだが、知っていたとしたら、姓変更をしたかったか」とたずねたら、はっきり嫌だと言われた。私も、知っていたらもっと交渉していたと思う。
個人を尊重する。入籍という考えではなく、契約としてそれまで培ってきた社会的実績を大事にして積み重ねてゆく。
当たり前のように夫の姓に変えましたが、今となっては夫の「家」に入ったみたいで嫌。姓変更の手続きもすごく大変でした。子どもと姓が違って、そういう人たちが増えれば別に違和感なくなるのでは。
結婚を考えると、別姓、同姓を自由に選択することができるから。
自由に選択できる事が大事だと思う
キャリアも家庭もどちらも大事にして、活躍できる人を増やしてほしい。
当事者の自由でいいような気がします。
別姓を選択したい、しなければ不利益を受けるといふ人がいるので選択的に認めるのは当然だと思う。
姓をかえると、自分で資格を取った免許証さえ変更しなくてはならないのは、バカバカしく感じます。姓が別だと家族の一体感が養われないという反対意見に対して、すでに家族の一体感のない家庭は、他に原因があるのでしょうから、その反対意見は意味をなさないと思います。姓を変えるか変えないか選択できるという法律案なのだから、賛成します。
法律で定めないと逃げ道を作られる。
別姓が選択できないことで切実に困っている友人がたくさんいるため
反対理由に混乱とありますが、果たしてそうでしょうか？当初はあるかもしれないが、日本人の対応能力を考えれば大丈夫です。むしろ、旧態依然とした考え方に固執し、これからの日本を背負う若者の未来を考えようとしていない方が問題。若者主体で議論を進めては。
それぞれの個人の自由を尊重すべき。
多くの場合、女性が夫の姓に合わせさせられる現状は、女性に対する差別の1つでは無いかと思います。’選択的’なので、嫌な人はこれまで通りにすれば良いので問題は無いと思います。ただ、これまで日本人の大部分は、結婚→夫の姓に合わせるということを当たり前と思っていたので、しばらく社会に多少の混乱が生じると思われ、混乱を抑えるような施策も必要かも知れません。例えば、結婚した女性が別姓を選択して3年間は、旧姓と夫の姓を併記するとか。
平等の観点から選択的夫婦別姓は必要だと感じるから
選択する自由はあっていいと思う
自由で良いと思います。
選択権を与え、人それぞれが生きやすい環境で生きていくことが良いと思うからです。
結婚したら一般的に女性が男性の姓を名乗るということ自体にそもそも反対です。男性女性の立場が入れ替わっても同じことだと思います。姓を変えなければならないということ自体社会通念上の縛りや事務処理向上のため

<p>めのものではないかと思えます。ただ、子供ができた場合に問題は起きやすいと思えますが、それも子供が独立して生計を営むようになるまでのこと、姓の在り方で絆が途切れるとも思えません。思いたくないのかもですが...</p>
<p>強制されて同一姓名にしなくてはならない、これまでの制度に問題があると思うから。</p>
<p>選択ができるから</p>
<p>夫婦別姓にしても起こりうるトラブルは少ないと思われる。パスポートなどもカッコ括りなどで対処可能だと考える。夫姓に固定すると、女性が培って来た歴史をある意味否定するようにも思う。特に問題なことは、これまで日本の政治家による女性蔑視の観念が強く従わせようとの意思が根強くあると思う。このような悪しき従属観念の定着は早々に取り払われるべきと確信している。</p>
<p>夫婦同姓を強制する必要性は感じられないから。本人達の意味で同姓/別姓は選択できる事が望ましいと思います。ただし、それを利用した犯罪行為等が発生しないようなルールがある事が前提となります。</p>
<p>希望する人は使えば良い。ただし他の政策より優先度は低い</p>
<p>選択肢が増えるだけでデメリットがない</p>
<p>「選択的」であることに、なんら問題を感じないからです。他人の姓や家族観に口を出すな、と思います、余計なお世話。</p>
<p>出生児の名前を変えることに合理的理解困難。結婚で姓を変えることに、とてつもない飛躍を感じる。結婚を遠ざける気持ちが、起きる人もいるように思う。</p>
<p>家族の姓(子の姓)は合意して決めて、本人のみ別姓を名乗る形で進めるのであれば賛成したい。少子化対策として婚姻率を上昇させる効果が期待できるため。</p>
<p>別姓による不利益をなくす必要があると考えるため</p>
<p>結婚が家同士から個人のものにも変化しており、選択肢として増えると良いと思いました。</p>
<p>それぞれが自由に選べば良いだけの事</p>
<p>現状こそがおかしいのだから、反対する理由が無い。</p>
<p>選択肢は必要</p>
<p>女性だけが名字を変えるのは不平等だから。</p>
<p>改姓するもしないも選べるようになる、ということだから何の問題もないと思うので。</p>
<p>法律婚を選択するには必ず一方の性が姓を変えなければできないことに合理性はない。</p>
<p>互いに尊重し合う、社会でありたい。</p>
<p>シンプルな理由として、結婚をするとどちらかの姓に変える必要性は無いと感じるため。また、姓を変えることで血脈を絶やしてはならないといったオカルト的な要素も薄められると考えるため</p>
<p>法整備が必要であろうが、別姓である必要を有するカップルも当然あるだろう。きちんとした法整備下で個々の選択肢があって良し。</p>
<p>身分門地に起因する制度と理解しています。悪き昔の風習で、財閥政治や格差の時代を求める象徴と考えます。</p>
<p>反対する理由が、自分には無いから</p>
<p>ジェンダー平等や個人の自由度が新保している世界的な潮流の中で、選択的夫婦別姓は導入してもいい環境に来ていると思われるため。</p>
<p>姓をかえることにはコストとエネルギーが必要。それが主に女性に押し付けられてきた。離婚、再婚でもすれば何</p>

重にも。自分にとって姓は記号だと思っている。
結婚して自分の姓が代わり、かなりの社会的な信用をなくしてしまった。個人を大切にする別姓制度を希望します
多様性を認めることに賛成。「選択的」であるのに、反対する意味がわからない。
本人の状況に応じて使用する姓を夫婦間の話し合いによって選択できる制度なので反対する理由がない。
利便性
現在でも養子や結婚で家庭内で姓が異なる状態は発生しており、あえて限定すべきものでもないと思う。
女性であれ男性であれ、自分の姓についての選択権は本人が持つべきだと思います。
「選択的」なんだから、これまで通りに進めたい人達は慣例に従えば良いし、結婚する者同士で決めたら良い。どちらかの姓に統一しないといけないと強制される事をやめてほしい。
最近の様々な意見を目にした結果、何十年か前に、当時の慣習で夫の姓に変えたことを後悔している。(改姓による喪失感、仕事上の不自由もあった)そんなことが起こらないように、選択できること、立ち止まって考えた末に「選べる」ことが望ましい。
姓名選択の自由は守られるべき
私は日本国籍有し、妻とともに30年前に渡米して、子供を授かりました。現地の方は多国籍で、家族で仲良く暮らしていました。離婚率は高かったですが。 姓は両親のいずれか、夫婦も選択的別姓でした。米国を含め世界のほとんどの国が、戸籍や住民票が無いとも聞いています。 なお、マイナンバーが無くとも、ソーシャルセキュリティナンバーが機能していますし、ソーシャルセキュリティナンバーが無くとも暮らせませす。
様々な理由から必要な方がいるのであれば選択できる権利を与えたい。
選べない人生などあり得ない。
選択できるのですからどちらを選ぶかは自由であってなんの問題もないと考えます。
自由が大事
これこそ自由、個人の問題法律によって制限されるものではない
9割以上、女性が改姓を余儀なくされている現実があり、選択肢が増えることはよいことだから。
夫婦別姓にしたからといって、それだけで、家族の一体感が薄れるということはないと思うから。
今での姓を使う権利を奪ってはならない
選択も出来ないようでは、恐ろしい世の中になってしまう。
基本選択するのですから今までのもので不利益を得ている人がいるのも事実なので賛成ですが、日本の戸籍法などが後からひっついてくるのでそれに伴って問題に捉えられたいるのが子どもの【姓】な問題ですけどそれもどうなんだろう基本家制度からできているのもっとシンプルにできればいいのにとおもいますね 事務処理の問題なども含めて 事実婚などもあるのでそのあたりの整理が必要かなとも思います
選択なのでこれに反対する方の意味がわからない。
同姓にするとどれだけ各種手続きが大変か。なぜ一方(ほとんどが女性)に負担になるような事柄を一方(ほとんどが男性)は当然のように見ているだけなのでしょう？別姓が選択できれば何も変更する必要無く、男女平等だと思います。
時代似合った制度が必要と思います。
個人が尊重すべきことで、同性でなければならぬ事を強要するのは平等ではない。
選択できるので好きなようにすればよい

どうしても夫婦同姓である必要があるとは思えない。日本も多様性を認めるべきである。
選択的なのだから反対する理由がない
夫婦別姓は相互権利として保証されるべき。
『選択権』があることが何よりも大切だと思います。自分らしくあるがまま生きたいという想いは尊重されるべきで、自分の氏名のまま生きることも、それを必要と思う人の想いは尊重されるべきだと思います。
選択なので。不便な人がいるので。
古い友人で夫婦別姓を求めて長年苦しんできた人がいます。制度として保証したとして、誰に迷惑をかけるとも思えません。
当然の事だと思う。
何一つ強制されたくない
国際的に活躍する人材が増えていく中、現状制度はその弊害以外にない。また選択性であれば本人達の意思が尊重され、何ら問題はない。
夫婦平等という観点から
個人の選択の自由を尊重したい。そもそも国際基準から逸脱してきた。特に日本は女性の意識を尊重すべきである。
大半の女性が働くのが当たり前の時代。家庭環境も変化してきている。選択的夫婦別姓は当たり前ではないか。
個人と個人が婚姻するのだから両人の選択を尊重すべき。そもそも婚姻ではなくパートナー制度で良いと思っている。
選択制だから
夫婦別姓にするか同姓にするかを選べるのでなんの問題もない。むしろ同姓を社会的に強要するようなことが続く国は、先進国の条件を満たさず、人権感覚の遅れた成熟度が低い国だと国際的に評価が下がっていくであろうことの方が日本の未来に禍根を残すと思っている。
資格関係は結婚などで改姓があると再登録が必要です。多くが期限が短く遅れると理由書が必要な時もあり、それぞれに登録料がいります。国で改姓を規定するなら、期限は十分なゆとりを持たせ登録料は国が負担するべき。
夫婦は家のつながりでなく、個人につながりだから。
選択的夫婦別姓を保障する法律は、選択の自由を認めています。早急に制定するべきだと考えます。
私は学者です。海外で仕事をしていますが、就職の際、パスポートの名前と異なる旧姓を捨てざるを得なかった。それまでの旧姓での論文の作者が原姓で論文を書き始めた私の成果であることは、もう学界で知られているが、私が離婚したことも一緒に知られている。日本人女性だけがこんな思いをするのはあまりにも理不尽だ。
姓は単なるアクセサリーではなく、その人がその人であるというアイデンティティに関わっている。それは男性でも女性でも同じ。自分の姓が平凡で好きではないという人もいるのでその人は相手の姓を名乗ればいい。
多様性を重視したい。苗字を変えることで社会活動上、不都合な人がいるのは確か。誰しものが生きやすい社会になることを願う。
「選択」に反対する意味がわからない。私は事実婚を選択しました。16年前に相方が亡くなった時は諸々の手続き、作業などに心身とも疲れはてました。
男女問わず自分の意思で決めれば良いと思います。
本来結婚当事者の自由意思に任されるべきことだと思います。同姓が良い方は同じ姓を使うのも自由です。

別に自由でいいと思う！
苗字を変えることでアイデンティティを失う気持ちになるという女性がいるのは、よくないと思っています。
ずっと使い続けた氏の愛着と氏が変わってしまった喪失感と配偶者の家の屈辱的な支配感。
今までは何の疑いもなく結婚すれば夫側の姓を名乗っていたが選択的というのであれば別姓でもいいと思う。子供の姓をどうするかという問題はあるがこれが定着すれば僕はお母さんの方の苗字、私はお父さん側の苗字…というのが当たり前になればその中で色々に選択していければ良い。今までは何かにつけて女性に不利な法律が多い。
女性の社会進出が進み、改姓によるキャリアの断絶など不利益が増えた
選択的が重要。
選択的なので特に問題は無いと思います
夫の姓になる女性が多いが、万が一離婚となった時、再び姓が変わることになり、知られたくない個人情報を周囲に知られざるを得なくなるから。実際、職場で複数その実例を見てきた。また、特に女性においては夫の姓になることが多く、未だ「〇〇家の嫁」という目で見られることが多く、何か束縛されている感じがするから。
自分のキャリアはそのまま継続していけるようになる。
当たり前のこと
現状に困っている人がいて、しかも選択制ですよ。反対する理由がないです。
家族、親子、夫婦であっても、わたしはわたしです
生まれた時の名字を変えたくない
選択であり、強制されるものではない。誰に迷惑をかけものではないから。
選択が可能、であるから。統一のみでは家同士の婚姻の象徴である。憲法に反する。
男女平等だから
時代が昔とは違う。同姓だから家族の意識が生まれるわけではない。あと、結婚は夫の家に入るのではなく、新しい家庭が生まれることである。結婚しても 自分の親・家族との関係が変わるわけではないが、名字が変わるとそのへんもおかしくなる。そして 女性は 旧姓でキャリアを積んできているから そのままの方が絶対仕事はやりやすい。とにかく 姓を変える必要がまったく無い。
姓について縛られる必要はないと考えます。養子縁組に出た男性は姓が変わります。男性の姓に合わせる意味が分かりません。離婚したら姓が戻ります。管理も複雑になります。選択的夫婦別姓は賛成です。
男尊女卑の思想の一端が男性側の姓を名乗ることにも表れていると思える。
別姓を強制するわけではない。同姓を選択する人は(従来どおりの方法を)実現できる。
理由を述べるまでもなく、保証すべきだと思うから。
個人が生きるうえでの選択幅が広がる
選択制にすれば、どちらも選べるから 変えたいひと変えたくない人のどちらにも適正な判断ができる。
選択肢として用意して使いたくない人は使わなければいいし、使いたい人には強制的な同姓使用の不利益を解消できる
結婚も姓も各個人の自由のはずです。「共同体意識」より人権の方が大切です。
人権
婚姻を、根拠としての姓名変更に納得出来ない為

<p>独立した一人の人間として、名字を選べないのはおかしいと思います。何時までこんなことにこだわっているのでしょうか？</p>
<p>国際的に研究業績が姓が変わるとカウントされなくなってしまう。</p>
<p>女性に著しい不便を強いている現状は不平等であり、改善されるべきだから。</p>
<p>明治政府以降の誤った政策。当然の権利。</p>
<p>婚姻により姓を強制的に同じにする必要がないと思う。変えたくない夫婦まで強制しないでほしい。</p>
<p>時代に即して</p>
<p>現行制度では、ジェンダーの自由および平等、いずれにも問題がある。婚姻のあり方自体に多様性を持たせる議論が必要。</p>
<p>憲法に照らしての個人の自由こそが最優先。選択的夫婦別姓制度の導入を待ち侘びて事実婚を続けている。</p>
<p>研究者、国際機関勤務者など通称が使用できないことで不利益を被っている人(特に女性)がいる。</p>
<p>苗字変更の手続きが面倒。世界では別姓でも問題なく家族が成り立っている。</p>
<p>永年、夫婦同姓に疑問をもっていたため。</p>
<p>選択性であるから、望まない人は同姓にすれば良い。同姓を強いられて、不当、不自由を感じている人の権利を保障する必要がある。</p>
<p>人権は個人単位ものだから</p>
<p>夫婦同姓は、ともすれば相手に属するという理解にもなり、女性も一個人として尊重されるべきであると考えから</p>
<p>夫婦別姓を強制することは人権を否定することだから自由に選ぶ権利は万民に与えられるのは当然。</p>
<p>選択的夫婦別姓は、公共の福祉に反するものではないと考えるから。個人の権利を重んじる立場をとれば、当然の権利だと考えます。</p>
<p>多数の女性が夫の姓を名乗り、夫の家の家風に合わせた人性を強制され虐げられた歴史が長い。私の体験を申し上げますと、父は母と結婚した途端に暴力亭主になり、母は死ぬまで悩まされた。個人を尊重することが身に付いていない証拠である。夫婦別姓によって配偶者を他人として認め合う必要を感じる。</p>
<p>女性も世界で活躍する時代です。働きやすくするのが一番良いと思います。</p>
<p>「家制度」はもう存在していないが、夫婦どちらかの姓にすることで「その家の嫁・婿」になったと思われやすく、軋轢が生じるから。(本当は夫のものでも妻のものでもなく、2人で考えた新しい姓を名乗りたい)</p>
<p>強制的夫婦同姓制度は異常としか言いようがない。</p>
<p>姓の選択を多様な個のあり方として尊重したい。</p>
<p>今や日本だけの悪しき慣例です。各個人が「選択」すれば良いことで、強制ではない。誰にも迷惑をかけない。憲法13条にも違反している。</p>
<p>生まれた時から、長女で初恋から、長男ではなく、次男でないと結婚できないと思っていました。</p>
<p>結婚しても姓を変えたくないと思っても、現在の法律では、多くの女性が、姓を変えざるを得ない現実があるから</p>
<p>結婚する人が、それによって自身の氏を変えざるを得ないことは、自己同一性の喪失であり、また現状、女性の多くが氏の変更をしていることは、男女平等の原作に劣るものであるから。</p>
<p>もし選択的夫婦別姓制度が導入されていれば、私は苗字を変えなかった。結婚と同時にどちらかが改姓を強制されるのは個人の権利を侵害している。</p>

もともと、夫婦同姓は、明治時代から始まっており、反対者の意見は、破綻している。家長制度は 国民は、天皇の子と教育勅語で戦前教育をなされ、反対しているのは、靖国神社、日本会議、統一教会と大日本帝国に戻りたい面々である。
選択の自由を増やすだけで、誰の権利も侵害しないから。夫婦別姓の選択が増えることで利益を得る人が多数いるから。
選べる自由がある方がいいので。
改姓すると不便で不利な状況になることを避けたいと考える人が選べる方法だから。
名前は人格です。好きに選べることは人生を自由に生きることだから。
周りを見渡しても、そうしたことでさまざま苦勞をされている場合もあるし(苗字が途絶えてしまうことも多々あります)など、結婚を望まない人が増えている中で旧来の制度を続けていることの弊害や、「選択」制であることで、望む人にとっては同姓も可能であること、反対派の意見が割と感覚的で説得力に欠けているように思いました。
夫の姓に変わることなく自分のアイデンティティを確立しておきたいからです
この時代どう見ても不便でしょう。
誰も不利益を被らない
姓も自分で選びたいから。
姓の変更をアイデンティティの問題としてとらえ、結婚に踏み切れないカップルが現に大勢いるから。
あくまでも選択なので、どちらを選ぶかは個人の自由
わざわざ別姓にして結婚したことを宣言するような真似は現状にそぐわない
国際的かつ多様化の時代になってることもあることだし、それぞれの生き方や選択肢を認めるのが好ましいと思うので。
反対する意見には、同意できない。夫婦同姓を強制することによって、被害・苦痛・損害を被る人がいて、その方たちを救済するべきだと思います。
夫婦別姓は自然です。
愛する者たちが結婚する際に、何故、一方が自分の姓を捨てなければならないのか、全く理解できない。それぞれのそれ迄の人生の上に婚姻があるのだから、名前も継続されるべき。少なくとも、選択肢としてあるべきだと思う。それ迄使用してきた名前を失う喪失感の大きさ、社会的存在も分断されてしまう苦悩。それを維持しようとする者たちの暴力。一刻も早く選択できるように改正すべきです。
同姓にしなければならない、というのはそもそも伝統ですらない。靖国や学校教育などと一緒。100年 200年程度で何が伝統やねん、と思います。
個人の尊厳と世界での日本は、不都合で利便性が損なわれる
氏名は個人の基本。姓と名が別々ではなく一体となって個人を特定するものだと思います。したがって結婚したからと言って姓を変更することは個人の人権の侵害になる可能性がある。自分の名前の選択の権利は本人にあるべきである。
困っている人がいるのなら、選択できるように制度を変えれば良いと思う。
選択できることがフラットな生き方の第一歩だと思うから
女性の社会進出を促進する効果大きい。
性は差別されてはならないと思っている

<p>選択できる自由があるのは良いこと。別姓にしたい人はできる仕組みづくりが大事 少しでも生きやすいと思える社会を目指したい</p>
<p>自分の名乗りたい姓を名乗るのは個人の自由だから、それを妨げられてはいけないと思う。</p>
<p>別姓は当たり前のこと</p>
<p>選択的なのだから、別姓にしたい人は別姓、同姓にしたい人は同姓にすればよい。実質、姓を変えることのコストが女性にばかりかかっている</p>
<p>旧姓で仕事をされている方も多し、仕事をされていない方も自分の意思でそのままにいたいという考えは尊重すべきだと思います。</p>
<p>選択するだけなので強制的な制度じゃ無いから</p>
<p>結婚の際、姓の変更に関する女性への負担やストレスが多いから、また、姓を統一するなどの考えは、女性に選挙権が認められていなかった頃の悪しき考えに基づくものと思います。したがって選択制夫婦別姓の保障の法律に賛成します。</p>
<p>結婚するとき、姓が変わる事に大変違和感があった。男性の性が変わることが、男性の生活基盤の中に飲み込まれるような、思いがあった。実際、同じように女性である私も正社員として働いてきたが、家事育児は全て私が担った。夫は結婚しても今までの生活は何も変わらずで、私は180度と言ってもいい程変わらざるを得なかった。何よりも家庭の中の平等が、姓が変わることにより保てなくなった。個人としての平等が消えていく。結婚前のようなお互いの〇〇さん(個人)ではなく便利な妻(夫に気を使わねばならない)になる。</p>
<p>今の法律は、崩壊している古い家族制度に馴染まない</p>
<p>文字通り選択できるのだから反対の人は選択しなければいいだけのこと</p>
<p>反対の主張には説得力がない。反対する理由がない。人間の最も大事なものは自由だと思う。</p>
<p>選択肢が増えた方が良いから。姓の強制変更は人間の尊厳にとって良くないから。</p>
<p>個人で仕事をしていて結婚時、離婚時共に契約書や通帳、その他諸々名前を変えるのに時間とコスト、労働力が取られることに大変疲れたから。</p>
<p>不利益があるのであれば無くすのは当然。選ぶのはあくまでも本人の選択。</p>
<p>基本的人権そのものと考えています。</p>
<p>夫婦同姓とするか別姓とするかを選択できるということで、何も問題がないから。</p>
<p>あくまで選択制で、それぞれの夫婦の価値観の村長が可能。現状に照らせば、同姓強要は女性の不自由・権利の侵害の元成り立っている制度でやめるべきと思う。</p>
<p>現在同姓にすることの不利益は女性が負っている。仮に逆転して男性の改姓が増えたとしても、男性が不利益を被ることになるから何の解決にもならない。</p>
<p>多くの女性の不利益をなくすため。結婚したら女性は相手の家の「嫁」になるという時代錯誤の因習をなくすため。個々人の人権を尊重するため。</p>
<p>選択的なのだから自由がある。</p>
<p>家と家とが婚姻するのではなく、個人と個人が婚姻するのに、どちらか一方の姓に統一“しなければならない”ことに著しい不便や苦痛を感じる人もいるのだから、別姓を選ぶ自由が認められるべきだと思います。</p>
<p>姓を実質的には選べないことで、不利益を被ってきた。</p>
<p>姓は親から受け継いだものでありそれを結婚したからと言って変更するかしないかは個人の自由権利に属する。それを国家が強制的に改名させるのはおかしい。</p>
<p>姓は人格の一部であり、婚姻によって変更を強制されるのは理不尽なことなので、選択できる自由を認めるべき</p>

である。
選べるのだから、個人が選べば良い。
女も元々の姓を名乗りやすいように
人は常に平等であるべき。
何事も個人単位にする方が良い、又、個人の来歴を尊重する。強制ではないし、希望する人が選択できるのは当然の権利で保障されるべきです。そういう社会でありたい。
同一姓はそもそも日本古来の物ではない。明治政府が始めたと言って良いと思っている。
基本的な考えが女性差別に基づいているから。加えて海外との仕事が増え実務で影響(支障)が出ている。あくまでも選択的で、同姓を選ぶ人に影響はないにもかかわらず、選択をしたい人達の自由がない状況に大きな問題を感じる。
社会生活上の不利益が大きく、選択的夫婦別姓を認めなければその不利益は解消できないため。
純粋に選択肢が増えるのは良いことだと思う。
生まれてきて使ってきた、なまえ(姓名)が、結婚したから変わるってやはり変です。
選択できないことは人権の抑圧
別姓にしたい人の権利を守るべき
多くの場合、女性が姓を変える事になると思いますが、通帳・キャッシュカード・クレジットカード・運転免許証など、その改姓手続きの煩雑さは膨大なものですが、その負担はすべて女性側が負う事になります。また、旧姓のままにしておくとか何かあった場合に証明できるものがなく、戸籍を取り寄せるなど、よりたいへんな手数を強いられてしまいます。長い人は、手続き終了まで数年かかる場合もあると聞きます。また、姓が変わる事により古くからの関係が分かってもらえなかったり、連絡が来なくなったりの不便も生じます。ましてや、資格で仕事をしている者は、登録名まで変わってしまうので連続性を感じてもらえず、信用度が低下してしまいます。ちなみに、税理士の場合、「姓・名前 税理士事務所」という名前しか税理士会で公的に認められていません。これ以外の事務所名を看板にすると、税理士調査で改善するように言われます。なので姓が変わると別事務所のようになってしまいます。※現在は、承認会議で承認されれば旧姓使用ができるようになったようですが、それでも、今度自分が税務申告する場合、申告書の姓と事務所名の姓が違ってしまいます。今の日本を見渡すと、未だに〇〇家と〇〇家の結婚式など強制的夫婦同姓制度によって姓に拘りができてしまい、それによって未だに「家制度」意識を持ち続けている人が多いと思われれます。例えば、夫の老親の介護問題が生じた場合、結婚して姓が変わった娘には扶養義務があり、同姓でも息子の配偶者には扶養義務がないにもかかわらず、同姓というくくりで判断され、息子の配偶者に世話や負担を求めてくる介護事業者や相談機関が多数存在します。また例えば離婚した場合、姓が変われば周囲に離婚した事が分かるし、離婚前の夫の姓のままにしておく、実家のお墓に入ることもできなくなるという事象が起こる場合もあります。言い出したらキリがないですが、選択的夫婦別姓になる事によって、古い家制度の意識が薄らいでいき、より女性が活躍できる社会がやってくると思います。世界的に見て日本の女性の地位が低いのは、強制的夫婦同姓制度により、女性が男性の家の付属物のような意識になっている点も大きく関係していると感じます。経団連も国連も選択的夫婦別姓を推奨しています。反対しているのは、今も頭が昭和初期の一部の自民党議員だけです。日本も選択的夫婦別姓制度を取り入れて、世界標準になりましょう。
夫婦別姓を選ぶ権利はあっていいと考える
反対する理由が全く賛同できない。
夫婦であっても、個々の人間であることの認識が重要。姓を押し付けることは個人の尊厳を失う危険性や女性

軽視を誘引する恐れがある。
夫婦同一姓等ナンセンス。
夫婦同姓が良い人は今まで通りそうすれば良い。なんらかの事情で婚姻後も別姓にしたい人に同姓を強制するのは単なる同調圧力を感じる。
日本の家制度、家父長制の流れの夫婦同姓はおかしいと思う
選択するのは自由だから 困っている人を助けるのは 当たり前行為だから。 法律は人を縛るためじゃなく 守るためにあるから。
日本の家制度自体が封建的な「男尊女卑」の思想であり、「国家」からの押しつけだと思います。
夫婦同姓は家父長制の残痕。夫と妻は完全に対等であるべき、その象徴としての夫婦別姓。
家族の在り方が大きく変化した今の時代に相応しいのは夫婦別姓であると考える。
個人の権利が拡張されることは良いことだと思うから。歴史を見ても夫婦同性にするようになったのは比較的最近のようだし、別姓のままでもいいから結婚をしていない人が身近にもいるから。入院などで嫌々姓を変えた人がいるけど、不満そうだった。それに、あくまで選択的なものだから、同じ姓にしたい人は変えるのでは？ 選択肢が増えるだけで困る人誰もいない気がする。むしろ、入院などで困っている今が異常なのでは？と思う。
姓はアイデンティティの一つであり、生まれた時の姓を維持したい人の意思も尊重すべきであり、この事は個人の尊厳を最も重視する現行憲法にも合致するから。
女性ばかりが姓を変える現状は良くないと思います
個人の選択にまかせるべきである。
国際的基準として
明治憲法にとらわれすぎ、一般に姓が出来たはそれ以降
選択なので同姓にするか別姓にするか個人に任せれば良い。
いつまでも家制度のような古い制度で、本籍地まで確認するような制度自体の意味が理解できない。
夫の姓を強制できる理由はない。
・人権の問題である。名前に関する決定は個人に任せられるべきだし公序良俗に反しない限り自由であるべき。むしろ改姓を選択ではなく強制される方がおかしい。・家制度は害悪だ。個人の尊厳を毀損している。
私自身、姓を変えると家が断絶するという理由で結婚をあきらめたことがあります
別姓を認めないことは差別と考えるから
自由な選択を望むから
男性優位社会・家中心主義的社会において、もっぱら女性に犠牲を強いる制度。そもそも明治期の西洋化において制度化され、日本の伝統ではない。
男女の格差をなくすにはまず既婚、非婚に限らずあらゆる制度を個人を基準としてつくる必要があると思う。婚姻は当事者同士の個人的な契約関係でありそのルールを国が規制するのはおかしい。当事者が望む形にするのが合理的。
不利益を被る人がいるのであれば、賛成
人間の意志を尊重すべき
個人の選択に任せられるから。
選択だから
自分なりの選択ができるから。

選べるのが自由につながる。
個人としての人権を保障すべき
本人の意思の尊重
多様性を尊重(感情的な反対論に違和感)
反対する理由がない。
世界の常識、自民の非常識。
選択的夫婦別姓ではなく夫婦同姓の強制を禁止の方がより好ましい。
少子化が進む中で、お墓の保存が難しくなっています。女性の家族は墓仕舞いせざるを得なくなります。
女性が結婚した場合、職場で改名するのは大変。銀行口座なども変更が困難。
6 番の理由に同意
「嫁」であるという言葉で女性は縛られている部分が多々あると思います(年末年始や行事など)。別姓が法的に可能となる場合でも、別姓を選択することは難しいと思いますが、選択できることに意義があるとも思います。
選択制であり戸籍制度が崩壊するとの意見は成り立たない 別姓だからといって家族の絆が損なわれるものでもない
戸籍制度にも疑問を持つ、家や氏など囚われない個人の自立を大事にしたいから。
本来は別姓、むしろ選択的夫婦同姓になりますように…
50 年前に結婚した時からずっと何故妻が姓を変えるのか？ そう思う私はおかしいのか？とおもってきました私はおかしくなかったのですね
個人の自由である。子供については夫婦で話合う。
家長制度を守りたい守旧派の思惑が見え見え
選択的なので嫌な人は選択しなければよいので制定した方がよい
夫婦別姓を選択可能にするだけなので、そうしたくない人は従来通り同一姓にすればいいだけだし、反対している理由が意味不明・根拠薄弱だから。
反対の人は今の制度でいいのでは？別姓を選択したい人がすればよい。強制ではないので賛成です。
戸籍上の夫婦であれば、別姓でも構わない。
「結婚すれば、夫婦は必ず同じ姓を名乗らないといけない」と、一部の方の意見だけで、強制される謂れは無い。
夫も妻も働くのが当たり前前の社会なので別姓を選択出来るのが当たり前だと思う。
男女同権であるはずなのに女性の側に負担のほぼ全てを負わせている現状は是正すべきであると思います。
姓名は、人間個人の id と考えているので、自分で選択出来るのが、自然だと思う。
グローバルスタンダードに合わせるため
賛成の主張内容は日々の暮らしの中で大いに共鳴するものだから
個人の意思で選択できるから。
選択できることはいいことだから。
個人の尊厳からして当然です
個人の自由です
個の確立を尊重する社会でありたい。

公的な資格を複数有している人は姓が変わることで多大な労力と時間を費やすことを余儀なくされる。実際に知人が大変な苦勞をしていた。一方の配偶者だけにそのような負担を強いる制度は不公正であり、社会の規模で考えればこの無駄な労力を無視できない。夫と妻の改姓の割合のアンバランスを考えれば、平等な関係とは考えられない。強制的に姓を変えずにすむ法律は必須だと思う。この法律は20年以上まえから全く進捗していないように見える。与党政権に幻滅する一つの理由になっている。
昔の名前で付き合いのあった人に対して、名前が変わると認識に手間取る。別姓同姓を好きな方を選んだら良い。
どちらも選択できるので何の問題もない。選択的夫婦別姓制度を行ってないのは日本だけなので早急に実施すべき。
自由は国民の権利
選択の自由があると思うので。
マイナンバー制度を作った今、行政にとっては個々の名前自体は大した意味がなくなったと思う。そういう趨勢に反していまだに姓にこだわる意味がわからない。
「選択的」なのだから各夫婦が苗字をそろえるのか別にするのか選べば良いのだから誰も困らない。「選択」さえ許さないということは、「家制度」の崩壊を恐れているのだろうが、この「家制度」こそ男女差別の温床に他ならないのだからこんな「家制度」も崩壊させるべき。
個人の選択を尊重してほしい。そのためのインフラ整備が喫緊の課題のである。
夫婦同姓は不便だから
別姓だからといって夫婦間の絆は変わらないと思う。気持ちの問題であり同姓という形式的な問題ではないから。
男女不平等の長い歴史を考えれば、その是正に寄与する法律に反対する理由はない。
改姓すると自分が自分でなくなる。逆になぜ改姓させたいのか全くわからない。家族の絆などという問題はそれぞれの家庭内の問題であって、国が口出しすべきではない。
家族で違う名字が居たら子供は哀しい思いをするという反対意見。私の離婚した友人は結婚前の苗字、息子は父親の苗字で楽しく暮らしています。昔と違って一覧表に親の名前を書くとかないので、親と名前が違うとかで子供はいじめられません。そしてあくまでも選択制なのだから。
個々人の人権を尊重、遵守し、全ての国民に姓を選択する権利があるため
あくまでも選択制であるため
あくまでも選択が可能になる仕組みであり、賛成も反対も双方の立場を疎外しないと思われるため。
今までは夫の姓を名乗るのが当たり前であったが、女性の社会進出等大きく生活が変化しているので個人が望む姓を名乗れるようにするのが自然だと思います。
結婚してもわたしはわたし。なぜ一方が一方の姓に従うのか不思議。
現在の状況を考えた場合は、別姓を設定しない理由はない
国民の選択肢が広がることであり、諸外国でも導入されており、反対する理由が無いと感ずるため
パスポートの氏名変更する手続きが面倒くさい。
選択の幅が増えるのは良いことだと思う
まあ、個人の自由ですから。
墓もりの、継続を考えると・・・”！

<p>選択的夫婦別姓のみならず、全ての人は個であり、法律で家族・家庭といった集団を束縛すべきではないと考えます。であるから、個人の名称についても本人が呼ばれたい名前を得る権利があると主張します。</p>
<p>現状の多数が女性が改名していることが、男女平等の考えからするとそぐわないから</p>
<p>家族の形態は現代では多様です。特に女性の社会参加が普通の時代、姓が選べるのは重要です。</p>
<p>選択肢がないよりはあった方がいい</p>
<p>中々難しい事ではあるけれど、どうしても夫婦別姓にしたいとの意見も、聞き入れるのが良いと思う。</p>
<p>既婚者もそうでない人と同じ 一個人として 姓 名を産まれた時のまま保たれるべきと考えます</p>
<p>選択出来るのでそれぞれが都合の良いほうで利用できる 細かな内容を決めるのが大変かも？</p>
<p>日本が夫婦別姓になって、僅か 130 年余。大勢の女性が旧姓で名乗ることを望んでいるのであれば、男女ともに選択的に自分の姓を選択できる法律を制定しても問題は一切ないと考えます。ただし、戸籍上では婚姻した夫婦で話し合いをした上で、姓を統一して登録しておくことを基本にすべきだと思います。戸籍を離れた日常生活での姓の名乗りは自由であるべきです。</p>
<p>同姓を強制されることから、結婚を控えたり、離婚の遠因となるケースが少なくないため</p>
<p>あくまで選択できる制度であるので、現状のままでいいという人と別姓のままを望む人の両方の意見を汲むので、反対する理由などない。</p>
<p>別に、別姓にしても特に大きな問題はないのでは？ 生まれてくる子孫の姓なんてどうだっていい話。</p>
<p>まさしく選択できるから。</p>
<p>現在の婚姻において、多くの婚姻者が夫の姓になることが当たり前のようになっているが、これは家長制度の名残りだと思う。選択的夫婦別姓を導入することで、個々の人権が守られ、少しずつでも人々の意識が変わるのではないかと期待している。</p>
<p>賛成意見にあるメリットに賛同する。しかも、反対意見は「選択的」なのだから、反対の方は選択しなければ済む話であって、他人の考え方・生き方に意見をいうことは、人権侵害とも思える</p>
<p>事実婚の方々も増えていると思うし、女兄弟しかいない場合、親の姓を名乗りたいと思う人もいると思うから</p>
<p>結婚して女性の姓が変わるのは、女性の不利になることが多い。</p>
<p>婚姻しても 所帯分離して 財産は 個人のもの の まま。</p>
<p>別姓である個人的自由と社会生活における合理性を担保、保障するため。</p>
<p>夫婦同姓も、夫婦別姓も夫婦間で合意が取ればどちらも認めるべき。家父長制度が崩壊した現代夫婦別姓もありだと思います。</p>
<p>夫婦別姓でも仲良く、二人の仕事をしながら 暮らしているご夫婦がいます。名前は関係ありません。</p>
<p>各家庭単位の問題と、現状で良い夫婦。生業等で、別が悪影響がある夫婦。選択肢を作る事が、良いです。</p>
<p>個人の意思表示のための選択肢が増えるから。</p>
<p>反対する理由がわからない。</p>
<p>制度が変わる時は、不利益を受ける人がいることが多いが、選択的夫婦別姓はそれがない。なのに、反対する人たちがいるが、その主張は大きなお世話。実際に困っている人が救われるのなら、今すぐにでも法改正すべき。</p>
<p>反対する理由がない</p>
<p>生まれて親に名付けられた名前は一生使っています。自分の考え方や意思で改名する事も出来ます。氏(姓)も親が名乗っていたのをそのまま生まれた時に自動的に親の氏を名乗ります。それから姓名は一生それを使う</p>

ことになる仕組みになっています。その姓名を一生使い続けるかどうかは 家を継ぐ世の中の仕組みではなくなっているので家族の意思より個人の判断に任せられるべきだと思います。 選択的夫婦別姓は、今まで通りの家族一姓を続ける方は続けることは出来ます。生まれ持った姓を一生使い続けたい人にはその個人の判断を尊重すべきだと思います。
他人の人生観、価値観に係ることを法律で制限すべきでない。明治 30 年の旧民法制定までは、夫婦別姓だった。
今更、家制度に縛られる必要性がないと思います。
選択できるから
変えると書類を取るのに旧名で請求しなくてはならない
夫婦同姓は国民と国家にとって著しい不利益だと思うから。
個人が、それまでの人生をその姓で成してきたこと遮断するような事は不必要だと思う
世界のスタンダードだから
別姓でも同姓でも家族に変わりはない。
そもそも選択的、であるのだから、民主主義、自由主義脳思想に合致している。
特になし
長年教師として働いたが、結婚を機に改姓したが、昔の教えごたちは、旧姓でよんでくれます。違和感あります。
主に女性が圧倒的に氏の変更が多く変更による違和感、負担を強いられており、不平等感が大きい。
個人の利便性、自由のため。 家族は家族として戸籍で管理しているのであれば、姓がどうあれ家族であると考え。
男女同権の立場から、両者が共に社会的な不都合から開放されるべきだから。 子供の姓はいったん仮に決めておき、本人が成人となるタイミングで本人が選択する。
両価値観がある中で選択的であれば反対する理由がない。
世界的みても、選択的夫婦別姓はあたりまえ。選択できるのは増える事はいい事だと思います。今まで通りでいい人は今まで通りでいいだけです。
別姓とするか否かを選択できますので特に反対する理由がありません。
そもそも個人の自由
女性の負担を無くしたい 別姓であっても夫婦、家族の信頼関係に変わりはない 同姓であっても、崩壊する
個人の選択権の自由
どの名前を選ぶかは個個人が決めれる権利を有する。
旧姓を知らせていない、離婚前にお付き合いのあった人と連絡がとれない。
現に不都合、不利益を被っている方がおられるのであるから、選択的な別姓を許容すべき。 一体的、姓を強要するのは管理、統制上の便益を重視する治世者の論理である。(マイナカード一本化に通ずる)
夫婦同姓にすることで不利益を被る人がいるから
個人の尊重
日本の文化が損なわれるなど時代に合わない議論で、「昔ながらの日本の文化」が悪く利用されている。男性優位社会を助長する。
普通に当たり前の事と思うから。

名前は自由であるべき
当然すぎて今更理由などない 自民右翼だけが反対で前へ進まなかっただけ
現行法制は、明治以後の制度に過ぎず、日本の伝統と言えるものではない。一人っ子時代では、別姓を認めないと家が途絶える。
同姓別姓は本人が決めれば良いことで、法律で選択出来ないようにするのは、憲法の基本的人権の保証に反すると思う。
反対をする意味がそもそもわかりません。選択制なので、嫌な人は選択しなければ良いと思います。
第一に慣習として夫の姓を選択することを強いられる事は女性の人権を阻害する。男女共、姓は自ら選べばよい。
選択自由だから
どんな結果になるにせよ多様な家族・個人のあり方を模索するチャレンジになる。
選択制なのだから反対の余地はない
夫婦が同姓でなければならないということは、国が押し付けることではないと思う。メリット、デメリットは各人が判断することであると思う。
家制度を象徴するものではある明治以来の天皇を中心とする家長制度の残滓今は個人の時代で姓(苗字)にこだわる必要性は感じられない元号と同じ
選択の自由を保証する。
まず反対する理由がない、選択制なのだから。
反対する理由がない
当然の権利
選択肢が増えるだけだし、片方の姓に限定する必要はないと思うから
結婚時の高揚した時期の選択で一生を規定する事には無理がある。むしろ別姓を基本とすべきと考えます。そして結婚が継続していれば何時でも同姓を名乗ることができるとすれば良いのでは無いか、と考えます。
基本的な権利
人権です
姓を変更した人(主に女性)が不利益になる場合が多いため。
個人の自由を保障することが必要
個人として尊重されるべきである。
①民法の男女同権化を進める契機となる。②皇室の男系・女系をめぐる不毛な議論に決着をつける契機となる。
姓が同じで一体感が生まれるとは本当なのかと思うから。
現行制度は強制的夫婦同姓であって、その強制は基本的人権に反する
「選択的」なのだから、反対派は従来通り「同姓」にすれば良いだけ、「別姓」を望む人の権利が保障される制度になるだけだから
個人としての自己確立が必要であり、夫婦同一の考えは見直す必要があると思う。
世の中の流れで不利益を被る人が無くなる様に
中には不利な方がいられるから

誰もが自分の名字を選ぶ権利が保障されるべきだと思います。
夫婦同姓制度は明治以降の比較的短い伝統であり、国際的に必ずしもスタンダードではないため、維持する価値を感じないため。
日本人の庶民に姓が付いたのは明治以降。夫婦同姓も同じ。世界の趨勢は別姓。グローバル化が避けられない以上、別姓は必然
姓を変えることで支障があるなら強制してはならない。個人の意志に従うべき。
憲法に従えば選択的夫婦別姓は合理的と考えます。
選択肢が増えた方が良い
結婚することにより一つの姓を強制されることは憲法違反。選択的であるのだから反対する理由がない。
この制度により、困る人はいない。
両性の平等を具現化するために選択的別姓を法的にも認めるべき。
法律で決めることではない
多様性を尊重することが望ましいため。
幼少期、私はある結婚式場の CM にとても違和感を持っていた。「いいお嫁さんになるのよ」なぜ、「いいお婿さんになるのよ」はないのか？幼心に思っていた疑問がようやく形をなしてきたのではないか？と思う。なぜ結婚したらほぼ90%以上が男性姓になるのか？昔から日本社会に定着した制度だからというだけの根拠で(天皇制の皇位継承のケースもしかり)“通例”を今まで容認してきただけで、男性優位の社会を容認してきたではないのか？この法律で女性の人権を確立するものとして扱うべきであると思う。夫婦別姓は家族の一体感が損なわれる云々言われるが、海外でそのようなことは聞かれない。(欧州在住)。海外の文化と日本の文化は違うからという意見も聞かすが、往々に海外の文化を取り入れてきたのに、都合の悪い部分はあちらの文化と合い入れない、馴染めないというのは男性社会を通したいご都合主義ではなからうか？時代と共に社会制度も文化も変わっていくもの。それに対応して真の人権、民主主義を考えなくてはならないのではないのでしょうか。
人権上夫婦別姓は当然である
元々、生まれた家の姓名
選択的であるから。夫婦別姓でも問題ない。そういう家族が増えてくればそれが普通になると思う。
不利益を被る人がいない
あくまで「選択的」であるので、片方の氏を名のる者には不都合が無い。個人の選択肢を尊重する事が肝要だと思う。
国民の生活を主に考えれば賛成
どちらの姓を名乗るかは、個人の自由だから、家制度にとらわれない制度が必要
男女は、同等の権利を有する。
本来、どちらの姓を選んでも良いはず。その基本を再確認できるから。
多様性によって変わってきた現代に合わせて法律も変化していかなければならないと思う
少子化で一人っ子同士の結婚も増えてきて、強制的同姓だったら どちらかの家系が減びることになる。両方の家系を残すために 別姓を選択できるようにするべき
同姓強要は不便だというに尽きる。
希望する夫婦が別姓にする事に、何の問題があるのかわからない。希少な苗字を守るためにも別姓は必要だと思う。

強制ではないのだから別姓にしたい人はそうして、したくない人は同一の姓にするだけなので、そこを 家族観がどうか、他人の人生に口を出す必要はないと思う。
女性が男性の姓に変えなければいけないことに納得できない。
同性か別姓にするかは、夫婦で選択でき、強制されないことが大切なことであると考えます。特に、女性の自立的な活動が、婚姻後も、多方面で保障される環境が必要であると考えます。
個人の選択肢の自由を尊重する。
いつまで男尊女卑が続くのか！ と感じます。
選択の自由があるべき
当たり前の事だから
後進国日本
反対する理由がないから
選択制である以上、何の問題点もないと思う。
賛同する意見説明に賛同します
家父長制度が、いつまでも残ると思う。
何事も時代と共に変化していくものであり、夫婦別姓が伝統的な家族制度を崩壊させるという主張は意味がないし、生粋な日本人の根拠も不明だし、日本国の国際的地位も下落し、日々の生活もやっとの状況で、形だけ見栄を張ってもしようがない。
強制とかではなく選択なので何の問題もない
結婚を機にどちらかが名前を変えなければいけない今の制度は、不合理であると思うから。
選択制だから。
家制度・性差を超えた判断が行なえるよう基本的な権利として認めるのは当然だと思う。
選択制なので選びたい人は選べば良い
夫婦で違う姓を名乗りたい人がそれを選ぶことに何故他人がどうこう言う必要があるのでしょうか。個人の選択の問題に過ぎません。
あくまで選択的なので
各自で選択すれば良い
女性がこれだけ仕事を続けている時代に、結婚による姓をどのように選ぶのかは当然の選択だから。
男女平等で当然
私は未婚ですがもしも結婚していたら相手の姓にしたいと思います。でもそうしたくない方もいると思いますので選択制にすれば良いと思っています。
「選択的」であるため。
婚姻は個人の人生においてはひと時の役割であるから、人権の観点から婚姻後の姓を選択できることは当たり前のことだと思うから。
今も、実態は男社会といえる。多くの女性が活躍しやすいような社会の仕組みを整えるべき。夫婦別姓を保障する法律を制定することは、その一つであると考えるので、賛成。
別姓にするかどうかは夫婦で決めればよい、政府に強制されるのはどうかと思う。
選択出来るので、その方が良いに決まっています。

自由は尊重されるべき、何事も自己決定出来るべきだと考える
手続きが厄介
同姓、別姓の選択は自由だと思うから。同姓を強制する法律が間違っている。
そもそも結婚によって両者が同姓にするべき必要性がわからない。結婚による改姓に伴い、現時点では主に女性が負うことの多い仕事上の不都合や事務手続きの煩雑さを考えるだけでも選択的夫婦別姓は導入すべき。
個人の自由ではないでしょうか。
女性の社会進出が著しい中、結婚後に主に女性だけが苗字の変更を強いられるのは非効率である。また、諸外国においては夫婦別姓を導入している国は多い。それらの国では特に不便を感じることはなく、家族としても正常に機能していることを考慮すると日本が夫婦別姓の制度を導入することになら問題はないと考える
選択肢を増やすだけであり、これによって不利益となる人はいない。
反対意見がもう社会的意義がない。
一般市民にとって反対する理由が見当たらない。反対している人はイデオロギーに的に反対しているのではないか。
反対の理由で納得できるものがひとつもない
個々人の選択は国民の権利であるべきであるし、日本以外のほとんどの国では選択的夫婦別姓を保障している。
国外的にも、夫婦別姓の国があること 自分の姓を継がなければならず、夫の姓で結婚後に実親に養子縁組をしているカップルもいる
自由選択が保証されているので反対する理由は無い。
私自身が、別姓を選択したかったが、強制された。自分を失ったような気持ちになったことは、決して忘れない。そんな人がなくなって欲しい。
多様な考え方に対応可能だから。ただし、子の姓を誰が選択するのかを考える必要がある。
結婚により同姓を強制されることは個人の自由を縛ることである。憲法の原則に反することである。
別姓でも社会生活に支障がない。
選択的なので同姓も選べるのだから、反対する意味がわからない。
家族の一体感と姓は関係ないので別姓を認めても関係ない。
少子化により引き継がれない姓が増えることが残念。今まで女性の姓が変わることを前提とされてきた風潮に違和感がある。
基本的人権が有るから
①性別を変更することによる不利益が大きい。特に現状では女性が不利益を被る割合が大きい。②姓を一方の配偶者に強制することに意味を感じない。制度的な理由を述べる方もおられるが、さほど混乱を招くとは思わない。③同姓となる自由も保証する。
先進国の流れについていけないから。
選択的なのであって強制するものではないのだから夫婦同姓が良いと思う人の権利を侵害するものではなく、あくまで国民の自由を拡大するものだから。
苗字がない国も、別姓の国もあるのに、日本だけが苗字がないと家庭が維持できないという理屈が理解できない。日本の伝統？日本の民間人の苗字なんて最近の話。そして、日本の皇室。苗字はない。
夫婦同姓にしたい人はすればいので

女性のみ不便を強いるのは不公平だと思います。希望者のみなので何ら問題はないと思います。
選択的なのだから、それぞれ自分の考えや相手との話し合いで決めればいいだけの話。何故こんなに認められないのか訳がわかりません。
選択なので、自分で選べるから
個人の自由
夫婦別姓は選択肢を広げるだけの法整備なので、反対の立場の人でも抱合することが可能であるから
私は外国の方と結婚しました。アメリカでは名前 ミドルネーム(私の旧姓) 主人の苗字になりましたが、日本の大使館で名前の登録をしようとしたら大使館では変えられないから日本に行ってからやってくれと言われました。日本に行ったらミドルネームに私の旧姓は使えないと言われ旧姓まま今に至ります。昔だったので保険証に名前が入れる事ができなかったし子供の名前をアメリカにいた時の大使館に届けた私の旧姓と子供はアメリカの名前のままです。名前を変えると銀行全てを変えなければいけないので夫婦別姓を選択しました。私のような夫婦は周りにもおります。離婚したら全部変えないといけないし戸籍についていたら夫婦別姓でもなんの支障もないと思います。
時代に添った自由を保証して欲しい
姓の選択は個人の意思を尊重して選択する方が合理的であると思います。
選択制だから賛成、反対のどちらの立場でもよいと思う。
女性もずっと自分の名前を使い続けられることが 当たり前だと思う
女性の負担を減らし、自由にするため
それを望む人が多数だから。
かつてのように家と家ではないのだから、双方の意思を尊重し、合意を持って決定すべき。
別姓を認めたとしても同性を選んだ夫婦になんの害もない。一方で別姓を望む夫婦は現に存在するため賛成
世界的な風潮
自由です
姓を選ぶのは個人の自由だと思うから。
ある程度の年齢の人は、姓が変わることによって、変更しないといけないものが若い人に比べると多すぎる(家の名義など)
家父長制などの古い家族観にとらわれることなく、多様性を認めるべきである。
姓を変えることで、社会的に手続きも煩雑になるし、会社でも働きにくい場面が多い。また姓を変える大部分が女性であることも何故なのか？よく分からないが、何かある気がする
名前はある意味人へのラベリングなだけでありその人の本質とは別の物であるので、その時代にあったラベリング方法を決めていけば良いと考える。その上で、女性が男性の姓を名乗る慣行は時代にそぐわず夫婦間で相談して自分たちの家族のラベリングを決めていくので良いと考える。
社会的な多様性を鑑み、国際的にも早期に対応が必要な課題だから
姓を変えることに伴う負担が大きすぎ、多すぎる
当たり前すぎるはなしですね。
選べるべきだから。
自分の責任のもとでどの氏を使用するか決めることができるという選択肢があるのが当たり前だと思います。

私は一人っ子なので背負うものがあるから。
私は生まれた時の姓で一生を送りたいから別姓に賛成、選択的だから同姓にしたい人もこの法律に反対する理由はないと思う
女性のデメリットが大きすぎる
姓が同じで無いと一体感がないと考えることが不思議でならない。結婚の改姓で別姓になった娘・息子はもう家族ではないということなのではないでしょうか。家族の絆はそんなやわなものではないと思います。子どもがいじめられるとか、いじめる側の問題を解決しましょう。
国際社会では常識になっている。男女同権の主旨から当然のことである。
当然のことだと思う
以前は女性が家庭に入り、男性が社会に出て働くことが一般的でしたが、現状では男女ともに社会で働くことが一般的になっているため、氏を変える負担が以前よりも大きくなっていると考えます。
古来より日本は夫婦別姓だったので
強制ではなく選択だから。
女性の尊重
時代に合った法律にしてほしい。女性だけ(通常)姓が変わるのは不公平です。いろいろ手続きが大変でした。
選択は個々の自由である
時代が変わっていくのに日本は停滞している、取り残されてしまう
「選択的」というのが全て 選択制のどこに問題があるのかわからない。
そもそも反対する理由が思い浮かばない。子供の事を問題に挙げるが、気になるならば兄弟姉妹がいれば同一にすれば良いだけだ。
個人が自由に選択することであり、強制されるものでない
選択的夫婦別姓があれば人生が変わっていたから
男女平等の観点から。
夫婦同姓強制はオワコン
結婚のために夫婦同姓を強制されるのは納得できない
時代の要請、制度制定に伴い何人も損害や被害を被らない。
どちらが良い悪いではなく、端的に納得できる方を選べればよいと思うからです
夫婦同姓を続けると将来的には日本人は佐藤という苗字のみに収斂されます。それで満足ですか。
大多数の国民にとって名字は明治期から始まったもので、武家社会では江戸期以前からあったかもしれないが、大多数の人々にとって、ごく浅い歴史なので変えても良いと思う。そもそも、私はどんなものでも変化して行くものだと思っている。
一人一人の国民が自分の行きたいように自由に生きることが出来るようにするため。
個人の自由にすれば良い。
日本だけが認めていないと知って、時代にそぐわない慣習なんだなと思ったから。
どちらかの姓に合わせるのが強制でなくてもいい。別姓でも法的に婚姻関係にあれば生活に支障はないと思う。自分の苗字が好きだから変えたくない自由もあっていい。職場で結婚した事を大体的に知らせたくない、変わらずに働きたいなど選択的別姓には社会ニーズがある。

戸籍謄本が損なわれていくし、家族の一体化も薄くなる。日本人の伝統文化であり 守るべきである。旧姓使用も可能だから問題ないと思います。
それぞれの事情で同姓で不都合がある人は別姓を選択できることは合理的だと思うし、法律が制定されたからといっても従来どおりに同姓を選択することもできるのだから問題ないと思う。
どこの国でも当たり前のこと人類の平等の為。
選択の自由
選択的なので、同姓にしたい人は、今までと何も変わらない。仕事などで不利益を被っている女性がいる事を思えば、別姓を選べる法律は制定すべき
最早というか未だに封建時代みたいな事は止めようよ!
選択肢が増えるのは良い。
保険証、銀行口座等全てにおいて手続きが面倒。コストも労力もかかる。
選択は自由で良いと思うから。
個人の自由の根元に関わる最も重要な課題だと思います。なので当然賛成です。
女性が結婚・離婚のたびに、姓が変わるのは大変不便です。
家族感・家族意識についての考えはかなり変化しており、色々な選択肢があってもいいと思う。
諸外国では別姓が当たり前のため。また主に女性が性別を変更しているため、女性の負担になっている。
選択的だから
同姓か別姓かを選べる制度によって、不利益をきたす人がいるのでしょうか？すぐにでも制定すべき。
元々本人が責任を持って決める事柄であるから。法で縛られる事柄ではない。
選択制である以上、誰も不利益を受けない。現状では不利益を受ける人がいるから。
姓の変更を強制されるべきではない
女性が離婚した場合の負担が多すぎる。ただでさえ様々なストレスを抱えているのに。通称は家族の中で使う方が遥かに合理的。
職場では通称使用で済ませたが、定年退職後に専門学校に入ると急に夫の姓を名乗らねばならなかった。いくつになっても、姓の変更は重苦しい気分である。
法律を待っている当事者だから。名前を結婚で変えたくない。相手も変えて欲しいと思わない。
結婚した後にどの姓を選ぶかは自由意志で自分で選ぶべきであると考え。他者から強制されるものではない。選択的という点でそれに賛成する。
不都合を感じている方には、特に重要な事だと思いますし、庶民の氏制度の歴史は浅いので、伝統とは言えないと思います。
あたりまえの話し
日本の後進性を象徴する制度で、特に女性に不利
今の時代、結婚すれば家庭に入るようなのは時代に会っていない。色んな手続きが面倒だしそのままでもいいと思う。
人権にかかわる問題だからです。選択できるようにするのが良いと思います。
婚姻も離婚も、姓を変える側が不利益を被る社会の仕組みは変えるべき。家族のあり方はそれぞれ違って当然。
古い家制度は風化させるべき

人権の基本。選択なのだから反対する理由がない。
ごくごく当たり前のことだから
女性の社会進出が当たり前の時代になって、キャリアの継続に手間取る場合があると聞くので
現状が一方的だから。
今時当然の事と考えるから。
夫婦同姓を強要する法律は、その制定思想において「家」制度の継続を前提としており、個人の基本的人権が守られているとは考えられないから。
当方女性です。結婚、離婚で苗字を変えるのが面倒だから。
もともと賛成派の主張と同じ意見であったが、反対派の主張を改めて読んだところ、男性中心・家父長制的な社会観をベースにした規範が主なものであったため、やはり選択的夫婦別姓は実現しなくてはならないと再認識したため。
結婚する女性の苗字の選択は、女性本人の意思で自由に選択するべきに思います。
女性の社会進出が進んでいる時代に、苗字を変えるのは仕事上不便。女性が常にその労力を担うのは不公平。子供の姓が別になるのが問題の意味がわからない。法律が制定され、世の中の的に常識になれば、そういうもの、という認識になる。
選択肢が増えるのは良いことなので
ふたりの自由で良いと思う
個人の生き方の問題
自分の事として考えると、そう思う。
選択性なので、同姓にするか別姓にするかは夫婦で一緒に考えて決めたらいいと思う。
男女同権だから。
拘りは良くない
家族のつながりは姓名と無関係である。
自由
手続き上の問題 社内での複雑な人間関係とそれに伴う差別的反応が発生する
個人として尊重される一つとして当然だと思う。
国際的にもこの流れで進んでいるので、日本も夫婦別姓でも構わないと思いますが、これが実現するとしばらくは(成人するまで)子供たちの名前を如何するのか？この部分が少し引っ掛かります。
反対するための理に適った根拠がない。
戸籍自体を廃棄すべきと考えるから
深く考えてないが、別でもいいし、そのほうが平等な感じがする
反対する理由が全く理解できない。家族の一体感が損なわれると思う人は同姓にすれば良いだけ。”家族の一体感”の為に夫が妻の姓に変えて何のデメリットも無いと思えるか？妻が姓を変えそのデメリットを被るのが当然という考え方が間違っていると思う。
私の姓は、世界に1つしかなく、私が地球現世での最後の人間です。子供(3歳)の頃から、結婚すると主に男性の姓になることに疑問を感じていました。
元々の名字を使う権利は平等である。

どちらを選択するのは個人の自由である。
あくまで選択的なので当人達が納得して行うので何ら問題はないと思う。別姓だと家族の一体感が失われると言うが韓国はどうか？
人権
今の時代、当然のこと
家制度の残滓である姓を、多くは男の姓に変更するという観念はよくない。選択にして自由に決めて良い。
多くの人が 婚姻により 女性が男性の姓となることを想定していますが、男性が女性の姓となる 婿養子を考えた場合、その人のキャリアを考慮すると 賛成の意見となりました。
選択することすらできないなんて、人権を無視していると思えないから。
当たり前の権利。個人、パート名同士が決めること。家族のことは家族で決める。夫婦のことは夫婦で決める。理想の家庭という形を押しつけないで
働く女性が多い現代、姓が変わると不都合な事が起こる事例あるのではと思います。自由にすれば良いと思います。
会社で総務関係の仕事をしているが、対顧客には旧姓で仕事をし、給与関係だけは新しい姓を名乗ると混乱する。
世界標準である
女性側の家伝が消滅し易く、残念。
反対する理由がない
氏も個人のアイデンティティを形成するものであり、婚姻するからといって、配偶者のいずれかの氏を法律によってはく奪することは許されない。さらに戸籍制度の廃止に進みたい。
反対したい人は、別性にしなければよく、別性で良いと考えている人を否定することがおかしいと思う。会社でも、結婚して性が変わり、色々不便なことが多かった。
選択的別姓を保障するのが必要だと思うから。自由に選択するのが一番だと思います。
多くの場合、女性が姓を変えることが常態化している。女性のアイデンティティを考えても、夫婦別姓を導入すべきと思う。
同姓義務付けの必要性を感じない。選択制と謳っているにも関わらず法律制定に反対する考えの根底には家父長性のもと男尊女卑の思想があり、この法律を制定できない限りパリティが進むことはない。男女同権のメルクマールである
夫婦や家族というより、個々の自立により、連帯感ある社会が形成されるとよいと思うからで、その意味で、反対理由はすべてこの自立を阻んでいるということからも、この件には強く賛成する。
1人1人の尊厳と男女平等
殆どどの女性が結婚により姓が変わる慣習は、個人の選択に任せるのが良いと思います。今は継ぐべき家制度も壊れています。
世界的に夫婦別姓が主流の為
反対の理由が理解できない
どっちでも選べる事になれば嬉しい。世間もそれなりに見方が変わって 嫁の字が変わるかもしれない
世界のほぼ全ての国で採用されている。
それが当たり前だから。選択する自由が国民にはある

結婚という制度に縛られる必要はない。海外では夫婦別姓が当たり前。日本では女性の地位が低すぎる、籍を入れると疑問なく夫の姓に合わせるのも一つの理由。
名前という個人の重要なアイデンティティを、女性は結婚時に失うことが前提で運営されてきたことの問題が明白だから。
求めるところが、選択制であるので、姓をどうするかは、個々が選択すればよい。どちらかに強制すべきものではない。
個人の生き方は自分で決すべきだから、選ぶことができるようにすべきです。
改姓している場合、資格取得等で戸籍謄本が、必要で、手続きが煩雑。
それぞれの理由で姓を残したいと思う女性はいるはず。女性の活躍が目まぐるしい中、選択できるという自由は女性の悩みを一つ減らすことになる。姓を変えなければならないという制限は結婚のハードルを上げてしまっている。姓を変えたとして、家族の絆なんてない夫婦もたくさんある。選択できるのだから、こだわる人は変えればいい。逆に、義理の家族から歓迎されない嫁は姓を名乗るななどと言われる可能性もあるのだろうか…。
賛成により不利益を被る人はいない
極右が反対しているから賛成。
生まれながらの姓を強制的に変更させられるのは、おかしい。結婚の際、相手の姓に改名した後、離婚した場合、再度改名することの不利益さから離婚した相手の姓を名乗り続ける人が多いが不愉快に感じている人が多いと思う。自身の姓を変えることなく、名乗り続ける事が、できるならその方が良い。
別姓を強制するのではなく、選択できるようにするだけなのに反対する必要はない。
個人の人権をまもる
大きな世界の流れ(民主主義国家)(先進国)でありその時代である事。人権や自由、個々人の生き方の尊重等国や人々の幸福を目指し願うのなら当たり前ではないかと考えます!
時代がかわってきている。
子供の数も少なくなり女性が結婚したから必ず名前を変えなくてはいけないと言う事自体がおかしい。変えたい人だけ変えたら良いかと思う。
憲法解釈上、両性とは男女に限定するものではないから
反対する理由が見つからない。
現在も女性側の改姓が一般的とされており、男性側が変えるケースは非常に少ないと思います。片方の家を取り込むことで、実質的な男性側の権威付、イニシアチブの掌握、ヒエラルキーの可視化になっていると思います。男女平等を示すためにも、夫婦別姓の選択肢はあるべきだと考えました。
選択が自由なので反対する理由がない。
選択制なので反対する理由はない
反対の人は同性にすればいいし賛成の人は別姓にすればいいしそれを決めるのは本人同士、他人の選択の自由に制限をかける権利は誰にもない。自分でいうと姓名判断で完璧な運勢の画数だから絶対に別の性に変えたくない。
多様性を認めるべき
姓で縛られるのではなく、あくまでも個人の意思で姓を選択すべきと考える。
昔と違って男女平等、男女共稼ぎの等環境が変化している。
家族としての結びつきに姓の固定は必要無いから。

<p>そもそも強制することがおかしいと思う。現制度で不自由を感じている方がいるのなら、その方の不自由さを解消できるようにすべき。あくまで「選択的」で、同性にすることもできるのだから。</p>
<p>個人の姓は個人の人権だ、僕は男ですが結婚で姓を変えた事があるが、けっこう仕事も日常生活でも面倒な状態を経験しました。変えない自由が大切です。</p>
<p>自分自身の姓は自分で選択する自由がある、と思う。</p>
<p>人権と個人の自由を尊重するものと考えているから。</p>
<p>ほとんどの場合女性側が改姓しているという事実があり、同姓の強制は実質的な差別であるとおもうから。</p>
<p>個の人権を尊重</p>
<p>国民の多数が希望している。歴史的にも日本は江戸以前は夫婦別姓だった理解している。日野富子、北条政子しかり。</p>
<p>姓をいずれかに合わせなければならないという合理的な理由が無い、と考えるため。</p>
<p>いつでも別れられる。お金が別々にできそう。</p>
<p>同姓であることを無理に強要しなくてもいいとおもう。選択的夫婦別姓にしても家族のかたちが変わるわけでもないし。</p>
<p>名前は人を現すから。</p>
<p>男女平等のため</p>
<p>各自が選択出来るので、反対する理由がない</p>
<p>同姓を強制する理由がないと思うから。</p>
<p>男女平等を支持する立場として、少なくとも選択肢が今より広がる方がよい。</p>
<p>遡れば、江戸時代以前は基本的には「夫婦別姓」だったと認識。同姓であるメリットはもはやないので。</p>
<p>現状では9割の女性が夫の姓に変更している。これは家制度の実質的な継続であり、女性をイエに縛り付けるものだと考えるから。</p>
<p>他人の幸せを関係のない人が人の幸せを奪う権利はない。個人の幸福に資する。多様性こそ最大幸福。最大幸福こそ医療費減、人材能力発揮、成長力アップ。</p>
<p>女性のハンディキャップになる事は、やめた方がいいから。同時に既に旧来の家族制度は、崩壊しているのに夫婦同姓は無理があると思う。</p>
<p>各個人の選択の自由が保障されているのであれば 何ら問題ないと考える。</p>
<p>既得権益、男性優位を助長する現在の制度は、世界のスタンダードに合わせて変えていくのが良いと考えるため</p>
<p>世界的な標準</p>
<p>男女平等なら、名前も、そのまま、いいよね</p>
<p>夫婦同姓はそもそも個人を縛る封建的制度。今は個人が主体の時代。夫婦同姓なんて20世紀の遺物。</p>
<p>本人の自由だと思うからです。</p>
<p>結婚後、95%の女性が夫の姓に改姓する現状、姓が変わることによる不都合から女性を解放し、女性の人権を保障するために必要と考えます。</p>
<p>好き好きでいいと思うから。国に強制されたくない。そして天皇制と共に家父長制の温存に与していると思うから。みんな別姓にしると言っているわけでないのに他人が別姓を望むのを潰すなんてあり得ない。</p>
<p>どちらの姓を選ぶかは、個人の自由である。</p>

結婚により姓を変え、夫側の家族より嫁=召使の様な扱いを受けました。別姓になればその様な家制度的差別意識が薄まる可能性があるかもしれないと期待するからです。
各人の考え方を縛ることは良くないと思います。会社では旧姓を通して人がいるのが現実です。
歴史的に、女性の大多数が結婚後、自身の姓を変えることを強制されている状況だと思う。変えたい人は変え、変えたくない人は変えない、ということで良いと思う。他人に変えろ、変えるな、と言われる事案ではない。
日本だけが取り残されている。
国際的にも未だに、成立してないのが不思議。
夫婦別姓を望む人が選択できないのは基本的人権の侵害だ。同姓を望む人には何ら影響を与えない。
そもそも結婚した女性の姓が結婚先の家の姓に変わるようになったのは明治時代以降です。決して、日本の伝統ではありません。女性は、女性である前に一人の人間です。したがって、生物学的な差以外では、男女は同等であるべきです。昨今では、働く女性もかなり増えてきていますので、選択的夫婦別姓を保障する法律を制定し、様々な手続きの面でも、夫婦別姓で不都合がないように制度を組み換えるべきであると考えます。
現在の旧姓使用を認めているということでは、解決にならない。例えば、現在勤務している会社では本人の希望で社内電話帳に旧姓が併記されるが、本名が氏名として記載されていることで、両方が通用していて、普段使わない名前で電話がかかってくることになり、職場のメンバーが全員把握していないと電話の取り次ぎもできない。
選択であることが全てに優先だから。
これは人権問題にあたるから
人は家に帰属するものではない。家と家族は別のもの。国家と言う言葉を使うのをやめるべき。
姓の選択は、夫婦それぞれの考え方にに基づき決定されるべきである。結果として同姓を選択する方が多いとしても、選択の自由は保証されるべきであると考えます。
〇〇子として数十年生きてきたのに突然今日からあなたは△△子ですと国が強制するのは人権侵害ではないでしょうか？
当然の権利だと思う。
日本の少数名字が消滅してしまうので数が少ない珍名を保護するために別姓の選択肢が必要
日本の家族制度の自由度が昭和以前とは段違い。選択はお互いに合意して決めればよい。
選択肢を増やすことに何も問題は生じないと思うから
人間とは生まれてから没するまで全てに於いて選択できる自由があることが人間らしさだと個人的に思っています。選択できることで個人の意思が尊重され、人間らしく生きていくことができると思っています。そこには知性や道義などが必要になってきますが、どんな時にも選択の自由があることが大切だと思います。選択的夫婦別姓になれば、同姓を選びたい方も別姓を選びたい方も、自由に選択できます。今の時代から未来を生きていくのに非常に重要なことだと思っています。こういう選択もできないままの日本に人間らしく生きていける未来は想像できないと思っています。
新しい夫婦の形に変えていくことの大切な1歩だと思う
規制概念でしぼるのは良くないから。
男女平等であるべきと思う。女性側の姓を名乗ることが基本という、逆の世界を想像してみると、この立法化に反対する人はその世界に耐えられるだろうか。
結婚して男性の姓にかわるのはおかしい

世界にあっていない、日本の古い制度のため
別姓を求める人が増え続けていて、それを無視するのは明らかに国会の怠慢だから。
養子に入るのではなく、配偶者の名字を名乗りたいから。(私は男性です)
人権の根幹的なものである。婚姻の自由と同等に一定の年齢に達した個人の、又は夫婦の自由であるべき
女性のキャリアが尊重される。
選択制なのだから 同姓にしたい人はすれば良いことで 別姓にしたい人に強制するべきではないと思います。
選択の余地がある社会の方が生きやすいため。
仕事では結婚するタイミングで氏名変更が発生しても必ずしもだれもが連絡など受けられるわけではなく在職中は氏名変更なくてもよいと思う。
選択肢が増えるだけでデメリットを感じないから
夫婦のどちらかが不便や不利益を被る改姓を強制されるのはおかしいと思うから。同姓にしたい人の選択も妨げるものではなく、それぞれが望む選択ができる良い制度だから。
もう、旧戦前の家族的な考えは崩壊している。
「選択制」である限り、反対派の意見の方は同一姓を選択すれば良いだけ
藤原道長の奥さんは「藤原智子」ではなく「源智子」です。孫文の奥さんは宋慶齡、蒋介石の奥さんはその妹の宋美齡。別に姓を同じにしなくても夫婦は夫婦、家族は家族です。姓をどうするかは個人がそれぞれ決めればよい。
現状では夫婦どちらか一人に改姓手続きの負担がかかる形になっており、制度が夫婦間の不平等を生んでいるように感じられる。さらに現状では女性に対して改姓の強制力が強くかかっており、結婚後も自分の姓を名乗り続けたい女性にとって、非常に苦痛な状況である。夫婦で姓が同じことで生じるメリットも大きく感じられず、夫婦間の負担差軽減のため選択的夫婦別姓を保障する法律を制定すべきと考える。
姓を変える手続きをどちらか一方だけが行うのは本人にとっては負担だし(しかも平日にしか行えない)、選択肢を増やすだけなのになぜいけないのかわからないから。
差別は憲法に反する
婚姻と名字の問題は違うと考えるからです。家制度の問題云々以前に、「婚姻＝同じ名字」の必然性が何処にあるのか？良く考えるべきと思っています。一方、名字を変える事は実生活において多大なる負担が発生します。特に年金他の社会保障、銀行口座、クレジットカードなどの名義変更と本人確認は大変な労力です。マイナンバーカードはどうなるのでしょうか？それだけの事をする意味が本当にあるのでしょうか？ また、今後の日本が「主婦も仕事を」「死ぬまで働け」を目標としているのであれば、夫婦のどちらかに名字を変えさせる事の負担は結婚をする男女全てに課せられてくる訳で、非常に非効率で意味の無い事だと思うからです。
選択的であることが大事だと思う
男女平等、個人の自由、時代の流れ
夫婦が同姓か別姓かの選択することは当人同士に任されて当然の権利なはずです。これまでのどちらかに統一に縛られるのは時代遅れの発想です。
反対意見には賛同できないため
別姓を選択することも旧来通りの方法をとることも自由だから。
選択であって選択するかしないかは自由である点
もっと女性を尊重しましょう。その方がまともな世の中になると思います。

夫婦別姓を実施しています
いろんな意味で日本は変わっていくべき。
夫婦の別姓は日本古来の伝統ではない。明治時代の戸籍法以後に生まれた制度であり、男女同権の現代にはそぐわないと思う。選択的なので強制ではなく、個人の意思を尊重している。
夫婦別姓を強制するわけではなく、別姓を希望する人がいるのならそうすればいいと思う。誰かが実害を被る問題ではない。
国民不平等の是正
夫婦間での夫と妻の第三者に紹介する際の呼称が、夫は旦那・主人、妻は奥さんである。それは、家庭の中の主従関係であり、そして妻は家の奥にある人と言う意味が含まれており、現代の社会生活とはかけ離れている。しかし、いまだにそれに変わる日時的な言葉が日本社会では存在しない。これは根底に未だ昔からの夫婦のあるべき論が、この社会に残っているからである。そして姓が抱えてる大きな問題は、夫婦 2 人だけの話しではなくその家族、家系と言うそれぞれの祖先の歴史を背負うという問題を含んでいる。しかし、その長い歴史の中、私達は家長制度から核家族となり、そして現在はその家族の関係も多種多様になり、個々が新たな家族、属性の思想を持ち始めている。そこに、大きなずれが生じ、混乱と困惑が生まれている。そんな中で、夫婦別姓の選択肢がある事はとても重要な事である。様々な生き方の中で、何かが否定されるべきではなく、それぞれがそれぞれの存在のあり方は認められ、新たな家族の形について、アイデンティティについてより深く考え、一方向の常識に偏向していかない社会のあり方こそ、これからの世界には必要だと考える。
子供の姓の選択、相続などある程度法律で決めておいたほうがよい。
選択肢はあってよいと思う
選択できるのだから、強制的に同氏でなくてよいから
国際的な常識であり、「選択的」であるので、自分が嫌なら選択しなければ良い。
姓の選択は個人の自由にまかせるべきと考える。
夫婦別姓を選択できるのであるから、夫婦で相談して決めればよい。
姓を選択することで個人である権利を一人一人が持てるようにするため
選択出来る自由がある
現在の考え方は江戸時代から続いた男尊女卑に基づくので
家族の一体感が生まれるかどうかは氏の問題だけではないと思うし、今の日本でどちらが一般的かということは関係ないと思う。時代の経過に合わせて、これまでの「当然」が変わっていくことに何ら抵抗はなく、各々の希望で決められることこそ、人権なのではないかと思う。
自由にすればよい
姓にこだわる必要がないと思うようになったから。
仕事上で名前が変わることで、不利益を被る方もいると思う。
仕事や経歴の持続性などで不利にならない配慮が必要だから。選択なのだから、選びたい方を選べば良いので。結婚をする時に話し合えば良いだけ。
本人の意思によって選択できるなら現状のままの夫の姓を名乗ることを希望する人がいても、今までの姓を名乗る事が出来ることも自由に選べ精神的な負担を減らしたい。また離婚する場合などの姓の変更手続きなど大変だと聞くので(手数料もかかるし、役所にいく負担など)そういった事が減るなら良いと思う
選択できるので問題ない。私は60代だが、20代の頃から編集の人が旧制を使いたいと言っていた。

女性が 姓によって社会通念上、不利益を 受けないため。
全ての人間の人権が保証されるべき。
婚姻相手の氏を選択するか、又は、婚姻前の氏を選択するかのオプションが増えるだけのことで、この法律を制定することのデメリットが全く感じられないから。
選択の自由の中で合法化するイメージなので良いと思う
個人のアイデンティティと姓が強く結びついていると考える者に対しては選択肢を与えられるべきで、結婚が二者間の合意・契約に基づくものであるならば、改姓するかどうかも二者間で決めるべき事柄であり、国家が強制することは違憲と考えるから
姓は家父長制と一体となり、明治以降の国家権力のもと女性参政権に顕著なように、姓は男性支配の根幹をなす一つのものとして重要なものになっている。その状況を根底から改革する一つのものとしても、選択的夫婦別姓は進めるべきである。
実質的にほぼ女性に不利益が生じる制度と思われるので。
国際的に夫婦別姓は当たり前であるから。
個人の自由や選択を尊重できる制度を早く整備すべき
姓を変えることにより(特に女性が)現実的に不利益になっている。男女平等夫婦平等の立場から賛成である。
新法制定によって、誰の権利も侵害しないから
夫婦同姓を強制する根拠がない
そもそも男性の姓を名乗るのは家制度に基づいているのだから無くして当然。
反対派は家族の一体感なくなるというがそれは関係ない。夫婦、親子であってもそれぞれ個人であるから。
実際は大半が女性が姓を変更している状況。本質は女性差別だと思うからです。
同姓にするか別姓にするかはそれぞれの夫婦が決めれば良いと思うので、夫婦別姓も選択できるようにすべきだと思う。
反対の主張すべてが、古い家制度を感じる。国際社会においても、個人の判断に任せるべきだと思います。
必要としている人の人権を守るため
夫婦の一方に改姓を強いるのは、人権侵害以外の何物でもない。
家制度の意識が強く残る日本の地方都市で結婚しました。人権を損なわれる扱いをされたので、子どもができる前に離婚しました。家制度に組み込まれたいと考える人のためにも夫婦別姓制を導入して欲しいです。
同姓を強制するのではなく選択制として多様性を認めあらゆる人が不利益を被らないようにするべきだ。
反対側の最も大きな主張「日本は伝統的に同姓だから」は誤り 法律上はなくなっている家制度家父長制の、「家長」としての一族郎党養い面倒を見る責任は放棄しているのに、別姓だと家族観が壊れるとは、それで壊れる家族なら初めから壊れている
結婚後は呼び方を変えるのは不合理。
個人が選択できれば良いだけの問題。選択肢がない状態は許しがたい。
どの姓を名乗るかは、個人の自由であり人権である
どうしたいかは選択できるので、一人ひとりの合理性を他人が強制するべきでは無い。
①自分の元の姓に愛着があったのに女性の方が姓を変えるのが当たり前という慣習に従ったことで心の内に葛藤がありました。②姓を変えることで仕事上の面倒がありました。③離婚し、愛着のあった旧姓に戻しましたが、仕事上の面倒に再び直面しました。離婚しても姓の変わらない元夫と比べて不公平感を持ちました。

私は 20 年婚姻届けを出さずに別姓を続けているが、子供の扶養加算年金不支給など不利益を被っている。
選択的夫婦別姓であるから同姓したければ同姓にすれば良いし別姓にしたければ別姓にすればよいことであり 選択を奪う権利は誰にもない
女性のほとんどが改姓していて、不公平である。改正により、同一名でのキャリアの継続や維持、アイデンティティの喪失などの不利益を被るから。
男女平等
会社の代表が、実際に姓が代わって、事務処理を経験して、不合理な制度だと思ったから
現代においては多様性が尊重されるべきと考えます。夫婦同姓でなくても良好な家族関係は維持できます。そのような家族は世界中に数多存在しています。
米国駐在時、同僚の米国人女性は名、旧姓、新姓の順で名乗っている人が多かった。仕事上も同窓会などでもその方がわかりやすいと思う。
選択的夫婦別姓なので、自分で選べるので賛成です
選択的だから
私自身が当事者で関係法案の実現を期待し、四半世紀近く事実婚状態である。事実婚である場合、最大の障壁は子が非嫡子となること、次いで税制上の配偶者として扱われない点が問題である。選択的である以上困る当事者が生じない事から、硬直的な考え方に固執し、これからの若い人たちに我々同様の苦勞をさせてはならないと考える。
女性も男性と対等の社会的存在であると認識できるから。それが受け入れられる時代によろくなったと思う。当然、女性はその責任を担う必要はある。
結婚時に姓を変えるデメリットが大きすぎる
2 度結婚している。名前を変え、戻してまた変える。とても大変だった。最初の時はアイデンティティを失うような気がした。戻ってホッとした。2 度目はよくある名前に変わって気が楽になった。変えて良かったこともあるので、個人で選択できるのが一番良い。自分のことを自分で考えるのは、民主主義の第一歩だと思う。
現実社会で結婚によって姓を変えることで、不便を覚えている人が多くおり、旧姓を使っている人も多いから。
現制度は今の女性の仕事、生活に合わない。同性にするメリットがない。コストがかかり過ぎる。家制度の継続＝男尊女卑の構図が見え隠れし、生きて生きにくい。
強制的でなく選択制であるので夫婦ごとに選択すれば良い、反対する理由がないと思います。
現状、旧姓を使用していますと周囲に了承を仰ぐようにして生きている人と、旧姓使用政治家とのステータス差が著しく、看過できない。選択的…を掲げる法律ならば結果の平等にも資するのではないかと考える。
夫婦同氏制度は明治から導入されたものであり、それまでの(名家の女性に限定されるものの)女性は生涯生家や婚姻前養女に入った家の氏を名乗っていた事実を鑑みて現在の夫婦同氏制度に柔軟性を持たせても良いと考えます。
夫婦がお互いに人格を尊重しあえるようになる。(今以上に)
選べることが重要。希望する人は選択すればいいし、同姓がいいと思う人はそうすればいい。
氏名よっての利便性や個別性は氏名だけでは担保できずその他の情報と複数参照されないと出来ない。ならば、一つの氏にする必要性はない。
選択できることは重要。夫婦別姓が嫌な人は、同姓を選択すればよい。でも、そもそも団塊ジュニア以降の世代が結婚できないままの問題の方が深刻。
選択制なのだから、あくまで本人の意志で選択し、それで幸せになれる人がいるなら何も問題はないと思う。

<p>子供の話がよく取り上げられるが、別姓の家族が増えれば国民の意識は必ず変わるので、それによって何か不都合がでるとも思えないし、子供も成人になったら自分の意思でどちらか選べるようにすればいいと思う。家族の絆が名前によって変わるとは思えない、世界を見れば分かる</p>
<p>女性は男性の所有物ではありません。子供はお互いの話し合いと、自分で判断できる年齢になれば、子供が選択すべきです。</p>
<p>1995 年頃、導入の議論が高まり、すぐにも導入されそうな情勢だった。そのころ、彼女と、導入されたら結婚しようと話していたが、導入の、動きは頓挫した。そのため、私たちは、婚姻を諦め、結婚式を挙げ、事実婚を開始した。</p>
<p>選択の自由</p>
<p>自由に選べるようにすべきです。</p>
<p>姓が婚姻後に変更されることにより生じる社会的コスト(名義の不一致の確認・修正等)、夫婦のどちらかに従属しているように感じさせる(一定の割合の人が感じる)精神的負担等を考えると、婚姻後の姓の変更は強制すべきではなく、個人の選択に委ねるべきである。</p>
<p>選択的夫婦別姓を入れないと姓の多様性が減ってゆく</p>
<p>選択だから同姓別姓両方の考えが尊重されているから</p>
<p>尊厳</p>
<p>今の形はもう時代に即さないし、別姓にするかどうかの選択権は当事者に委ねるべきと考えているから</p>
<p>選択できるものだから、反対する理由はない</p>
<p>時代の流れ</p>
<p>様々な支障無く暮らせることが大事だと思うので。</p>
<p>賛成意見に同意します。</p>
<p>個人の自由</p>
<p>基本的人権であると考えます。</p>
<p>女性が名前を変更する確率が高く、合理的でない。</p>
<p>当たり前の権利</p>
<p>選択できるというだけなので、別に問題ないと思う。個人の尊厳を尊重してほしい。</p>
<p>結婚時に男性の姓を名乗るのは、女性が好んでやっているのではなく、社会的圧力を受けて、仕方なくそうしている。結婚、離婚に伴い姓が変わる不利益を女性だけが負っていて不平等だ。選択的である以上、夫婦ごとに話し合っ決めてればよいことなのだから、導入に躊躇する方がおかしい。</p>
<p>配偶者の死後、婚姻を解消出来る法律があるなら、選択的夫婦別姓も保障すべき。姓が変わることはどんな状況でもかなり負担だと思う</p>
<p>今の時代当たり前。</p>
<p>世界的なながれ</p>
<p>両親の結婚時の約束により母の姓にするため中学入学時に改姓しました。その時何十回も説明したにも関わらず、同窓会で離婚して改姓したと誤解している人がいました。別姓を望む人は別姓でいいでしょう。</p>
<p>男女同権</p>
<p>あくまで選択的なのでなんの問題もないと思う。</p>
<p>問題性を感じない。反対側の意味不明。</p>

各人の意思を尊重するべきです。
自分が結婚するとき姓を変えることがとても嫌だった。女性が変わるのが当たり前という風潮、どちらも仕事を持っていても、改姓で面倒を受けるのは女が当然、女の仕事は二の次、男の支配欲などいろいろ感じさせられた。結婚して、姓が変わるのが嬉しかったという人もいたので驚いたが、どちらでも選択できる制度にするのなら良い。
イタリアで生活しているが、夫婦別姓により絆が薄まったり混乱を招くようなケースを見たことがない。「選択的」すら認めないのは伝統に縛られ過ぎて先進国と呼ぶのに相応しくない。
夫婦同姓が存続したままだと、ほとんどが夫の姓に改正する家父長的な慣習が残されることになる。女性の権利と全ての人の選択の自由を保障するべきである。
「選択」なのだからそもそも反対する意味がない
名字が同じだけで、家族の絆があると思う考え方が、古い。
男女同権を進める手段になると思うから
結婚したとき、私は自分が自分でなくなったと強く感じた。また、働く人にとっては、キャリアを積むことに関して不利になると思っている。
個人が個人の意思に従ってどちらの姓を名乗るのか決めることは当然のことです
世界を見てください
価値観が多様化している今日、「選択的」であることが重要と考えます。
制定することによって選択の幅が広がるから。
社会的に不利益を受けているのであれば、当然選択制にすべき。
女性で、性が変わって、不便や不都合に苦しむ人がいると ニュースで知ったから
愛着ある家名を残す為。
選択的夫婦別姓はダイバーシティに適ったものであり、世界的な潮流にもなっているから
「選択的」に反対する意味が分かりません。
個人の考え方、生き方を認めることができるから。
簡単にはいかないと思うけど しっかり議論するべき
夫婦別姓を選びたい人が選択するだけの制度。一刻も早く実現するべき。
個人の多様性は尊重されて当然の権利です。
姓の選択的自由は当然の権利と思うだけです。
選択だから
いろんな国で普通に行われていることなのに、日本だけが行わないのはおかしい。
息をするのに理由はない。それと同じ、当たり前のこと。反対などあり得ない。なんびとも同じ、平等です。
同姓にする事で起こるあらゆる不満を回避した方がいいと思うから。
本人同士の意味で決めれば良いと思う
本人の自由が大事
個人の自由
個人のアイデンティティの問題であり、同姓／別姓はそれぞれ自由に選択できるのが良い
時代の流れ。その方々の自由。

<p>選択的夫婦別姓を認めない一部日本人の判断によって、例えば外国で仕事ができない等の支障が生じている人々がいるという現実、国益延いては世界経済の損失になっているということ。何より日本国が日本国民に対して、自由の制限を課していることから、これは明らかに日本国憲法に違反する行為と考える。</p>
<p>人として当然の権利。カルトの意向に左右される政治に終止符を。</p>
<p>家父長制はもう亡くなるべき。その一歩になると思う。</p>
<p>日本の家族制度を国体と合致させようとする策動に反対</p>
<p>強制的夫婦同姓は人権侵害だから</p>
<p>名前にしろ家族感にしろ、各々が決め自己の責任において生きていくのが本来あるべき形であり、国や社会に押し付けられるべきものではない。押し付けられたい・誰かに決めて欲しい人は今まで通りを選択すれば良いだけ</p>
<p>自分は何者なのか、を保ちたい。そんな人のために賛成。</p>
<p>不利益を被る人があるのは公正でない。</p>
<p>当たり前だから。</p>
<p>明治民法での家長と家族制度は敗戦時に廃止したにもかかわらず、夫婦同姓により、嫁・婿の因習を持続させているため</p>
<p>強制されるわけではなく、選択できるから</p>
<p>夫婦別姓、夫婦同性の個別のケースをそれぞれの判断で選べることの方が、今の時代に生きる人の感性に合っていると思うから。</p>
<p>選択は良いと思う。強制なら反対</p>
<p>多様性を認めるべき。</p>
<p>当然のことなので選択したらよい。</p>
<p>夫婦別姓を必要とする人がいるので、当然のこと。メリットの方がはるかに大きいから。</p>
<p>個人の尊厳に関わる氏名を、結婚に際して捨てることを強いる必要がない。結婚して氏名も維持することがなぜ許されないのか不明で、選択できる制度なのに反対する理由がない。</p>
<p>夫婦各自の培われてきた(人生観)は大切にすべき。(子供)も一人格を持つと尊重すべきだと思う。資産については事前に話し合う必要有り。</p>
<p>国民会議の櫻井よしこが反対を表明しているけれど夫婦同姓なんか明治政府が徴兵する為が元になった制度でしょう、日本人に近代歴史をきちんと教えてこなかった教育が悪いと思います。従って夫婦同姓、しかも選択制ですから反対する理由がありません。</p>
<p>賛成の理由に共感するため。氏が変わることで「論文の連続性が認められない」には驚いた。夫婦別姓を認めないことは、教育や知的財産の喪失にもつながりかねないと思った。</p>
<p>今の制度では夫妻どちらの姓でも選択できるが、ほとんどが夫の姓を選択している。選択的夫婦別姓を保障されるならば、変えたくない人は結婚してもそれまでと同じ姓を名乗ることができる。私も結婚しているが、本当は自分の姓のままでいたかった。</p>
<p>どちらかの姓を名乗ることを法律によって強制するのはおかしい。</p>
<p>自分の意志で選択する事が大事です。</p>
<p>選択制なのでその判断には個人的な裁量が含まれているので問題は無いと思います。</p>
<p>当然です</p>

どちらか選べる世界の方が、個人が尊重されている感じがするから。
自分が別姓を希望している。
夫婦別姓を望む個人の考えを尊重すべき
選択できるので自由度がある。諸問題は慣れればなくなる内容。大勢の諸外国を参考にすればいいと思う。
反対側の主張に同意できるものがひとつもない
選択肢がないことで、基本的人権を保障する精神に反していると考えるため。
日本の夫婦が幸せにいて諸外国の夫婦が上手くいていない。そんなのは聞いた事が無い。
基本的人権に反するため。
反対する理由がない
同性になるメリットが全く無い 究極ではあるが 事実婚もあり 結婚に意義を感じない
今は結婚しても旧姓を使う人がふえているそうですだからどちらでもいいとおもいます
世界の中で結婚後に女性だけが姓を変えなければならぬと定めている国は日本だけと聞いています。共稼ぎ世帯が普通になっている中、女性自身が培ったキャリアを邪魔し 女性の自立を阻害する制度に疑問を感じますし、今の制度は現状の生活と乖離しています。
強制ではなく選択できるのだから誰も困らない。
個人の自由の尊重を具現するため
日本の国がもっと普通の国に
夫は夫、妻は妻 個人が尊重される時代になったから！
日本だけが認められていない事を恥ずかしく思います。
選択肢があれば個人もしくは夫婦判断が尊重されるため賛成します
この時代で未だ別姓反対などと世界から見ても異常です
強制ではなく自由意志で選ぶことができる
95%が夫の氏を選択する社会的背景に女性に人権がなかった家父長制の名残りが未だにあるから。人権を重視すれば夫婦同氏である必要はない。
結婚で姓が変わることにより、名義変更があまりにも多く、不平等に思う。現状では男女平等とは言えないと思う。
選択制なので個人の意思は尊重されるので何ら問題ない。一方、反対意見に説得力が全く感じられないため。
「選択」であることで双方の権利は保証される
女性が仕事を主にし男性が家事を主にする夫婦の場合、旧姓のままの方が都合が良い事も多々あるかと思うから。名刺上だけではなく。
さまざまな文化的背景を持った人がいる中、明治時代に作られた家族文化を継続する理由が理解できません。家族の在り方を国が決めるものではないと思います。人がいて国があるので、国のために人の在り方を決めてしまうのは危険であるとすら感じます。
時代に合わない
結婚により姓名の変更が強制されることは、人権を認められていない印象。結婚に対するネガティブな感情につながる。
パレート改善だから。

同姓を氏にする場合、旧姓から氏を変更する男女比が現段階で半々くらいであれば法律を変えなくても良いと思いますがそうはなっていない、つまり妻の氏を受け入れ難い男性が多いのが現状です。であれば男性のためにも選択肢があった方が良く、女性の立場であっても選択できることに問題は無いと考えます。
戸籍制度が必ずしも家長意識につながるとは思わないが、それでも尚且つ結婚後は圧倒的に男性の姓になる現実からすると、選択も可能である余地は欲しい。
人間はみんな個として尊ばれるものだと思うから
40代、既婚女性です。そもそも、なぜ男性の性が変わるのが大多数なのかに疑問を感じております。理系大学出身かつ、現在大学に勤務しているのですが、投稿論文に記載される名前が結婚することで変わるというのに抵抗を感じている女性の方は少なくありません。また、銀行などの手続きも含めて、結婚の際とても面倒でした。この法律を改正すると共に、天皇が男性でなければならないというような非常識な考えを日本中で改めていただくか、天皇制を廃止するかのどちらかに向かっていくことも同時進行で決めていただきたいと思います。
家族やパートナーとの繋がり方は個人の自由であり、国家権力や旧態依然の思想に支配されるべきものではない。
選択制だから
今の社会においては夫婦が同姓であるメリットがない。男女で話し合っ、自由にすれば良いと思う。
アイデンティティーの保障が必要。仕事上のキャリアアップに支障が出る。そもそも人権の観点から選択できない事が問題。選択なので、どちらも選べる制度にすべき。
いろんな場面における継続性、そして個人の選択の多様性を認めても、特に問題は生じないと思う
個人の選択に任せるべき
現在の法律では婚姻で苗字を変える、離婚するとまた苗字を戻すことを強要され、自我の統一性を阻害されている。その不便利を片方に強要する不平等。
憲法で保障されている人権が尊重されるべきと考えます。
男女同権であるから。
私は、思想的に少し右寄りの傾向があるが、この案件は、合理的な考えだと思います。
グローバルな社会となり女性の社会進出や国際基準に合わせると、必要だと思う。ただ、同一家族内で子どもたちの姓が違う場合の仕組みづくりは丁寧に議論されるべきだと思う。
不利益がある人がいる以上、選択制にするほうがいい。
強制ではなく選択できるのであれば、それで構わない。
私は女性ですが、自分の生きてきたアイデンティティを守りたいです。なぜ女性だけがアイデンティティを奪われなくてはならないのか。それを男性が大半の国会で決められることに疑問を感じます。
どちらかが良いではなく選択できることが大事だと思うから
選択制なので、現状維持が良い方は選択しなければ良いだけの事。ニーズがある以上認めるのは妥当。
選択的である為、夫婦同姓を求める方の権利も守られている。女性がキャリアをより追い求めやすくなる手法と考える。
苗字を変更するのに手間暇かかる
世界の趨勢であり、日本も戸籍法以前は別氏を伝統としてきた。
結婚しても個人は変わらないと思います。あくまでも名前は変えたくありません。
社会的不利益が多い

夫婦間の平等を担保するためにも、夫婦別姓がいいと思う
どちらの姓を名乗っても社会的にも問題ないと思うから。
価値観の多様化に今の制度は無理がある
選択制なので別姓にしたい人が選べるので反対する必要がないと思う。
明治民法で定められた家父長制を基とした家制度に反対ですので、夫婦別姓を支持します。
選択の自由は保障されるべき。同姓を希望する方の意に反して、別姓を強制することはない、現在、別姓を希望する方の意に反して、同姓を強制していることは理不尽
別姓は各々の個人の意思に任せるべきである。
主に女性が結婚により不利益を被る。結婚により性を同一にする強制は辞めるべき。
潜在的な従属性からの解放
もうそう言う時代なんでね。
名前を強制的に変更するのは、基本的人権の侵害だから。第二次世界大戦で同じことをやって他国民の人権を侵害した反省がまったくないよね w
反対の人は、同姓を選べば良いだけで、同姓に不便や違和感を感じる人に強制的に同姓を強いることは許されるべきでない。経団連から共産党まで賛成しているレアケースであるくらいであり、これに反対するいわゆる岩盤保守層の意見は、この件に関してはノイズマイノリティーに過ぎない。
仕事上、名字で支障がでるなら、選択できるようにすべき。自分で自分の生活、考えに合った名字をつける権利を得るのはいいことだと思う。
夫婦各々の自律性の担保に繋がっていく、と思う
選べるのは国民の権利ではと思うから
個人の自由を尊重
世界標準に従うべき、どの姓を名乗るかは個人の自由裁量にまかせるべき。
世界で夫婦別姓の国は日本だけであり、またあくまでも『選択制』と言う事で、夫婦別姓を強制するモノでは無いから。
平等の観点から
選択の自由があつて然るべきであると思うから
自身の考えで選択できるから
本当は海外のようにミドルネームとして、時と場合でどちらも名乗れたらいいよね
強制では無く選択の自由がある。
「伝統」というが、明治時代に作られたもの。一体感がなくなるというが、そうなる、江戸時代までは一体感は無かったことになる。恣意的に作られた家族国家観に基づく「伝統」でしかない。
男女平等をいうのならもちろんこういうところもなっていないとおかしい。
個人の権利は法律で保障したほうがいい。
家を守る嫁、という家父長制度の名残を消し去りましょう。
人の生きざまを他人が左右しようとするのは傲慢の何物でもない。選択権を持つことに何の問題があるのか？
同姓にすることで不利益が生じるなら別姓で婚姻できるようにしたらよい、と思うから。
女性の人権を守るため

女性の負担は明らか。選択肢を設ける事で子どもが混乱しない制度設計を望みます
その人、その家族、その数だけと言ってもいい程それぞれに事情があると思います。それに応えられるものなら選択肢としてなのですからあった方が良くと思います。
個人を尊重するという観点から「選択的」というのは意義のあることと思います。是非 実現すべきです。
選択できるので、反対する理由がない。
選択できるので誰も困りません
強制ではなく選択だからです。
変えて良い人は変えて 嫌な人は変えなくて良いと思います 家族の絆とは関係ないと思います
苗字が変わるとき、就職や転職などで手間がかかるから。
自由だから
選択的夫婦別姓を必要とする国民がおられるから。
したい人がいるのであれば、やらせてあげれば良いと思う
夫婦別姓は日本の伝統ではない
生き方の問題は自分で決定できるべき。
選択的だから夫婦別姓を希望する人が別姓にすれば良いだけ
理由二点 ・選択できるということ。・認めないことで社会的不利益を被る方がいること。
個人の意志を尊重することが大切だ。
自分が名乗りたい姓を名乗るべきでしょう。※姓が変わることが受け入れられずに、同居しながらも戸籍上【離婚】となっている知人がいます。
選べるから
仕事で女性が旧姓を名乗るより別姓が良いと思う
法律で守られることが大事だから
本人の自由意志であれば、夫姓・婦姓どちらを選ぼうと構わない。他人が強制することではない、と考えるから。
選択の自由であり夫婦別姓を強制するものではないため
姓を変えたことによるメリットよりデメリットの方が多いと実感したからです。50代半ばですが、無意味でした。
夫婦同姓を望む人は、今まで通り同姓で問題ない、ただ、結婚してもそれぞれ今までの姓を使いたい人が、別姓を名乗る訳で、どこに問題があるのでしょうか。
結婚で氏が変わることによって不利益を受ける事が、特に女性に多い
自由で良いのではと考える
選べなくて辛い人がいるなら選べた方がいい
女性の社会参画が促進されると思うから
それが当たり前でないのが異常と思います。
選択肢がより多くあるのが民主主義と思っているので。
この時代いい加減、個人の考えの自由を尊重して欲しい
全ての点において圧倒的にメリットが大きい。

国家資格などの届出をしなくて済むから。
不利益を感じている人がいる
公的手続き等において、圧倒的に女性に負担のかかる本制度は、現代社会において意味をなしているとは思えない。経験的に女性は男性よりも社会的に有能な人間が多いと感じている。女性がより活躍する社会にするため、無意味な障壁はなくすべきである。そもそも、別姓を強制する制度ではないので、個々の家庭の好きにすればよい。離婚が海外並みにこれだけ増えた昨今、夫婦同姓を貫こうとすること自体おかしい。離婚の理由は男性側が圧倒的に多い。そんな男性の姓を何故強制して継がなければならないのか。制度とはその時代に応じて柔軟に変化させていくものである。人間文化とはそういったものである。同姓もその文化の一つであったが、変わる時代にきていると思う。皇室の男系もそう。第 3 者として皇室をみているが、自分の身になったら 絶望するくらいの心労だろう。実質的に意味を成さない制度は変えていくべき。
明治以降の夫婦同姓の制度に固執する理由がわからない。夫婦同姓ではなかった明治以前の日本で家族崩壊はしていない。日本古来の歴史や伝統を尊重する上でも、選択できるようにするのが当然である。
研究者等の論文や著作を本名で出している人はその氏名で世界的に認められている人もいるため結婚しても維持できるようにした方が良いと思う
個人を大切にする社会にするために必要だと考えているからです
反対する理由がない
選択性であり、反対する意味がわからない。ほとんど女性が変わっている現状は不平等。姓を変えざるを得なかった自身の不本意な体験からも一刻も早く法を変えてほしい。
今の制度が強制的夫婦同姓だから。コレは選べる制度か選べない制度かの二者択一です。そんなもん選べる方がいいに決まるとる
自分自身の氏名を決めるのは自分自身であるべき。
無し
結婚しても、お互い納得してればいい話。わざわざ揃えなくて良いと思います
選択できる制度であり、夫婦別姓がいやな人は、同性とすれば良い。
すでに家族制度は崩壊している
結婚するかしないかの自由と同じで 結婚したから 夫婦が同じ姓を名乗らなければならないと決めつけるのは時代錯誤と思います
プライベートな事柄に、政府が関与しすぎている。
仕事上不利益のある方もいるということ、夫(または妻)と同じ姓も選べるということであれば、それぞれが自分の考えで選べるわけですから反対する理由がありません。
選択肢を広げる法律であって、同姓を希望する人に制約を課すものではないから。
人の世の常識です。
婚姻に伴って同姓にせざるを得ず、そのことで不利益を被る国民がいることをこれ以上放置するべきではないと思うからです。別姓にする夫婦がいたとしても、他の国民が不利益を被るでしょうか？極めて個人的な事情を他人がとやかか言う権利はないと思います。
名前と同様に姓も生まれてこの方その人を作り上げてきたものだから
時代の変化に伴うべきだと思います。
個人の尊重のため

<p>自分の 1 人息子が結婚する時 お相手の娘さんも一人っ子でしたので 婚姻後の姓についていろいろ考えさせられました 結局息子は養子に なりお相手の姓を名乗ることになりました 名前ぐらいどうってことないと思っていましたが いざ自分がその 立場に立ってみると結構複雑な気持ちでした 同時にこれまで女性の 親族ご両親はずっとこう言う気持ちを甘んじて受け入れてこられていたのだなと思い至りこれは大変なことなんだと再認識しました 男性側の姓を名乗って良いと言う人もいて良いと思います が 夫婦になって もこれまで通りの姓で過ごしたいと言う人まで制限するのはおかしいと思います</p>
<p>家族は男子が率いるのではなく、両性が協力してつくるものである。血族の地位や財産継承は男子継承が多数となっている現状は女性差別であり、民族差別である。女系血族による地位と財産の継承を望む女性や女系民族の経済的平等を実現するためには法改正をするしかない。</p>
<p>あくまで選択的と謳われているので、どちらを選ぶかは各人が決められる。であるのなら特段の不利益は生まれないのではないかと思うから</p>
<p>社会生活を営む上で不自由が発生することは民主社会では許されないとおもいます。</p>
<p>当たり前のことだから。</p>
<p>夫と妻の個々の確立に寄与するから</p>
<p>キャリアを形成していく過程での姓の変更がデメリットになることがあるため。</p>
<p>姓名はその人を識別する上で大切な要素で、その人にとって生まれてから慣れ親しんだものだ。考えてみれば結婚によってどちらかの姓にならなければならないという方がおかしい。かと言って相手の姓になりたい人もいるだろうから選択できるようになればそれで良い。</p>
<p>姓を変えると不都合が生じるため。私自身、今も通称として旧姓を仕事で使用していますが、確定申告の際は使えなかったり、海外出張の際にはパスポートの関係で本当にいろいろ面倒です。そもそも選択的なので当事者が好きなようにすれば良い話だとおもっています。</p>
<p>婚姻で姓が変わるのはこれまで主に女性であり、その不利益を受けてきたのも主に女性である。これは男女平等に反している。</p>
<p>選択的にも関わらず何故反対するのかがわからない。国際的にも日本は完全に孤立し、法律的に制約を課している国は皆無である。ここ 20 年、時代の逆行が見られる。戦前的な保守の巻き返しなのだろう。家族観が壊れるからとの反対には全く賛同できない。このままでは、国際社会の中の常識からますます孤立してしまう。よって、選択的夫婦別姓を保障する法律制定に賛同します。</p>
<p>ほとんど女のみが自分の姓を変えているという現状はどう見ても不平等</p>
<p>個人の権利として自分の名前をそのまま使うことは普通だと思います。</p>
<p>選択的であるため、個人の判断により同姓、別性の選択ができるため。また夫婦同姓の制約のためいろいろな問題が発生していることを考えると選択制にすべきと考える。</p>
<p>個人の権利としてあたりまえです。自分の名前をどうするかは自分で決めます。</p>
<p>婚姻することで『姓』が変わることに抵抗があります。別に法律で縛り付ける必要性を感じません。</p>
<p>個人の自由(子供の事が心配)</p>
<p>希望する人は望みが実現し、希望しない人は特に何も変わらないという、誰にとってもマイナスがない制度だと思うから。反対する理由が何もない。</p>
<p>すでに事実婚、などが問題無く成立しているから</p>
<p>個人を尊重するのであれば、姓を強要するべきではないと思うからです。</p>
<p>日本以外の国と同様に、自由があってしかるべき。</p>

反対する意味がわからない
強制ではなく個人で選択すればいいのではと思います。
このままでは、時代の流れに取り残される
選択できるんだから、どちらでも良い、つまり何も問題ないから
女性だけが男性の家に入るという仕組みを変えるべきだということ、そして女性だけが男性の氏を名乗るために自分の使用してきた氏を変えることによるデメリットを被るのはおかしいと思うという 2 点が大きいです。
個人のアイデンティティに関わる制度なので。
夫婦別姓が良い
女性にとって当たり前の権利だから
過去からの事象・状況によって必要性がある時がある。
個人の自由を尊重したい。名義変更の手間をなくす。
社会のために人があるのではなく、人のために社会があると思うから
結婚したら姓を変えなければならないという 結婚したら姓を変えなければいけないという発想が理解出来ない。
国民の当然の権利であり、世界的にみても自然な流れだと思うからです。
この制度は大企業のトップも賛成してるわけですし、世界の趨勢がそうなってる以上、やはりもう、導入すべきだとも思います。そもそも、この制度下での夫婦別姓は選択的であり、個人に決定権があるものだと思うからです。今の制度の方が、膠着的であるとも思います
姓に拘るのは日本だけなので
女性の生き辛さを分かって欲しい
私は私のまま生きて行きたい。その様な私を理解するパートナーと結婚する。その方が、仲の良い一体感のある家庭を作れる。
反対する理由がない
他国では別姓が認められているということは、それが原因で家族の絆が失われることはないということだと思います。日本も夫婦別姓だった歴史もあるわけですし。
選択制であって、それぞれの希望にあわせられるから。
そもそも別姓の「選択肢」がないことは、人権侵害だと思うから。
夫婦同姓を否定していないし別姓を強制するものではないため自由にすべきだと思う
強制でなく選択できるから。女性ばかりが損をするような主張だが、婿養子の父も辛い思いをしました。
反対する側の理由は偏見に満ちた感覚的なものでしかなく、合理性が微塵も感じられない。内容にもよるが、日本が 21 世紀においても世界の一員であるためには世界の趨勢に合わせていくことも重要。
別姓で不都合はない。あるのなら、それを直せばいい。
国際的な多様性に対応する必要があるから
従来の制度により不都合を強いられてきた人がいたことを考えれば導入すべき。選択的なので他者に対して強制力を持つものではなく、むしろ反対する意図が理解できない。
個人として尊重されるべき当然の権利
強制される事自体が人間の尊厳を侵していると思います。現行の法律では夫婦同姓が強制されています。直ち

に改めなければならないとおもいます。それ故、選択的夫婦別姓に賛成します。
人は皆個人として生きています 何故に姓を変えてその人に従属しなければいけないのでしょうか
別姓を許しても殆どの日本人は今まで通り夫の姓で行くだろうから、本当に別姓が必要な人だけ選択の自由を行使するだけにとどまり、多勢に影響は無いと考えます。
基本的人権だから
どちらも自分の姓を変えたくない場合 結婚が出来ないのは不幸なので
選択肢がある方がいいから。現在でも、旧姓を名乗って仕事をしている人が多いが、それなら変更手続きなどで余計な手数料は払わなくて良い方が合理的だと思う。
・個人の自由を尊重したいから。・苗字を変えることで不具合を抱える人が実際にいるから。・国際的に見ても同姓を強要するのは不可解な制度だから。
選択がある社会が人権にとって大切だから。別姓にしたい人、したくない人で自由に選択することで良い。
同性か別性かは各々が決めればよい
基本的人権の問題だと思うので。
選ぶ権利があると言うのはいいことだ。
名前(苗字)に拘る必要がない
私自身については多少の手間もありましたがこんなものかなと思いましたが、今後 多方面に活躍して女性が増えていこうな選択できることも必要になってくる場面が増えてくだろうと考えるため
姓が違っていても、家族の結びつきは、ゆるがないはず。姓を変える側の不利益が無くなる。
選択肢が増えるだけなので、悪いことではない。
選択肢が増えると便利なので賛成します。逆に選択を狭めている現状の法律は何故なのか 疑問です。
選択的夫婦別姓を法制化することにより、生きやすくなる人が増える。生きにくい人がいることが社会の問題だから。
女性が改姓するのが当然という世間の圧力に屈する形で配偶者の姓を名乗って婚姻したが、正直、今もまだ納得はしていない。一方、配偶者は強制的夫婦同姓によって、現在の家族の幸せが成り立っていると考えている。法律が変わらない限り選択的夫婦別姓反対派の意見は変わらないと思う。
こうあるべきでは無く個人が自由に選択できるのが良い。
自分の考え、意志で選択する自由は当然の権利だと思います。あくまでもこの法律は選択の自由を認めるものであり、強制ではないのだから、反対意見の方は別姓にしなければいいだけだと思います。実際に女性の方が圧倒的に姓を変えることが多いと思います。私も変えましたが、メリットを感じたことはありません。デメリットはたくさんありました。手続きは本当に大変でした。資格などもあり。一番はなんといっても、自分が自分でなくなるような喪失感を感じたことです。なんか別人になるような、今までの自分と切り離されるというかんじでした。結婚のとき姓はどうする？と夫に聞いたところ、変えるのは厳しいと言われ、当時、あまりこだわりがなかった自分はあっさり夫の姓に変えてしまい、後悔してます。後々、当時のことを夫と話したとき夫は何も覚えておらず、私の苦勞も気持ちもわかってないことに失望と怒りを感じました。やはり、想像力が大切だなと思います。
自分の性くらい自由に選択させてほしい。その権利すら国が奪うのはおかしい。先進国として国際的にも遅れていると思います。
選択的 であるのに、なお反対する理由が理解できない。
反対派の意見は、家族の一体感や周囲の混乱など、心情に関わるものが多いように思う。何十年も前から現在

に至るまで、その制度によって不自由を強いられている人がいるのです。その方々は個人の心の問題として選択的夫婦別姓を望んでいるわけではありません。不自由を感じている人を現在の制度に縛りつけるようなことが許されるのでしょうか？
結婚したら、どちらか一方の姓を変えないといけないこと自体、生物学的に必要なことでもなく、変えたくない人、変えたい人、それぞれの自由意思に任せれば良い。
個人個人色々な考え方 生き方があります。それを 個々の生き方を法律等の手続きで制約をしてはいけな と思います。
夫婦どちらかが相手の姓に変わらなければいけないのはおかしい 選択させて欲しい 同姓にしたい人はすれ ばいいと思う
アイデンティティが失われる。事務手続きが面倒。男女差が大きくて、女性側が変えなければならないことに不利 益を感じる。家族の一体感の名前だけでは失われない。
結婚後も仕事をし旧姓を使用していたが、煩雑であった。「家」制度の残滓が感じられる同姓強要が嫌。
別姓にするか、同姓にするかは、個人の基本的権利である。
家制度によって個が縛られことは時代遅れであり、家制度は成り立たなくなっている。
反対論者は感情論ばかりでなおかつ一人一人の意志を無視しようとする独裁的な意見である
選択制に過ぎず、反対する理由がないから。
家に縛られることに終止符を打ちたいから。
通称使用にいくら法的効力を持たせようと、国際社会では通用しない。研究者の中には渡航の度に便宜上の離 婚・結婚を繰り返しているカップルもいる。この種の不利益が極端に女性に偏っているのは、結婚で姓変更をす る 95%が女性だからだ。強制同姓は日本だけで、国連勧告も 4 度目だ。この問題の本質は不利益云々等では なく、「私が私である」というアイデンティティの人権問題だ。「選択」である点で他者の権利も阻害せず国民の理 解が進む中、一部の頑迷な政治家が恣意的に家制度、家父長制社会の温存の為に反対し続けている。家庭で の一体感が失われるという理屈は、あまりに表面的すぎる。姓変更の殆どが女性という社会風土も、未だ個とし ての人権意識が根付いていないことの表れだと思う。
何人も、自己の人生の決定権を持つ権利があるから。
戦後憲法で基本的人権の尊重と謳われているのに結婚したら夫の苗字に合わせるなんておかしいと思う。夫婦 で自由に決められるようにするのがいいと思う。
姓名は自分のアイデンティティを構築していくものであり変えることはそれを否定す r ことになる
“選択的” が保障されていれば反対する理由がない
平等を阻害する家父長制を助長する家制度を排すべきと考えるから。
姓はいらないものである。ない国も多くある。家制度を管理するためのものに過ぎない。
女性は面倒な姓変更の手続きをさせられ大変だから。選べるようになれば、個人の自由にできるから。
女性が独身時代から使っていた姓名が広く一般的に名が通っていたら使っても良いと思います。
夫婦別姓のデメリットなどは後付けの理由に過ぎない。
国際標準
個人は結婚しても個人です
選択できるのだから、選択したい人がすればよいだけだと思います。
日本の伝統といっても、大多数の一般庶民にはたかが明治時代以来の伝統でしかない。また必要以上に旧来の

家制度に縛られてもいる。両姓の合意の下で姓を同じくするか否かを決めれば良いシンプルな問題である。
何事にも選択権があるのが良いから
・選択的なので、希望者のみが選択できるので、同姓を選択したい意見を妨げない。・同姓で不利益を被る人が多数いる。・「家族の絆が崩壊する」という反対意見は無意味。反対派が敬愛してやまない文鮮明夫妻も別姓。
同一姓でなければ家族の結びつきがなくなるなどというのは、全く違う。個人の尊厳を守れる制度とすべき。
選択的としているのだから、反対者は同姓にすればよい事です。
姓選択の自由は単なる便宜上の問題ではなく人権の問題だと思います。
姓を強制する事は、個人の事件の侵害である。
姓の選択が権利として認められるべき。「選択的」なので同一の姓を選びたい人にとっては不都合はない。
時代遅れ、国際化の流れ
強制ではなく、あくまでも、選択的夫婦別姓を保証する法律、何が問題なのか理解に苦しみます。例えば、日本女性が外国籍の男性と婚姻した場合(日本女性が日本国籍を残す場合には)、婚姻相手の「氏」を名乗ることができません。すなわち、論理的ではありません。
姓を変えることは働く女にとって結構な負担であるから夫婦同一姓か別姓が選べるようにすると負担は軽減されると思う 同一姓が良い人はそうすればいいので 別姓を選べるという選択肢が増えることは いい事だと思う
現状の権利を侵害せず、新たな権利を付与するものなので賛成
同一姓である必要は無い。
選択肢が増えるのは自由が増すことだと思うし、自分の選択を他人の価値観で縛られるのはおかしいと思うから。
日本人は古来から夫婦同姓という習慣でしたが、近代になり個人を主張する意見も出現してきました。社会全体も昔と今では変化してきたので、昔の習慣を変えていいのではないのでしょうか。
で、ないと守れないと思います
名前は個人にとって大切なものだから。名前を変えることに苦痛、不便を感じる人は少なくないと思う。
自分が初めて手にした姓名を安易に変えるのは納得できない。
当たり前
個々個人が自由に選べる事が必要です。
男尊女卑からの脱却
時代にそぐわない 選択的なのでやりたい人はやればいいしやらない人はやらなきゃいいだけの事
実際姓を変更して良いことは一つもないからです。賛成の理由にある問題全てが起こり、他の問題も多数あります。国際的な仕事をしている人にはさらなる負担がかかります。パスポートのために 10 年に一度ペーパー離婚する人もいます。一般的な離婚もあればさらに手続きが煩雑になり、再婚すればまた同じことの繰り返しです。夫婦とも姓を変えたくはありませんでした。双方の姓を維持するには日本ではお金の負担が大きいです。子供を産む選択肢を取りづらくなります。また自分の姓を変えたくない理由や姓の変更により起こる問題への認識は男性である夫の方が曖昧でした。一般的に変える側にいないからです。これまでの制度に強化された慣習のせいです。この事で喧嘩にもなり、夫婦が険悪になれば「家族としての一体感」は崩れます。どちらかが我慢しても同じです。そもそも「家族の一体感」はその構成員間の問題であり、他人からみたものではなく、またそれが姓によって保たれるものでありません。これも育児と同じで、姓を変えたことのない、女性への負担を強いる側の意

見しか反対の方にはありません。どうしてもその古い考えを支持したい人はそのままです。姓を変えたい人が変え、変えたくないならば変えないというのが選択であるので、選択的夫婦別姓の法制化を支持します。
自分は慣れないのが本音です でもその事で悩んでいる方がいるのなら そして社会が健全になることが前提です
仕事上婚姻により姓を変更することのデメリットが大きい。生まれ育った家、家族の姓を引き継ぎたい。
賛成意見に同意、そして強制ではなく、選択制であること。特に女性が結婚したら家庭に入る時代ではない
もう 30 年も前からモヤモヤしてます。姓を変えることは自分のいままでの歩みを否定されることです。人権を否定しないでください。私は今でも旧姓に戻りたいのです。
選択制だから
選択できるのはよい。
古い制度はやめるべき
自分の姓を持ち続けたい
自身が出生名をなのっておらず、お世話になっているお寺の和尚にん様でさえ、問題なんぞないと。もっと内面こそ大切。
現憲法下で戸籍を廃止することは困難だが、だからといって婚姻によって姓を統一しなければならない謂れはないから。個人のアイデンティティは大切にしたいと思う。
日本は選択制夫婦別姓制度が存在しないことなどから国連から批判を受けるなど、男女平等や国際標準に反する現状のため。
選択の自由があるべき
私は結婚して姓が変わって嬉しかった人間です。姓が変わる事は私にとっては苦しみではなく、喜びでした。ですが、それは私の場合であり、人はそれぞれ色々な思いや考えを持って生きています。それを尊重するべきです
結婚したとき主人の姓を名乗るのに抵抗がありました。姓名にこだわらなくて良い
士業で自営をしています。対外的には旧姓で資格免許は婚姻後に変更した戸籍名です。入金に使っている銀行口座は旧姓のまま残し、公的な書類には旧姓を使い... 不便極まりないです。個人的にはこの不便を早く解消して欲しいです。加えて、私は同性婚に賛成していて、そちらも早く実現させたいのです。その際には選択的夫婦別姓が制度化されていなければ、踏切りづらい人も居ると思うのです。現状の法律では相続や税制において婚姻によって優遇されたり守られたりする事が大きいです。それなのに制度がポンコツなせいで結婚出来ない人が居るのは不公平ですよ。私も夫婦別姓が成立するのを待っていて入籍が結構いい年になってからになりました。きっと今も入籍を保留している若い世代が居るでしょう。実現する日を遠い目になりながら待っています。
選択制なので、反対意見の人は、同姓を選べはよく、法律を制定しても何も問題ない。
夫婦(家族)は同姓でなければならないというのを考え直す時期ではないかと思えます 海外では別姓もありです 離婚をして自分は旧姓に戻すが子供はそのまま一緒に住む実の親子でも名字が違ったり親の再婚により子供が名字を変えなければならなくなったりとゆうことも目立ちませんが起こっているからです
個人のアイデンティティを尊重するために是非必要だから。
選択なのだから、現状と何も変わらないと思う、
当然すべき
旧姓で仕事をしたい人を何人も知っているから。

反対理由は「選択」を排除するものと考えられない。賛成理由は現制度の問題を明示するものとする。
家族の形が多様化している現在、生き方や働き方も多岐に渡っており、旧来からの「家に嫁ぐ」という価値観は明らかに変容している。主体的に選択できることが大切であるとする。
あくまでも『選択的』なので、制定されたら幸福になる人が増えるだけ。自分の名前も基本的人権の一部だと思う
個人がそれぞれの姓を名乗って生きる権利のあること。苗字を強制的に変更させられることによる不都合が多々生じること。基本的人権とする。
今まで使ってきた姓を、どちらかが1人だけ変えなければいけない事が不公平に感じる為。
現在の制度は夫婦同姓の強制である。日本では、夫婦同姓は明治期になって家父長制イデオロギーにより導入された制度にすぎず、伝統でもなんでもない。選択的夫婦別姓であれば、同姓にしたい夫婦も別姓にしたい夫婦もどちらも自分たちの意思を曲げずに婚姻できる。
家制度に縛られるのは理不尽。「選択的」であるのだから個人がそれぞれのスタイルで暮らしやすさ、心地よい家庭を築けばよい。
選択だから
現状、多くの女性にしわ寄せが生じている。個人の尊厳と権力と不利益さを考慮しても選択性がベスト
苗字くらい好きな方を選べばいいと思う。
男性の姓が優先されやすい制度は性差別にあたるため。
結婚生活を営むには妻と夫がそれぞれ個人として自立していることが前提であり、姓も個人に属するものであるから。
改姓に伴う不利益があるため。同性を希望する人は同性にできるのでなら問題を感じない。
不便、不具合、違和感を感じている人がいるのに未だにその存在を無視していて良いわけがない。政府は色々な意見があると言うが、だからこそ選択的なのだから制定すべきと思う。
反対派の意見は、特定の価値観を押し付けたい事のみが理由となっており、こうしたいから、こうするという理屈立てになっている。押し付けられる側の迷惑を考慮せず、合理性がない。
選択的であるという事がポイント。そもそも夫婦同姓の強制は日本だけ。家族の絆云々はそれによって全く影響を受けない。
女性は社会でも家族形成の中でも大きな大切な存在であり役割も担っている 互いに尊重しながら担い合える人として認めるべき 人は母親から生まれるし、父の名で育つ 互いの姓を尊重するのは当たり前のような気がする
選択的なので選択肢が増えるということだから。今まで通りがいいなら今まで通りも選べるので。
伝統的というものが別姓を否定する理由にはならない。家制度の古いしきたりは無意味でありむしろ家に縛られる弊害が大きい。海外では別姓が制度的に何の支障もなく実施されている。
夫婦が同じ名字にならないといけないのは 日本ぐらいでは。名字が戻ることによって子供のことで心配して離婚を我慢する(ほとんどの場合女性)はもう少ない のではないのでしょうか。
「同姓だから家族の絆が」という意見があるが、強制的同姓の今も、離婚、児童虐待、夫婦間の殺人事件などはある 夫婦や家庭のあり方はそれぞれであるべき
名字でしぼられるのでは無く個人として尊厳を捉えるべきだと思うから。
1.女性のアイデンティティを保障すべき 2.夫の名字に変えて、それまでの自分の業績がゼロになった
人はみな平等であり選択の権利がある。また、選択的である以上反対する理由はない。私の若い頃から議論し

ているものであり、早急に決めるべきだ。
自分の名前は自分で決める自由があるはず。
個人の自由で国に強制される問題ではない
個人が尊重されると思う。結婚後の選択肢も増える。姓に縛られることがない。
個人名を使用するにあたり、氏を選択する自由を妨げるのは、憲法違反であると考えます。
本人当事者の選択による。反対側の主張は実態を反映していない。
選択制で、強制ではない。反対する意味がわからない。
近々結婚予定。夫となる人の姓の方が珍しいので、私が改姓する見込み。今から手続きを考えると憂鬱で、一体感なんて交際していた時代からあったし、私の苗字が変わったとしても、私と両親のつながりが消えるわけではない。以上から、別姓反対派に同意できる点がない。
各自の自由だと思います 同姓、別姓に関わらず、夫婦の関係は本人達のものです
姓は個人のアイデンティティーと密接につながっており、個人の尊厳を守る上で、姓を選ぶ権利の保障は不可欠です。
独居の母の介護ヘルパーさんなどとのメールでのやり取りや郵便物のあて名で、母の名字[=私の旧姓]と私の現在の名字の漢字が1字違いで紛らわしくヘルパーさん方が混同して間違えて郵便配達の方に申し訳ないのでヘルパーさんに指摘すると相手がめっちゃ恐縮するのでも一早く別姓認めてくれないとめんどくさい
強制的夫婦同姓に反対なので。子供達の未来のために、一つ一つ日本人の悪いバイアスを解除していけたらいいと思う。
姓を変更する事でキャリアの継続等が妨げられます。選択できる制度にするべきです
士業の方のように本名でなければ仕事ができない方がいます。姓を変更することで不利益を被ることがあるため賛成します。同姓・別姓どちらも選べるので同姓を希望する方にも問題ないと考えます。
古臭い家制度にしがみつくのが気持ち悪い！もうそういう昔の制度を活用するには限界がきてるのではと今の社会情勢に合わない事はそろそろ考え直した方が良くと思うから！
名前は愛着のある記号。マイナンバーで個人を特定するのであれば、進歩した現代のテクノロジーで根本的に家族制度などに係る法律を再構築すれば、個人の自由を尊重出来る。人の結びつきや愛は記号によるものではなく人々の知性と想いによるものだと思います。
選択制になって2人の意見が実現するのが一番いいと思う 家父長制は専制君主と同じで卒業する時が来たと思う 個人が強くなってコミュニティが維持出来ないなんてことはないと思う いいコミュニティなら個人で助け合いたいと思う人が多くいるはずだから
結婚による改姓から10年以上経っているのに違和感と辛さがなくなるから。
結婚して1つの姓になる、それが家族だという概念が自分にもありましたが、それは自分が男性で、男性の姓になるのがほぼ当たり前の世の中だからだと結婚するときには思いました。もし、選択的夫婦別姓ではなく、女性の姓に統一するという法案が出れば、男性の多くは反対するでしょう。であれば、選択肢の1つとして選択的夫婦別姓の導入は必要と考えます。今回、参加するにあたり、戸籍制度は対応できるのか？という疑問も問題が無いことを知りました。まだ子供の姓が男性の姓に偏るだろうことなど、割り切れない部分もありますが、それは現在の概念によるものであって、選択的夫婦別姓が施行された後に議論になったり変わっていくものだと思います。まずは姓を選ばずに困っている人がいることへの対応が必要だと思いますので、賛成します。
法律ではっきり規定しなければ制度として確定されない
人間として当然だから

選択肢を増えるなら、その方が良いと思うから
望んでいる人がいけば不都合場ない限り実現した方がいいと思うので。
結婚・離婚後の姓が変わることの負担は女性ばかりなので
夫婦が別姓になったとしても家族の一体感や価値観は損なわれないと思うから
「家」でくくられない「個」こそ何者にも支配されない主権者と考える。その意味で個人の「選択する自由こそ」基本でしょう。
今、20代です。家庭の事情から、もう10年以上苗字で苦しんでいます。もし、夫婦別姓が選択され、加えてその子供にも生き方を選べる権利が与えられるなら、解消できた問題です。家族間の絆なんてものは、たかだか苗字で決まるものではありません。個々の人が持つ性質、家族を取り巻く環境、家族間の関係性、等沢山の要因があります。目立たないだけで、苗字が同じでも破綻している家庭はあります。同姓が文化なら選択的として残せばいい。何も強制別姓ではありません。これから生きる若い世代、子供たちのためを考えるなら、苗字ではなく、減税や子育て家庭への支援に力を入れる方が効率的なはずです。生き方を自由に選ぶ権利が欲しい。
肯定する意見に賛同する理由が見当たらない
改姓による不利益を解消するため。
選択的であるのだから、同姓希望者の権利を侵害するものではなく、反対する必要を感じない。また、反対派の理由が主観的な「気持ち」に因るところが多いように感じ、反対するには弱いと感じる。ただし、良くも悪くも現在の日本は同性制度に基づいて社会や制度が設計されている以上、混乱がないように配慮は必要だと思う。
家というものから少しでも解放されるのならばという思いです。
選択肢を増やすだけの話なので何の問題もないと思う。
別姓にする権利があっても良い。
夫婦同姓を強制する現在の制度は、システムティックなジェンダー差別であり、また「家制度」の残滓であるため、より公正な制度に移行していくことが望ましいと考えるため。
母から、結婚して苗字を帰る際、手続きの面で苦労したことを聞いたから。
結婚した時は名字が変わるのが嬉しい感じがしたが長いきして主人の名字のまま死にたくないです。途中からでも変えられる制度を作してほしい
基本的にはこれまで通りで良いと思うが、別姓を希望する人がいるならそれを叶えてあげることも必要だと思うから
選択的別姓保証ー弱々し過ぎる要求です。私が日本国大統領なら、”選択的夫婦同姓を保証する”法律を制定させます。
一人一人の姓名は歴史(長短はあるにせよ)があるものであり、結婚等であえて変える必要はないと考える。
別姓さえも制限する日本の自由度は世界基準以下。速く法整備化した方がいい。
選択性なので当人達の自由である。反対意見は全てこじつけに感じる。
自分のアイデンティティを自分で選べるのは当たり前。
女性の今までの業績が別姓によって担保され対等の立場になれる。
同じ姓にしなければならぬ合理的理由がないから。
夫婦が同姓でなければならぬ合理的理由は見当たらない。むしろ結婚、離婚等による姓の変更は面倒だし子供への影響も大きいのではないかと思う。実際、自分の息子が結婚する時も、別に家に入る訳でもないのに、

当たり前のように嫁の姓がこちら側の姓に変わる事に違和感を覚えた。
選択肢を増やすことは必要
個人の権利が尊重されるべきと考えるからです。私自身は夫の姓を主体的に選択しました。夫婦別姓を全ての人に義務づけるものではなく、同姓を選択したい人はその選択が尊重されるのですから、理にかなっていると思います
現行制度は時代に合わない、いつまでもおかしい家制度を押し付ける事は賛成出来ない、選択出来る事が一番。
夫婦別姓でも何ら問題なくむしろ手続きが減り便利。選択的ならそれぞれ好きな方を選べば良い。
名字の変更手続きに手間がかかり、資格など証明が必要になることもある。
夫婦同一姓の根拠は、家族がどうあるべきかという点での、一部の考え方の(理想なのでしょうか?)押しつけのように感じます。また、夫婦別姓にすることでのデメリットは何も無いように思います。別姓であっても一つの家族として固く結びつく場合もあれば、同姓であっても家族バラバラという場合もあり、氏が家族の在り方を決めるとは思わないため、選択的夫婦別姓に賛成します。
夫婦の選択の結果なのだから、他人がどうこういう問題ではない。私自身は国際結婚で、入籍しているが夫婦別姓を選んでいる。国際結婚では認められる夫婦別姓が、日本人同士ではダメな理由がわからない。
個人の尊厳・人権に関わることだと思うから
困っている人たちがいるのが事実。
男性の家に入るわけではない。
籍を入れて婚姻届けを提出しても、各々の使用する姓の選択は自由で良いと思う。
姓を変えると、その変えた姓の家の隷属者みたいになる。母はまるで家事労働するお手伝いさんだった。個人を尊重したい。
男女平等の基本だと思います。
あくまでも選択の可能性を広げることであるので、大切だと考える。
だって、別姓にしないとパートナーが結婚してくれないから
私は女で通常姓の変更を迫られる側なのですが、夫の家という枠組みに強引に入れられてしまうという不快感があります。夫婦別姓については 25 年前に女性の友人が悩み、結局事実婚を選んでいましたので、未だに別姓を選べる法律が無いままなことに恐怖を覚えます。別の女性の友人は結婚後姓変更になじめないと訴え、鬱病で 1 年程通院していました。女性の側の不利益が大きすぎると思います。
現行の婚姻制度と選択的夫婦別姓制度を認めることは、矛盾するでもないし、婚姻制度守られれば、夫婦別姓でもよいと考える。
夫婦別姓にしたければすればよく、したくなければしなければよい。何も支障が生じる理由がない。
夫婦同姓が良い人の選択を妨げるものではないのだから、選択肢を設けることに反対する理由は何一つない。
反対派の意見は、結局女性にだけ不利益が偏るという現状に対して、なんの解決も提示できていないから。
其々のご家庭に事情が有るのだから、選択肢が有って良いと思う
女性だけが一方的に不利な状況に置かれないようにすべき
我が国の性別による差別の根源であり象徴的な関係を法律が規定しているというのはあるまじきことだから
家父長制問題に日本社会が気づき、女性が個人として尊重されるため
現役時代の経験なら 仕事を続けながら 結婚生活の両立の時に 名前が変わったことで 対外的な対応に戸惑

ったことがある。自由でよいのではとおもいますが、子どものことを考えると難しい問題でしょうか？ 繊細な問題かな？ 個人の資質や人格を 尊重できる社会なら ok でしょうが、
選択的別姓制度は同姓を希望する者の選択肢を狭めるものではないこと(逆に、現行制度は別姓を希望する者から選択肢を奪っていること) 同姓維持派の主張における危惧は実際に発生していない想像である一方、選択的別姓派の主張する弊害は実際に事実として発生していること
選択的だから
「選択的」ということは自由ということなので、誰も不幸にならない。
選択可能できることが重要
個人の自由だから。
姓を強制的に変えるのは硬直した古い制度。60 代の男だけど若い頃からずっとそう思ってる。
選択制に反対する理由が理解できません。
姓名は、重要な個人のアイデンティティの要素であり、結婚によって、法律で強制的に変更させるべきでなくい。
同姓による不利益、不合理は看過できない
女性も社会的な責任を持つ。ハンコを変える不利益が女も男もない方がいい。同姓を選択する人の権利を、選択的夫婦別姓は侵さないのだから早く認めるべき。そもそも夫婦別姓は、日本の伝統。
私の両親が夫婦別姓であるが、家族の連帯感が失われたことはない。
個々に抱える問題があるので選択出来る自由があって良いと思う
自分自身、結婚を機に不承不承改姓しました。昨日の私とこれからの私とどう違うのか？と思いつつ。選択制夫婦別姓を求める人が増えた今、なんとか実現して欲しいと切に希望します。
反対理由に理解できるものがひとつもない。
結婚しても姓はそのままの国もあり、社会生活での問題はなさそうだ。選択ならば今までどおり夫婦同姓も可能です。
自分自身も旧姓にする時に手間や時間、気持ちの負担が大きかったので、ほぼ女性にだけ大変不利になる現状を変えてほしいので。
個人の自由の観点から
同姓にするのも別姓にするのも選べるほうが良い。または、本名と通称(仕事ネーム)等使い分けられる仕組みにしてほしい。
同じ姓は強制すべきではなく、選択肢の1つとして別姓があっても良いと思うから。
女性 3 姉妹で、苗字が希少であったことから幼少期より誰が後を継ぐのかと言われて育った。50 代で結婚したが、会社経営を行っていたこともあり、名義変更や取引先への案内など、負担が重かった。
自分も夫婦別姓にしたいから
姓を変えなくても結婚できるのは、当然の権利だから。
女性だけに改姓を強いる状態のまま放置されてきたので
名字を変えることで起きるキャリアや生活上の不都合が大きいこと、またそれを背負うことになるのが女性に大きく偏っている現状があり、夫婦別姓はその現状を変える選択肢になると考えるため。また、夫婦別姓は選択的であり、同姓にすることで喜びを覚える価値観をもつ人々は、従来通り同姓を選ぶことができるため、反対派の理由は婚姻時に強制的に夫婦同姓を強いる理由にならないと考えるため。
端的に言って、夫婦別姓を保障する事によるメリットとデメリットを考慮すると、メリットのほうが大きいと思うか

らです。反対される方の主な主張は概ね理解しているつもりですが、それを勘案しても夫婦別姓を保障して何ら差し支えないと考えています。
現在はどちらかを選択しなければならないが、「選択的夫婦別姓」は別姓でも良いので現在の同性を問題意識無く選択している方の権利も守れる。
多様な夫婦のあり方を保障するものだから
女性が改姓による被る煩わしさから解放されれば結婚や出産に前向きになれる。
結婚したからといって名前(苗字)が変わってしまって、不利益を被る人も多い。日本はヨーロッパなどと違ってどちらの苗字もくつつくのではなく、ひとつしか選べない。選択の自由があっても然るべきだと思う。
女性の地位向上になるから
同姓を強要する制度は世界でも稀。未だに「個」でなく「家」を重視することに違和感がある。同姓か別姓かを選択出来るのだから、反対する意味が分からない。
あくまでも選択制だから
どちらでも選択出来る権利が必要だと思う。これだけグローバル化しているので、不利益を被る事を続けるのはおかしい。同姓にそこまでこだわる必要性を感じない。家父長制の存続のためであるようなイメージ。女性にとって不利益な事が多いと思うから。
夫婦とは、人生におけるパートナーであり、個人と個人との対等な結びつきであり、この二人の合意によるものです。他者の入る事柄ではないと思います。
別姓を名乗りたい夫婦は名乗ると良い。別姓を強制するわけではない。
大半の国民にとって姓は明治に入って得られたもので、日本の伝統ではない、近代化の必要に迫られてされたものなので、現代のニーズに合わせて別姓を保証するほうが適切だと思う。
夫婦で決めていい。
当たり前の事だから
婚姻前の声を通称で名乗ることができても、パスポートを始めとして海外に出たり、その他非常に不便であります
国際的にみて日本だけが夫婦同姓にしなければならないことが単純におかしいと感じる。反対意見に納得できるものがない。
今の時代は別姓もありうると思うため
反対する理由があまり理解できなかった。 選択的ということなので多くの人の希望が叶えられるメリットの方が大きいと思った
家父長制がなくなるきっかけになるので。
・一方が不利益な立場になることもあり、それが伝統であり常識であるような空気の中では意見すらできない人もいるのでは。・個々が自ら選択できるという法律に反対する理由がない。
私自身が、名字を変えることに拒否感があり、夫婦別姓が可能になれば、結婚を考えようと思っていたので、人生の選択肢が増えるため
自分の名称を自分で自由に決めることは基本的人権であるため。
選択制でなんの問題もないから。
現状において、女性が男性の姓を選ばざるを得ない社会的な状況があり、不利益が生じていることは明らかであって、今の制度が男女平等とは言えないため。
同じ姓が良いなら同じで、別々の姓が良いなら 別で。どちらもを尊重しているで賛成。

結婚した場合、20年以上共にしてきた名前を変えるというのが悔しいから。選択肢を増やすことは何の問題もないと思います。
夫と妻が同じ姓でなければならないと思わない。
強制ではなく選択の為、各家族で話し合っ決めてれば良い。
多様性を尊重すべき
本人の希望を尊重するのに男女差があるべきではないと考えます。
個々人の意思を尊重することが人権保障の基本であるから。
未だに家制度のような考え方の人も居るが、女性も男性も従属物ではなく、個人として尊重される社会であることを示し、進展させたいから
僕的には どちらでも OK なので 家族の一体感等の抽象的な反対理由で有れば 賛成です
今に至って何故反対なのか、男尊女卑まま、成長しない方々ばかりです。
結婚改姓してから 32 年になりますが、どうしても自分の現在の氏名が好きになれません。59 歳にして大変子供っぽい理由です。私は、世の中の多くの別姓希望の方のような、立派なキャリアウーマンとは対極のような存在です。最初は、夫の姓と私のファーストネームをくっつけたときの響きのなものやわ〜と感じられ、何となく嫌いだった、というだけのものだったのです。が、時が経つにつれ、今の生き方(お見合い結婚)自体がずっと関係の悪かった父親の圧力と無関係ではないこと、そのことに強い嫌悪感をもっており、夫の苗字を名乗ることについても、自分の正直な気持ちではないからかと思えます。
現在の日本では女性に改姓の負担が多すぎて 9 割以上で、世界的には女性の改姓を強いている国が無いので。
個々の人が選択すべきことで基本的人権の保障だと思う。自民党(政府与党)が国民生活へ介入する問題ではない。
あくまでも「選択的」なので、夫婦同氏を名乗りたい夫婦は同氏を名乗れば良い。それよりも同氏で不利益を被る者が現実にいる以上、別氏を選択する権利はあってしかるべきである。
反対する人は、自分が別姓を選ばなければいいだけだから。
女性の社会進出が当たり前になり、晩婚化が進む中で、結婚や離婚の度に氏が変わることは、手続きが煩雑で煩わしい、会社や取引先の人に知らせる必要のない個人的なことを知らせなくてはならなくなる。そもそも会社等でもファーストネームで呼び合う欧米、同じ苗字の人が多いためファーストネームで呼ぶアジアの国と比べて、社会で苗字で呼び合うことが多い日本では、苗字にもとてもアイデンティティを持っているので、喪失感が大きい。
別姓で家族のきずなが失われることはあり得ない、あくまでも選択制なので不利益を被る人が選べばいいだけの制度なので、これのどこが問題か。たかが明治以降にできた制度を古来からの伝統というのがおかしい。
強制的夫婦同姓は特に女性に負担を押し付ける悪習・悪法のため
海外ではかなり以前から夫婦別姓を認めていて、社会的に特に問題になっていないし、改姓が原因で結婚が破談になった方も少なからずいるから。
結婚したらどちらかの姓を名乗らなくてはいけないというのはおかしいと思います
夫婦が同姓でなくてはいけない必然性はない。子は父母どちらかの姓を名乗れば良い。選択的夫婦別姓に反対の意見は時代遅れ。「選択」できるのだから同姓を希望する人達は同姓にできる。不利益はない。
夫婦同姓、夫婦別姓をそれぞれ選べるのであれば反対する理由が見当たらない。
個人の婚姻後の姓に関する選択権を尊重すべきである。

当然ですから。
あくまで「選択」だから 仕事や離婚後に 変更が面倒だから 家制度から解放されたいから
姓はその人のアイデンティティと結びつくこともあり、変更しなければ結婚できないという二者択一は一定数の人を疎外するものである。戸籍制度が壊れると言う反対意見もあるが、紙であれば膨大に増えるという点で不可能であっても、電子的なシステムを整えれば、維持する仕組みづくりは可能であると思う。
結婚する度に名前が変わる(女性側) 離婚したら名前が変わる その度に判子や通帳等全てが変わる 手続きが大変でした。
個人の自由だと考えます。ご自身がこの先人生を歩まれるにあたって、良いと思われる方を選択すればいいこと旧姓を名乗れる選択肢があったほうが良いと思う
選択できるということ自体が非常に重要で、同一姓にするのか別姓にするか夫婦となる二人がお互いに話し合った結果、同一姓か別姓にするかを選択すれば良いだけのことと考えます。反対意見も読んだが、それも含めて夫婦になる人たちが話し合っ自分たちの家族のかたちを決めればいい。
変えたい人は変えて、変えたくない人は変えない
夫婦同姓を強制することは、婚姻の自由を侵害していると言えるものであり、夫婦同姓を強制する合理的理由もないと考えるため。
選択的という個々人の判断を妨げるものはないと思う
女性の意識変化への期待と研究活動の継続性の確保
社会的価値観の多様に伴い、変わっていく事が私にとっても自然な流れと感じるから。
私自身が女性であるが、私という人間の人生と共にある苗字の喪失を当たり前のように体験しなければいけないという現状がとても苦しいから。
選択制なので、反対する理由がない
不都合な人がいる以上選べるようにするべきだと思う どちらを選ぶかは個々人の自由であり家族の考え方の問題であって他人がどうこう言う問題ではないと思うから
誰に迷惑もかけないのに、選択制とするのに、これを公権力が許さないとは、許せない。
姓名によって帰属意識や、集団意識、家族意識が生まれるわけではないと感じる。結婚をして、カード、銀行、病院、あらゆる手続きで変更をしなければならない負担が増え、結婚を後悔したこともあった。ダブルアイデンティティとして、2つの姓を持つのも選択であるし、変えないのも選択で、柔軟に対応していいのではと感じる。
あくまで「選択的」なので、これまでの制度と同様に夫婦で同じ氏を名乗りたい場合はそちらを選択すれば良い。女性の社会進出、キャリア形成を考えれば別姓を選択できる自由もあるはず。
グローバル社会の中で日本の足かせであり、女性軽視の家制度の名残の感が強い。反対意見、特に参議院請願は別姓を望む人への偏見が強く、国民を代表する国会議員の意見としては、とてもはずかしい。
選択の自由があるべき
氏変更手続きがいちいち面倒。同じにするか、今までのままでよいか各々が決められるようにするのは何の問題もないと思うから。
私は～家という家制度より、個人を大事にしたい、選択制なので同性、別姓選べる方がいい
法律を制定することにより選択し易くなる。
本人が選択すればいいと思うから。実際には女性の場合、会社などの職場では旧姓で呼ばれている。
この点で選択肢が広がるのは良いことだから

「選択的」で強制ではないので、個々人の価値観に任せることに、反対する理由がないから。
「選択的」なので、いいのではないですか？ 反対派の意見はアホらしくて聞いてもらえません。ただ、この間の韓国戒厳令で思いました。夫婦別姓の韓国の政治状況を理解するためには、大統領夫人のフルネームも覚えなきゃいけないんだなあ、と。脳みそメモリーをくいそうです(甘んじます)。
個としての価値観尊重
親から心を込めて名字に合わせた名前をつけてもらったのに、結婚ごときで名字を変えられるのが我慢ならないから。
自分の姓を大事にしたいから。
選択肢が増えることは人権や自由権の幅を広げることになる
女性が結婚する前に築き上げたものが名前を変えることで色々不都合が生じる事や手続きの大変さもある。また離婚後に元の姓に戻した時も公的なものの変更の大変さやプライベートを第三者に知らせる事となり姓を婚姻後変えた方だけ受ける弊害にも違和感がある。
性が違って家族のつながりが無くなるわけではなく、家族で姓が変わったことで面倒なことが起きているのを見ているから。
昔からの風習で男性の姓になる人が大半というところが、男性社会が続く要因ともなっていそうだから。別姓にしたい人は自由にできたらよい。
経済的コストの軽減になる。同姓にすると公的手続きの負担がかかる。
選択できるから
強制ではなく選択できるのだから、現代においては至極当然の事
わたしのアイデンティティを大切にしたい。
家族の考え方は変わってきており、夫婦別姓でも家族との一体感を持つてと思う。とはいえ、同姓を求める人もいると思う。同姓、別姓の選択肢を持つてようになればいい。
前提として、姓を選べる権利はあっていいと思う。その上で、各々で選択していったら良い。
30年間待っています。
氏名は個人のアイデンティティの最も基本的なものであり、それを変更するかしないかの決定権は本人にあると思うから。
結婚前に呼称していた姓で一定の業務(弁護士などの士業、アーティスト活動など)を行っていた場合、同一人物である旨のアナウンスをするコストや呼称変更によるブランドイメージの変質を受忍しなければいけないのは個人の尊厳を踏み躪ることになるから
今までの制度で困っている女性がいるなら姓を選べるだけなので賛成です。頑なに反対している人達の一部は、宗教絡みなのでその一部の方達の我儘で変えられないのはおかしい。
選択的夫婦別姓をひとつのきっかけにさまざまな女性差別が解消することにつながると思います
選択性を担保する内容だから
個人の自由を守るためには多くの選択があった方がいいと考えます。法律に根拠を持たない手段・方法では恣意的な解釈を許し、既得権者の都合のいい判断が優先されることになって しまう。
選択できる権利を認めるだけで別姓を希望する人はそのまま何も変わらず生活できるわけで、誰も損する人がいないから。
婚姻時に夫の姓にを名乗るのが普通で、妻の側にかかる社会的精神的不利益がある。不平等で人権が軽視される傾向があると感じる。

・家制度の下に暮らしてはいない。・姓もその個人のアイデンティティと思う。結婚後もその姓を名乗り続けたいという思いは尊重されるべき。
今や、時代は代わりました。その時の人々の幸せが一番大切。
時代の変化、世界基準に合わせるべき。日本は先進国なんでしょう？(私はそう思えないが)ならば、海外からの移住者も増えている中、夫婦同姓はもう古い。同姓、別姓と選択肢が増えるだけなのに、反対する必要性を感じない。選べる権利を当たり前のように与えて欲しい。
首肯するに足る反対の根拠が全く見当たらないので。
自分らしく生きたい 余りにも手続きが煩雑で、しばらく混乱する。
・名字を変えたくない ・法律上「家」は廃止されたのに同姓を義務付けるのは矛盾している ・氏名は人格権である判決があり、婚姻制度で改姓を強制することはあってはならない
選ぶ自由がある方がいいと思う。どちらの姓を名乗るかの決定権が自分であれば、その先に不利益が待っていないようとも決断したのは自分自身なので納得感が得られるのでは？と思う。
私自身、夫が外国籍で、夫の籍がある国では夫婦は別姓なので変えずにそのままにしています。数年経ちますが社会的にも夫婦間にも何の問題もありません。それ以前に珍しい姓なので変えなくなかった、という気持ちもありましたが。
姓名自由の実現、女性だけの姉妹にとっても諸来名を残せる。
自由に選べる方がいい。個人の価値観が大事にされたらいいと思う。
選択できないことで、困った状況があり、反対意見で示された懸念は、他のやり方で、十分補完が可能と考えたから。
結婚した当初からかんじていたこと 同級生が亡くなった時、告別式の広告に旧姓表示がなく気がつかなかったなど結婚前の経歴などがないように感じた
苗字を変えることに違和感があるから
同姓を余儀なくされて、心情的にも、物理的にも不利益を被っている方がいるのであれば、個人の尊重のためにも、別姓を名乗れるようにしてほしい。
人権だから
国民はどのような形であれ、生活する権利が有る
自由に選択できる方が良いと思う
本人の問題に介入すべきではない
「選択的」なのだから、同姓にしたい人達に不利は無い。選択させない理由に合理性が無い。
これまでの自分を捨てて義実家の傘下に入らないといけない感じがする。平等であるべき。
選択的であることから、社会全体に不幸な結果をもたらすことにはならない。
選択をひろげることは、自分らしく生きるために、必要だと。
制定するなら「選択的夫婦同姓」制度として、夫婦別姓を選択できるようにするべきである。
反対の理由も確認したが、反対する(同姓を求める)人は同姓を選択すればよく、別姓を求める人の選択肢をなすことは公平で無いため。
今の時代別に困らないと思うから
自由に生きたらいい。と思う
結婚しても私という個人は変わらないし 姓の変更は煩雑だったから

夫婦は対等であるべきで、家の制度、思想に縛られた同姓圧力はやめるべき。
「選択的」なので問題ない。現状不便な人がいるから早く制定するべき。
若い時は夫の名前になるのもいいものだと思いますが、40代後半で再婚する時に、事務手続きも面倒だし、築いたキャリアを失いたくないと事実婚をしています。法律が変わればすぐ婚姻手続きします。
お互いに結婚するもの同士が同姓か別姓を決めた上で、それぞれの納得いく状態で結婚すればいいと思う。
幸せになる人が増えるから。
「選択的」であって全員に強制するものではないのだから、同姓を強制されることによる不利益を被ると考える多くの女性に選択肢を与えるべきである。
95%の女性が夫の姓に変更している現実が、性差別の温床になっている。介護や看護・保育などの仕事が低賃金になっているのは「所詮、女の仕事」という偏向した考え方が元凶になっている、そんな風に思えてならない。
姓の為に仕事等に支障をきたし困る方がいるのだから、別姓にしたい方はそうすれば良いと思う したくない方は夫婦同姓にすれば良い
・現在、自分が離婚して姓を戻していろいろ煩雑で大変な思いをしている ・結婚した時に自分の名前を残す為にあえて執筆活動を始めたくらい、名前を失いたくなかった
選択的夫婦別姓と謳っているところに反対する余地はない。
別姓を選べない日本がおかしいから。
両性が個人として尊重される。
選択的なのだから、同姓にしたい人の権利を侵害するものではない。現在の強制的夫婦同姓が別姓にしたい人の権利を侵害している。そして強制的夫婦同姓は明治時代から始まったもので、日本の伝統などという理由は成立しない。
元の名も、現在の名も、どちらも、その方の大切なお名前であり、偽名というわけではなければ、都合によって、臨機応変に名前を使い分けてもよいと思います
反対意見にある同性による家族の一体感が保てる意見は、今の日本人はそうしないと家族としての集団が保てない阿呆であると言われてるようなもの。選択式夫婦別姓でも家族として一つとなる人間性や価値観、考えかたを今の大人達がしっかりと持って子々孫々繋いでゆくためにも賛成としたいです
どの名字を名乗るかは、個人の自由に任せるべきであり、自由を保障するためには、法律化が必要。
家族の在り方は同姓であることだけでは決まらないし、夫婦別姓を強要されることの不利益はもっと考慮されるべき。原則別姓の国もある中で、別姓では家族の一体感が保てなくなるなど言い訳にならない。選択肢としての別姓を認めてほしい。
不利益を被ることが減るのが選択的夫婦別姓制度。「選択的」であるから同姓にしたい人たちは同姓になることも選べる。選択肢は多い方が良い。
国による強制ではなく、あくまでも「選択的」であれば、国民の選択肢が増えるのでよいことだと考えます。
夫婦別姓は、個人一人ひとりの人格が明確になると考えるから。
結婚でどちらかの姓に統一しなければいけない、というのは不公平だと思う。姓を変えた方の負担が大きすぎる。
選択的で多様性を認めるべき。
既婚者ですが、改姓に伴う諸手続きの煩雑さ、キャリアの断絶などにずっと疑問を抱いてきました。寧ろ原則夫婦別姓でも良いくらいだと思います。
…やはりその人個人が名字は名のるものなので、名のる大人が決めれば良いと普通に思いました…！！

別姓にするか同姓にするかは、個人の自由だと考えるからです。
選択制、なので、別姓にしたい人のみ別姓が選べるから。同姓についても同じ。
選択的なので、導入して選択させたら良いと思う。
損している方が多く。結婚出来ないでいるカップルも多い。そもそも選択的なのだから同姓も選べるので問題はないと思う。
それぞれの家庭の自由なので
個人のアイデンティティが結婚や離婚による絶対的縛りがあることで、本質を欠く現実があると思うから。同時に時代の価値観による利便性の変化は必然だと考えるから。
姓が同じでも崩壊している家庭はいくらでもある。別姓でもなんの問題もない国もある。
同姓も別姓も選べれば誰も損をしないから。
結婚して感じたことは夫婦別姓であろうがなかろうが、何も感じないし関係が無い。だから選択できるようにすればいい。歴史的に性別の優劣をつくることも男尊女卑の差別を生んできた。
自由であるべき
夫婦別姓を選択することは基本的人権だから
個人的には夫婦が別姓でもそれが変だなどは思わないし、家族観や一体感には影響はないと考えているから。そして同性に無理矢理してしまったことで今まで別姓でやっていた仕事などに影響が出てしまうことはまずいと考えているから。
結婚を考える人たちが生きやすくなる方が良い。選択的なので、同姓がいい人はそうすればいい。通称も使えれば更に良い。
選択制であれば従来の同姓も選べるので。同姓しか選択されない現在の制度だと、現在の姓を継続したい場合は事実婚を選ぶか婚姻しないかを選ばざるを得ない不合理が生じる。
時代の流れによって家族観は変化していくものであり、男性中心の家族観は、これからの時代にそぐわないのではと思う。
反対の根拠が弱い。長い歴史において、ほとんどの平民がそもそも姓がなくても混乱なく生活できていたのでは？
明治より以前はそうであったし 同性にするか別姓にするか個人を尊重する上で 選択権があって良いと考えるからです
夫婦同姓は日本の伝統的なもとは考えていないため。
どちらでも良い。選択の自由。ただし場合、都合でかえるのはよくない。
夫婦同姓が日本の伝統文化であるとも思わないので、国際標準に合わせるのが良い。またあくまで「選択的」であるため、同姓が良い人は同姓にできる。何ら問題は無い。
江戸時代にそもそも姓が95%無かった 姓は家制度の基礎だから。家制度を 続けるか個人制度に賛成かである
個人の自由を守った結果、それに見合う国体ができるのであり、国体の決まった型を維持するために個人が在るのではない。
人権侵害で一刻も早く是正すべき恥ずべき風習だから。
夫婦同姓制度は現実的には女性差別そのものだから。
「夫婦同姓」は歴史が浅く、「日本の伝統的文化」ということには無理がある。また「家族の一体感」であるが江戸時代や明治時代の「夫婦別姓」の家族は「一体感がなかった」というのか。東アジア諸国では「夫婦別姓」が伝

統で、「夫婦同姓」は西欧のキリスト教文化であるから。自民党の超保守政治家女性は、現在も「政治家名」は夫とは別であり、また、同じく政治家である息子とも姓は別を名乗っているから反対するには矛盾がある。

自分は夫の姓にしましたが、同姓にする必要性を感じない。

反対

子供が生まれた場合の氏をどうするかについて、賛成派からは具体的な制度検討に関する考えをほとんど聞いたことがないから。
家族がなりたたなくなり、利己主義が今以上に広まるような気がする。繋がりがなくなる。それは日本ではない
家族の名という氏の意味が失われるから
不要不急。IT システム利権の懸念。
わざわざ導入する理由がない
賛成を主張する勢力がうさん臭い
戸籍制度の廃止に繋がる。と言うか、反日左翼の目的はそれだから。
夫婦別姓で困るのは子供です いじめの対象になります。夫婦別姓は仕事場で旧姓が使えるなら 問題ない話で 家族の根幹を表す家制度をぶっ壊す事になります。
日本の戸籍は守る必要がある。今の日本は通名などというものがあって、本物日本人か帰化人か、わからない状態。ますます混乱させる必要はない
今で十分
日本の社会が混乱する
子供の姓を選択する際に何かしらの摩擦や問題が発生する可能性がある。「世界で唯一日本だけ」ならば多様性の時代なのだからそれはそれで良いではないかと考える。
日本伝統の文化を守ることの重要性
必要性を感じない
姓を選択する権利は個人にあると考えます。国が制定するものではありません。
日本じゃなくなる
賛成にある意見は高市早苗さんがある程度整えている。
現行制度のままでも、夫婦別姓を求める理由を解決できると思うから。
別姓を認めることはメリットよりデメリットが多いように感じる。家族制度を守るためにも別姓である必要はない。通称を使えばよいだけだ。
選択的夫婦別姓を実現したい人たちの本当の目的は、戸籍制度の廃止だと思われるので。
家族の姓は基本同じことが良い。その上で姓が変わる事の不都合を解消していく方が良いと思います。
国際犯罪に利用されるリスクが有るという説を見ましたので、それらの対策無しには賛成できません
従来通りで何処が駄目なの
子供の意見を反映できない。親子別姓になる事が広く知られていない。現段階でも旧姓を使用できるので問題がない事を広く知らせていない。
「婚姻前の氏を通称使用できるようにする意見」に賛成しているから
他の国と合わす必要はない、ほとんどの日本人に必要なないから。
現行の制度に不満がないから 生まれてきた子供の姓は親のパワーバランスとエゴで決められるから
旧姓の継続使用で事足りるから。大きな変化は分断を生みかねないから。
子供の氏名について考えるからです

選択的夫婦別姓に関しては、特に賛成でも反対でもないです。消去法で反対かなと。
日本人の国民性から別姓にすると『家族、夫婦』という意識が薄れ形骸化してしまいそう。より婚姻率低下、少子化が進みそう。あくまで個人の感想です。
戸籍を守るため
わざわざ法律で定めないといけない内容なのではないでしょうか。旧姓との管理があるのはわかりますが、併記したりで対応可能だと思ってます。
今、議論している場合ではない。日本及び世界経済が後退している現状で、こんなことを言っていることがおかしい。
賛成者の賛成理由に賛同できるところが少なかった。
夫婦別姓は女性の為とか主張しているが、そんな事望んでいる女性は余りいないと思う。政治に利用されているだけでとても不快です。女性の為にもっと必要なことを置き去りにされているので。
海外でダブルネーミングが使えないというのは今までの政府外務省の外交の結果なのではないかと思います。他国の文化や宗教に寛容な反面、アニメやサムライなど受けが良いものばかりをプッシュしていますが、自国の事情を他国に説明し、配慮を求める交渉ぐらいはしても良いのでは。
一定数の賛成派に「別姓か同姓を選べないのは人権侵害だ」という意見を述べる者がいるが、その意見に引っかかりを覚える。夫婦別姓を選択するということは、子供は必ず親の片方と別姓ということになる。これは「子供が母親(もしくは父親)と同じ姓を名乗る権利を奪っている、強制的親子別姓」になるのではないかと。自分の姓を選ぶ権利を主張しておきながら、子供には強制的夫婦別姓を強いているのは子供の人権を軽視してるように思える。
現行法の通名で問題ない
強制的親子別姓になるから
現状でも十分に別姓を名乗っている。不便さはない。
戸籍喪失は不利益を被る可能性がある？
日本の家族制度を壊すものだと思うこと。企業などでも旧姓のまま仕事はできるし、日常生活で支障はない。
家族制度を壊そうとする恐ろしい意図が見える。
家族や家系の分断を生む一因になると思うから。日本のような歴史や家系を尊ぶ文化には必要ない価値観であるように思う。
日本古来からの風習を変えるのは、国家の損失であり、日本が日本でなくなると思います。
西洋と違いミドルネームがない以上、子供の苗字問題で揉めることが絶対ある 中国、韓国などは別姓だが女性蔑視的な意味で別姓であるため
戸籍が分かりにくくなる。職場環境で別姓を使える体制を別に整えられると思う。
現状の通称使用で問題ないと思う。コストが有ると言うが、軽減する取り組みが進んでいると聞いているので、将来的には解消出来ると思う。戸籍制度は社会の様々な事務手続き関わっているのでそちらで混乱や悪用が発生しないか心配。また、産まれたばかりの子供がどちらかの氏を選ぶ必要がある場合、裁判所が何に基づき判断するかも疑問が残る。
家族としての一体感が失われるから。日本のアイデンティティを大切にすべき。グローバリズムの流れにうんざりしている。
日本の戸籍制度は世界に誇れるものだと思うから。

LGBT 法も同じで何故わざわざ法律化しないといけないのか理解出来ない。
戸籍制度にも影響する日本破壊へ繋がると考えるから
家族にとって同姓であると言う共有観が重要だと思うから！又、姓が変わったからと言っても、仕事には影響がないと思うから。
日本古来の決まりだから 今更変えることもない
家族がバラバラなりそう。
どちらでも良い
個人的には、もし女房に別姓にしたいと言われると寂しいので
家族の絆も大事。家庭内崩壊が進む中、私を隅に追わないで
夫婦別姓にしなくても、通称として旧姓を名乗ればよいだけ。
お子さんを混乱させる可能性が極めて高いと 思うから。
最終的に戸籍を無くしたいのでは？ 子供は誰の子か、分からなくなる
子どもの姓を決定するのが難しい。
別性にする必要を感じません。
現行のままで特に問題ない
家族の一体化
夫婦・家族としての一体感が大切である。
家族が一体になる感じがするから。同じで苗字が違うだけとは言われるけど、日本は今までやって来たのだからこれで良いと思います。海外と同じにする事は無い。働いてる人は面倒に思うと思うけどその時だけだし、通名として前の名前を使う事も出来ると思います。
子供が親の姓を選別しなければならず、家族間に置ける孤立が生じる。其れは家族を破壊する方向への引き金になり、戸籍制度を破壊するものである。
家族制度に関する歴史的視点からの検討がなされていない。当座の利害・感情による議論のように見受けられる。また、子供の姓について配慮、検討が不足している。現状では賛成しかねる。
戸籍法や産まれた子供の氏の問題が置き去りにになっているから
日本人だから。
何となくだけど結婚しているのか、していないのか判断がつきにくいから
通称で充分 子ども兄弟姉妹は同じ姓であるべき
別姓にしないと不利益になる理由が解らない 女のご都合主義だ 社会や家族や地方体が混乱する 改名すら難しいのに二重姓など TPO に合わせて使い分ける事など身勝手すぎる。大家族で兄弟それぞれ苗字が違うなんて理解出来ない。墓標も二通り彫るのか？ 妻の姓に変えてもいいと云う経営者もいるが大半は夫婦でいがみ合う問題に発展するだろう。
現在、同一姓にして不都合は感じていないから。
変える理由がわからない。20 年以上前から職場で結婚後でも旧姓を使用している人はいます。
選択的夫婦別姓を認めるなら、住民に別住所(例えば、東京都大阪市とか大阪府名古屋市とか)を認めよという人が現れてくると思うから。
日本の伝統的な仕組みを変えてやる程のメリットは感じられないのと、婚姻関係における法的な面での女性優位を更に助長する事になり男性側から見て結婚の意義が薄れる

現状で会社の中では旧姓をそのまま使っているが問題がない。子どものことを考えると親が同一の姓がよい。
夫婦別姓は法律制度の選択の問題だが選択的夫婦別姓は根拠がない。
日本の伝統、道徳、文化を守る為。
子供の事を考えると夫婦同姓の方が好ましい。
婚姻を女性側から見た言葉として次の三つが考えられます。①結婚をする ②嫁に行く ③嫁にやる。①は女性個人の発想、②と③は「家」の発想。①は行ったきり、②と③はやったり・貰ったりとなり、家同士のつながりとなる。また、新しい家族は「氏」が同じほうが家族として同一性があり、ひいては連帯が育まれると考えられるから。
戸籍制度についてどうするか語られていない。
先祖代々とか自分のルーツが曖昧になる、家族の一体感が無くなる。帰化した場合元の国籍が分からなくなる（中国人等のスパイ又はスパイせざる可能性が増す）
家族なり家の成り立ちを大事にしたいから。
不要以外思えない
<p>多様性やら、国際社会を引き合いに協調性を押し付けてくるが、この同調に屈した国が面白いほどに崩壊に向かっていると思うと、「他所は他所、うちのうち」を貫く事が結果的に現状の日本経済をぎりぎり保てる気がする。</p> <p>< 賛成側の主張に関しての反論 > 1、「95%の女性が不利益を受けた」件。顔出しせずに動画配信してる女性とかみると、自己の存在証明は多様化してる気がする。そもそも、自己主張したければ、婿入りさせれば良い。家族の筆頭になる覚悟が無かった時点で不利益は享受すべき。むしろ、下手に平等な夫婦を目指すから利益の少なさに不平が生まれた。95%の人が利益を正確に理解してないだけで、当たり前前に利益を受けてる割にこれを過小評価してるのでは？</p> <p>2、「国民意識の変化」ドラマや物語では、こういう違和感があったほうが映える。このような面白いからやってるだけの事を現実には持ち込ませないために反対。</p> <p>3、「論文の～」件。名字が変わった程度で認知され無い論文など、はじめから駄作だったのでは？</p> <p>そもそも、こういう変更を大々的に告知するために結婚式など行ってお披露目するはずなので、周知できない不備を棚上げするのどうかと？</p> <p>4、「旧姓利用コスト」件。やらなければ良いのでは？、むしろ無駄に旧姓利用などできるから問題で、すっぱりと新たな気持ちで切り替えれば済むのでは？</p> <p>むしろ、旧姓でなければ受け入れない周りに新姓を馴染ませる方法を考えた方が早いのでは？</p> <p>5、「ビザや航空券の氏名不一致」件。気持ちはわかるが、ビザの取り直しをすればよいのでは？</p> <p>そもそもビザは永遠と利用できるわけではなく、更新が必要。どこぞの大財閥の氏名断絶危機回避でも無いのであれば、準備不足の言い訳にしか見えない。</p> <p>6、「国際社会～」。</p> <p>他所は他所、うちのうち。国際社会のやり方がすべて正しいわけではない、むしろやらないからこそ被害を受けないこともある。「みんな持ってる！！」とおねだりされても、「あなたほんとにそれ使えるの？」と返すしか無い。</p> <p>各種設問と、今回少し気になってぐぐった感じだと、他所はそもそも別姓しかないのかと思っただが、実際は同性の方が多いい感じ。「子供が可愛そう」とは思わないが、結婚して同性を選ばないというのは、観光地に行ってお当地グルメを食べない感じかと、せっかくの権利を無にする感じは個人的にもよくわかる。別姓でも不便はないだろうが、同性になれる権利を行使しないのは結婚の醍醐味を失う事だろう。改名しない事は、今後変化を受け入れる器量が無い一つの指針にしようと思っただが、同時に、夫婦と独身の間にもう一つ階級を作り。共同生活者の国のお墨付けを設けるべきではと思う。子供を作ったら強制的に夫婦に昇格で、これ以前は別姓だろうが同性だろうが、むしろ同性を名乗って良い権利と少しの税制優遇をつけた程度の制度を設けて夫婦未満とし、区切れればよいのでは。同性の覚悟と準備ができれば正式に夫婦に昇格すれば良いのでは、これくらいの覚悟ができないならどうせ離婚するだろうし、夫婦と認定しなくても良い気がする。人生の多様性は受け止めないのですか？ 多数の選択肢が無い方が幸せなときもあるかと。</p>

夫婦同姓は天皇制と同様に日本を日本たらしめている根本的な国体の具象化であり、公共の福祉に貢献するものだから。
姓は、本人同士で自由に決めて良いと思うが、子供の名前をどちらにするかで喧嘩になると思うので、法律上は、今のルールが良いと思います。
同じ苗字になる事でより結びつきが強くなる事と子供がどちらの苗字にするのか悩まなくてすむ。また海外の風潮に流されるだけでなく日本独自があっても良いと思ったから
一つの家庭に二つの姓はいらない。男性又は女性のどちらかを選び、 変えるほうは変った姓の後ろに元の姓を付ければどうだろうか？
メリット・デメリットを考えると今のところ判断を保留します。
戸籍制度が崩壊し、外国人と日本人の区別がつきにくくなるから。
日本の家庭制度を破壊してはしけない
臨終の際に葬式を行う際は 夫と妻の名字が違うのは参列者や関係者に混乱が起きるかと思います。ましてや、墓も別々に名前も分けるのか？二墓石にするのか？それもそれで、残された者が守っていく事を考えると、それもそれで大変かと思います。つまらない疑問の渦中なので反対に一票を投じます。
その必要性を感じない。法律を制定しなかった場合の国民の不利益がほとんど無い状態となってきた。
子供にとっての家族を考えた場合、両親は別姓出ない方が良いと思うし自然である。
私は、一月万冊の大ファンで、自称リベラルですので賛成の意思は、十分にあります。しかし、私自身勉強不足でこどもはどちらの姓をなののか。苗字が家族間で違うことへの混乱は無いのか、家の代々からの信仰や先祖を敬う気持ちがうすれていくのではないかと、疑問があるので取りあえず反対です。そこが分かればもちろん賛成です。
公式の制度として姓を同じにするという選択はあってもいいと考える。
未成年の子供等か混乱し、また負担になることが十分に考えられる。
同姓は家族の絆が生まれるものと思います。権利財産など引き継ぐ価値に影響が出ると思います。
家族、家系を守るため
他国に合わせるような事案ではない、日本の長所だと思う。別姓のメリットをさほど感じない。
子供の問題もあり今のままでいいと思う
夫婦子どもの一体性を守るために夫婦同姓が良い
子供の氏に対する影響
夫婦である場合はそれでもいいが、子供ができた時 両親と同じ姓であって欲しい
現在まで56年生きてきて夫婦別姓が不利益だったと耳にしたことがないので。手続きが繁雑だと言われるが実父が亡くなった時に市役所、社会保険機構、銀行、農協に足を運んだ立場から、そんなに大変ですか？と聞いてみたい。
戸籍制度の破壊に繋がる恐れがある。旧姓並記で社会生活に困ることはない。家族、夫婦、親子、兄弟という意識が薄れ、不倫などより利己的な社会になると思われるから。
反対理由と同意。
キラキラネームと同様に感じる。親の側からの議論は成されていても、子ども側のことを考えた議論は不十分すぎると思う。
新法の制定施行による戸籍事務、家庭裁判所事務に携わる人々の過労が懸念される。

戸籍制度が煩雑になるだけと思われるため。
未婚、既婚の区別が分かりにくい
子供がどちらの姓を名乗るのか？誰が決める。兄弟姉妹も別性になるの？
改革とか古い政治をかえるような言葉だけで民衆を煽動して政党拡大しているが地域発展も生活もよくなっていないのと同じで選択的夫婦別姓を保障する法律を制定したら莫大な費用が必要で従来どうりでいいのではないか
率直な思いは賛成であるが、賛成派の主張があまりにも無自覚な何の問題がないと言う主張が危険だと思ったからです。
当人夫婦の事ばかりで子供の事はどうするのかと言う思い。日本人は姓を重く見る そこは大事
嫁が旦那さんの家に寄り付かなくなる。嫁意識がまったくなくなる。
家という概念が無くなってしまおうと思います。私は国際結婚をして、日本名を通していますが、子供達との氏の違いを身をもって感じていますので。
日本国の歴史の自然の流れで、外国ナイズするべきではない。ジャパニーズスタイルの維持 etc. 子供達の親権確保と尊重の為、反対する
結婚後、姓を変えましたが仕事でも生活でも支障がない。子どもに不利益になることは反対。賛成派の意見に同意できない。
戸籍制度守る為 旧姓でも可能な制度あり
家族制度が壊れる可能性がある為。
夫婦別姓にすることで、何かが大きく変わるとは思わない。海外は、当たり前みたいに言うけどそうかな。トランプだって別姓でない
子供と性が違うのはおかしいから
賛成者は自分本位で社会、子供、子孫の安定した継続への考慮が欠落しているかと思います。
これまでの日本の戸籍制度は日本の伝統・文化の根幹であり、日本人としてのアイデンティティを破壊するきっかけとなるかもしれない危険な法律だと思うから。
例えば二人の間に子供が出来た場合どちらの姓を名乗るか将来大変な問題の原因になります、将来のトラブルの原因を作る悪政だと思います。
別姓にする必要性は理解できない
「反対側の主張」のとおり
2000年近くも培って来た日本の家族制度のメリットが大きいし、もし、それが崩壊するならば、複雑で解決困難な問題が発生する。(扶養問題等)。むしろ、結婚の定義を広義に解釈し改めて、内縁関係等を含めて附則的な法律を盛り込んだ方が良いのではないかと思う。(選択的夫婦別姓も理由、状況等を考慮して法的に使用できるようにしたらどうかと思う。)
今のままで 特に問題はないと思う。
家族という制度が破綻するような気がするので
別姓の夫婦の相続や扶養の法整備をしてからでないと、よく分からないまま別姓を選んだ人に不利益が生じるから。
特に今のままで不自由ない
もし導入すれば、その先に夫婦別姓制度につながり、長いスパンでは日本の戸籍制度の崩壊につながると予測

されるから。
戸籍制度が崩れるから。子供で名字違うとかおかしい。
どちらか出来るのは選べる訳だから、関係ない気がします、、、
高市氏が以前、法律で決めずとも既に旧姓使用は可能である旨の話を耳にした。多様性云々と昨今言われているが、改正せずとも出来る方法があるのなら、それに則って行えばいいのでは？と思う。個人的には、事実婚というのも如何なものか？と思うが。戸籍を汚したくないから？嫌になったらすぐ別れられるから？保守的かもしれないが、そう思う。
現状通りで良い
基本的に良いとは思いますが、それを自分に当てはめた場合、妻が元の姓に戻ることは考えられないので、今回は自分事に置き換えての考えですが、反対とさせていただきます。
わけが分からなくなりそうです
子供ができた場合、片方の親と違う氏になる。親のワガママで子供が迷惑する。選択的夫婦別姓を認めた場合、役所システムなどでさまざまなコストがかかる。そのコストは他のことにつかったほうがよい。別姓でないと不満な人は結婚しなければいい。
子供の選択肢が、大変(中学生位で自分の考えを持てるまで待つからでも良いと思います)
古い考えと思いますが どちらかの苗字になるのがイヤというなら籍を入れずに 同棲 パートナーでいいのではないかと思う。
そもそも"家"というのは、古くは明治以前より伝わる歴史あるもの。その歴史を一時の感情と外国勢力の干渉に基づき廃するのは時期尚早である。また、選択的夫婦別姓制度の導入により、戸籍そのものを廃そうという動きも出るのではないか。もしそうなれば得をするのは誰か。そういうことを考えた場合、選択的夫婦別姓制度はこの国には合わない。
日本の独自の文化として別に世界に合わせなくていいと思います。
家族制度を崩壊する。
戸籍制度まで変えようとしている事に危機感がある。強制が日本しかないと言われるが、日本が海外の文化に毒されるまでうまくいっていたことは多々ある。家族で子供と片親と別姓のもう片親、という形の方が一体感がなくて寂しい。子供はどちらの親側と同じかいいという姓を選べない。少子化を促進する制度だと思う。会社で人事業務をしているが、外国人で同じ部分が全くない夫婦などがいたときに、年末調整などが書類は自分たちでちゃんと書けない人が日本人でもほとんどなのでこちらが把握してしてあげなければいけない。その時に別の姓だと把握しにくくてかなり不便。
家族で別姓の場合、子供はどちらを選ぶのか。日本特有の制度ならむしろそれを誇るべき。他国に合わせる必要性を感じません。
夫婦の子供はどちらの姓を受け継ぐか等の、現実起こりうる問題について議論を抜きに進めているから。夫婦別姓に固執しなくても、職場で旧姓を使い続けることに支障がない制度にすれば良い。また、所得税の控除や、死刑制度の情報透明化、存廃の議論など、選択的夫婦別姓よりも先に解決すべき問題があるから。
現状の法律のままで、我が家族には何の問題もありません。
何故法律で保障希望するのか明確な理由がないと思う
婚姻関係にあり共同生活を営み相互扶助の責任を全うしているという表象(姓の一致)を備えることには社会的意義がある。現に相続制度もこの社旗的意義に基づいて支持されている。
日本がグローバリストに蹂躪されている現在は、選択的夫婦別姓についての法律を議論することに反対します。

日本という国がまともになり、自主独立して「まっとうな世の中」になった時、選択的夫婦別姓の制度を取り入れるべき。(賛成だが現時点で時期尚早)
マイナンバーカードで旧姓併記をするなど、対応が進んでいる。外国は夫婦同性ではないということだが、では外国で導入されているシステム等は全て取り入れるのか？ そもそも、別姓にした場合の子供の名字はどうするのか等の議論がまだ全然進んでいない。バラバラにするのか？統一するのか？
日本の伝統的家族制度の崩壊につながる。産まれてきた子供に姓の選択などできる訳がない。またただでさえ怪しい帰化議員どもの隠れ蓑になり、政治が外国勢力や反日外国人に乗っ取られる。百害あって一利なし。
世界的な左派プロパガンダに騙されてホイホイ法律を変えてはいけない
日本のしきたりは守られるべきだ
家族という共同体の証が同一性である。
法律を制定しなくとも、事実上、別姓の利用が可能となっている範囲が広いので、この範囲を拡充していく方向で行動すべきである。
生まれてくる子供はどっちの姓を名乗るのか？ 妻でも夫でもない新しい姓を作るという選択肢は無いのか？
韓国は女性の性は変わらないし、日本にもこれまでの歴史があるので 変える必要があると思えない、自由にすると、変える人と変えない人で差別が 生まれるように思う、変えることが悪か、変えないことが悪になるかわからない、
同姓による一部の人の不利益も理解できるが、運用の改善でも可と思う 家族制度を維持する方のメリットの方が大きいと感じる
法律を制定しなくても社会は動いています…動けています。まずは、家庭、家族のあり方を考えるべきです。
賛成の人の意見に同意できないから。名前という表面的、形式的なものでアイデンティティの喪失というのはおかしい。自分の中身で勝負すれば？と思う
選択的夫婦別姓とは強制的親子別姓に繋がり家族関係を壊します
夫婦別姓は 反日左翼や外国勢力が 日本国を崩壊さす意図があると感じている したがって問答無用で反対である 日本で夫婦別姓にすることは 女性差別と認識している
大和文化の基本であり、別姓にすることにより文化破壊につながる。 芸名やペンネームの様な、ビジネスネーム制度を取り入れることで対応が可能である。
自分にとって特に必要性を感じない
子の氏の決め方に関する紛争解決の方法が定まっていないため
どうでもいいから
婚姻契約をしなければ良いか、事実婚も、多様性の一選択として考えられます。そもそも旧姓使用は、ほとんど使用可能かつ、記載出来るので名字に、こだわるのであれば、こだわらない相手及び家族観の合う方と結婚されるか、名字変更に関わる煩雑な手続きを簡素化させるように促した方が良いのではないのでしょうか？
家族制度が崩壊します。また、推進する著名人は左翼思想の方が多く、外国からの影響も見られます。最終的に戸籍制度をなくすことが目的と見られる発言もあります。
子どもの姓はどうするのか、と思う。
日本の良いところを変更する意味が分からない。
変える理由が弱いから。
結婚に際し同じとなり、新たな家庭を築くという喜びを持つ夫婦の方が圧倒的多数である ここに強く共感するから。

別姓だと口頭のみで夫婦というのが容易にできるので地面師や銀行や携帯電話の手続きなどで事件とか増えると思います。確かに離婚した時に何度も手続きで名前を変えてた事は大変だったと思います。他に何かよい方法があればいいと思っています。
こんなことで生活がよくなるとは思えない。もっと大事なことがたくさんある。二の次さんの次です。
夫婦同姓は日本の文化である。生まれてくる子供の姓はどうするか書かれていない。
別姓なら結婚ではなく、同棲でいいのではないか。やはり夫婦になる以上、名前は一つになるべき。
家族の一体感が無くなり、子供たちに精神的にも不安が生まれる。
国体を守るためです。
子供、孫が兄弟で名字がバラバラ 家族の解体に繋がる
親子の絆を壊すもの 身元が分からなくなる 日本の文化にあわない 日本を根底から壊すもの
子どもの姓を考えて。結婚の時夫婦別姓で良くても子どもが出来た後はトラブルになりそうだから。
夫婦は一家族、一体、一つの共同体で有るべき。グローバルな考え方が必ずしも正しいとは言えない。夫婦が別性になるメリットは無い。
1つの家族は同じ苗字が良い。
選択する人とそうでない人との乖離を助長する流れになると思うから。
旧姓が利用できる範囲を広げるだけで対応可能
詳しいことはよくわかりませんが、長年引き継がれてきた戸籍制度はとても大切な制度だと思います。女性が不利益を被っている状態なのであれば、女性の姓にするなり、仏のように事実婚を選択すれば良いのではないのでしょうか。それと、父母が別姓の場合、子供はどうなるのでしょうか。やはり、一緒の方が「家族」らしい気がします。
私の両親や知人は皆同姓ですが、特に問題なく暮らし、働いているため。
戸籍制度が無くなる
夫婦別姓を認めると、帰化した人を追跡出来なくなったり、更に LGBT やら女系天皇推進など、日本そのものを壊す活動とされるため。
最優先の問題ではない。国民の7割は望んでいない。自民党の高市早苗氏が現状の夫婦同性制度のまま、旧姓を利用できる制度の法案を作っている。旧姓の併記ができなくなる。戸籍制度廃止につながる。国民の意見を聞きながら判断していく問題であり、国会だけで決めるべきではない。
旧姓使用の使用拡大が最も望まれているというアンケート結果が既に出ていることや子供に選ぶ権利がないこと、夫婦間で揉めて裁判になったとして何を基準に決めるのかわからないなど
生まれてくる子供、兄弟によって苗字が異なる可能性のある。選択式夫婦別姓制度の導入により、戸籍制度が脅かされる可能性のある。
夫婦と誤魔化しているけど夫婦別姓ではなく、本質は家族別姓だから。そもそも姓や氏は個人の名前ではなく家族名なのに、選択的にした時点で家族名ではなくなるから。しかも、夫婦で姓もまとめられないのに、この先家族としてやっていけるとは思えないから。しかも、この夫婦別姓は外国人の思想なので日本人が言ってるとは思えないので帰化人ではないのでしょうか。何よりも、世界で唯一、日本にしかない文化を無くすのは頂けません。明治19年から続いている戸籍制度にしても家族同姓だから成り立っているのに、別姓にしたら戸籍の家族名とはならないでしょう。選択的夫婦別姓は全てにおいて、おかしいと思います。日本の文化を破壊するために帰化したなら祖国に帰って頂きたいです。帰化しているかどうかは、まさに家族同姓の戸籍謄本をとれば、明治19年の先祖まで遡り分かります。これも日本にしか無い制度です。このような素晴らしい制度を失うわ

けには行かないでしょう。
旧姓と新たな姓を列挙出来るようになる制度、相続時に別姓も同姓も同じ扱いを受けることができる制度など、制度設計が整えようとする議論が尽くされたと言える段階までは、本当の選択出来夫婦別姓制度とは言えない。という立場から『現段階では反対。』とさせて頂きました。
戸籍制度を守りたい。女性は結婚して夫の姓になっても旧姓で仕事しても差し支えないから
賛成側の主張に同意出来ないから
夫婦になったのに別姓ではおかしいと思います。
考え方が複雑になるから。子供の名前はどのようにするのか。色々な家族がある中で法律を決めれば決めるほど複雑になる気がする
ここまで議論が盛りあがった事で、さまざまな制度がつくられている。
子の名前をどのようにするのかという時に、混乱が生じると予想されるので反対します。
必要ないです。
日本の安全性を保つためにも、夫婦別姓に反対します。未来ある子どもたちを守るためにも再検討して下さい。お願いいたします。
子供にとっては強制的親子別姓です。これは日本の戸籍制度の崩壊につながります。
日本の戸籍制度は両戸籍を連結することが可能で、無限の親族関係の広がりを証明することができる素晴らしい制度です。 選択的夫婦別姓は強制的親子別姓となり、家族を破壊します。内閣府の調査でも賛成は少数意見です。NHK の意識調査でも賛成は一割もいません。戸籍の破壊に繋がり、個人の自己同一証明が煩雑になります。帰化歴が追えなくなってしまうことになれば、移民→帰化で日本破壊を目論む勢力には好都合なことになる恐ろしい法律の改悪です。 旧姓の使用が問題なくできるようにすれば十分で、夫婦別姓にする必要はありません。